

# Compass



**2022**



©大田区  
はねびよん

大田区  
スポーツ・文化・国際都市部  
事業概要

## 大田区平和都市宣言

『平和って なあに  
しあわせな ことよ  
しあわせって なあに  
自由で楽しいくらしができること  
だから 世界中の人と 力をあわせて  
大切な 平和を守らなければ いけないの  
地球上どこへ行っても 笑顔があるように...  
この人類共通の願いをこめて 大田区は  
平和憲法を擁護し核兵器のない  
平和都市であることを宣言する』

昭和59年 8月15日 大田区

## スポーツ健康都市宣言

スポーツしよう  
みんな 心も からだも 元気にしよう

スポーツ楽しもう  
みんな 世界の人と 手をつなごう

スポーツで健康になろう  
いきいき 輝く笑顔いっぱいのもちしよう

区民がスポーツを通じて健康で豊かに暮らし、  
まちが賑わいと活力を増していくことを願い、  
大田区をスポーツ健康都市とすることを宣言  
する。

平成24年 6月30日 大田区

## 国際都市おおた宣言

～地域力で世界にはばたく～

おもてなしの翼を広げ  
世界中の人々を歓迎しよう  
暮らしが息づく多彩な魅力あるまちとして  
訪れる人を迎えます

ふれあいの翼を広げ  
多様な文化を分かち合おう  
互いの個性を認め誰もが活躍できる  
笑顔あふれるまちをつくります

みらいの翼を広げ  
豊かな明日をともにつくりよう  
おおたが誇る匠の技が世界の期待に応え  
新しい産業をつくります

大田区は、日本のゲートウェイとして、  
地域の力を結集し、  
新たな時代を切り拓いて、  
世界にはばたく「国際都市おおた」を宣言する。

平成29年 3月12日 大田区

# 大田区における 「国際都市」の 基本的な考え方

- 1 国内で暮らし、学び、働く外国人、区を来訪する外国人にとって魅力的なまちであり、日本人が有する「思いやり」「おもてなし」といった精神がまちの表情に現れている都市であること。
- 2 多様な歴史、文化を有する外国人が一人ひとりの個性と能力を発揮できているとともに、多彩な交流により地域とつながり、地域の一員として共生が図られている都市であること。
- 3 羽田空港が国際化することにより、増加する在住外国人及び外国人観光客が安心して、暮らし、訪れ、回遊できている都市であること。
- 4 海外からたくさんの外国人が訪れる区として、大田区平和都市宣言を踏まえ、世界の人と力を合わせて、大切な平和を守る都市であること。
- 5 多彩な連携により地域内産業が国際化を活かしたビジネスを展開し、地域内産業が活性化され、にぎわいある都市であること。

## 目 次

1	令和4年度 スポーツ・文化・国際都市部の目標及び重点項目	1
2	大田区スポーツ・文化・国際都市部、(公財)大田区スポーツ協会、(公財)大田区文化振興協会、(一財)国際都市おおた協会 組織図	2
3	スポーツ・文化・国際都市部、(公財)大田区スポーツ協会、(公財)大田区文化振興協会、(一財)国際都市おおた協会 事務分掌	4
4	スポーツ・文化・国際都市部事業別予算	7
5	各課事務事業一覧	
	(1) スポーツ推進課	9
	(2) 文化振興課	52
	(3) 国際都市・多文化共生推進課	96
6	参考資料：各課の事業開始年度一覧	
	(1) スポーツ推進課	120
	(2) 文化振興課	120
	(3) 国際都市・多文化共生推進課	121

### 【基準日等について】

令和4年6月1日を基準日とし、令和3年度の実績及び令和4年度の当初予算ベースでの事業計画を記載しています。ただし、令和4年度計画で既に実施済みの事業は、「実績記載」と表記しています。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止または延期が決定した事業についてはその旨を記載しています。

### 【東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の表記について】

本文中では「東京2020大会」と表記しています。

## 令和4年度 スポーツ・文化・国際都市部の目標及び重点項目

### 目標

当部は、所管するスポーツ・文化・国際分野において、区民がいつでも身近なところで、スポーツや音楽、演劇、美術に触れ、グローバルな国際意識を醸成するなど、区民一人ひとりの生活の質を向上することを目的としている。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症は、区民生活や経済活動に大きな影響を与えているが、区民生活や経済活動は、少しずつ活気が出てきている。

長きにわたるコロナ禍において区を取り巻く環境が大きく変化している中で、区民の生活の質を維持・向上することの意義が改めて見直されている。

こうした状況下では、職員一人一人が時代の変化を敏感に感じ取り、機会を逃さないよう自らが考え、工夫して業務を遂行することが必要不可欠である。

その上で、様々な関係者と「共創・共奏」し、区民の生活の質をより豊かにしていくことが私たちの使命である。

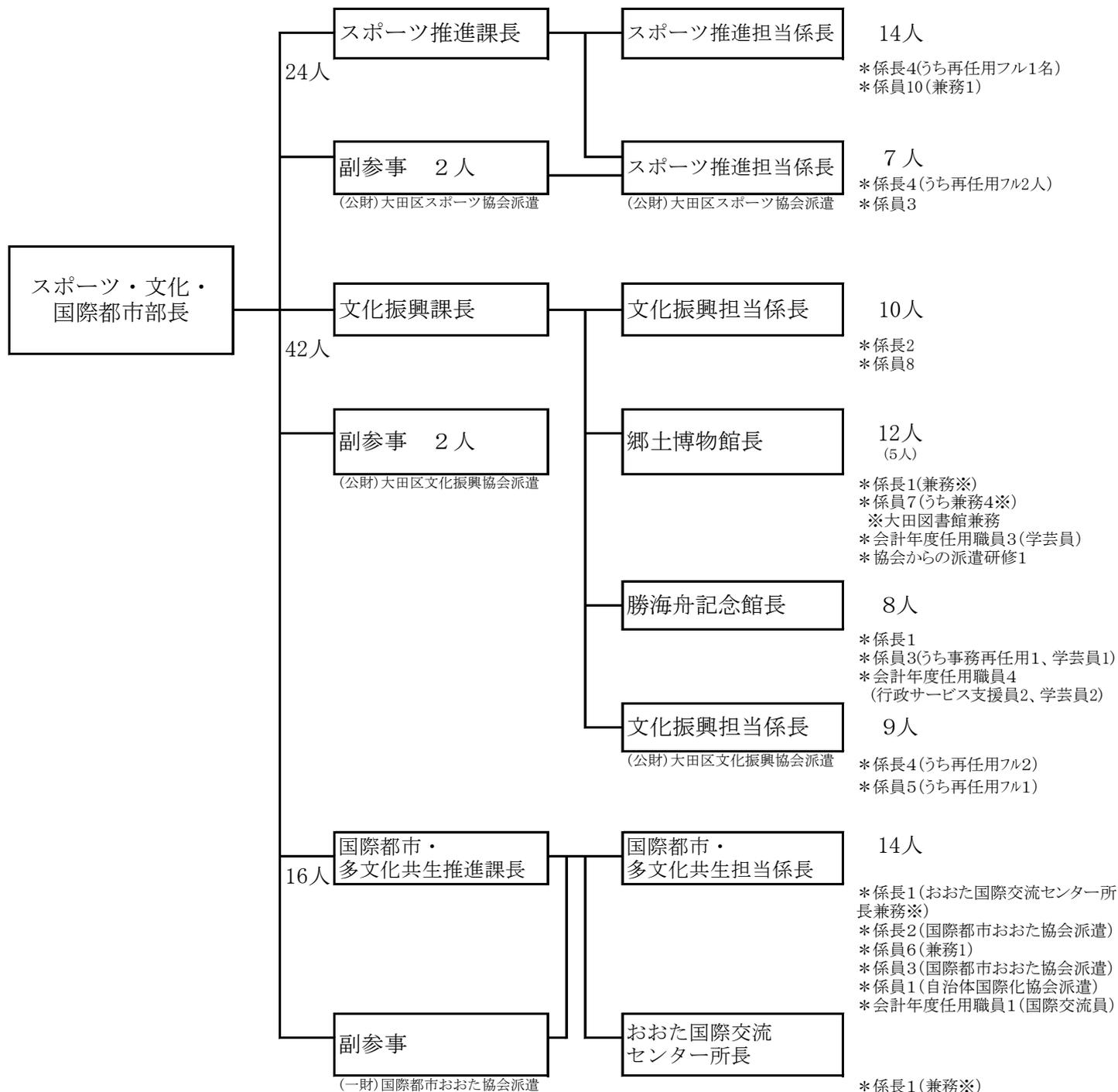
部として目指す方向をしっかりと見据え、施策を推進することで、区の将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現に向け邁進していく。

### 重点項目

- ① 「With コロナ」に対応し、「After コロナ」を見据えた継続したスポーツ推進
- ② 東京2020大会を契機としたスポーツ環境の整備（レガシー事業）
- ③ 各文化施設における記念事業の積極的な展開（郷土博物館、勝海舟記念館、龍子記念館）
- ④ 新型コロナ対策や特定天井工事開始を踏まえた文化施設の適切な維持管理運営
- ⑤ おおた国際交流センターの活用促進
- ⑥ コロナ禍の状況を踏まえた新たな国際交流・多文化共生事業の推進
- ⑦ 外国人区民に向けた効果的な情報発信

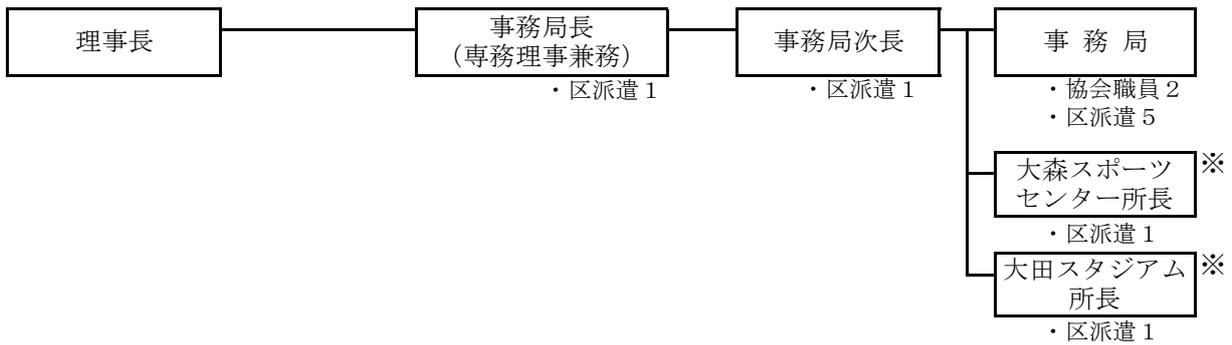
2 大田区スポーツ・文化・国際都市部 (公財) 大田区スポーツ協会、(公財) 大田区文化振興協会、(一財) 国際都市おおた協会 組織図

【大田区スポーツ・文化・国際都市部】



**【公益財団法人 大田区スポーツ協会】**

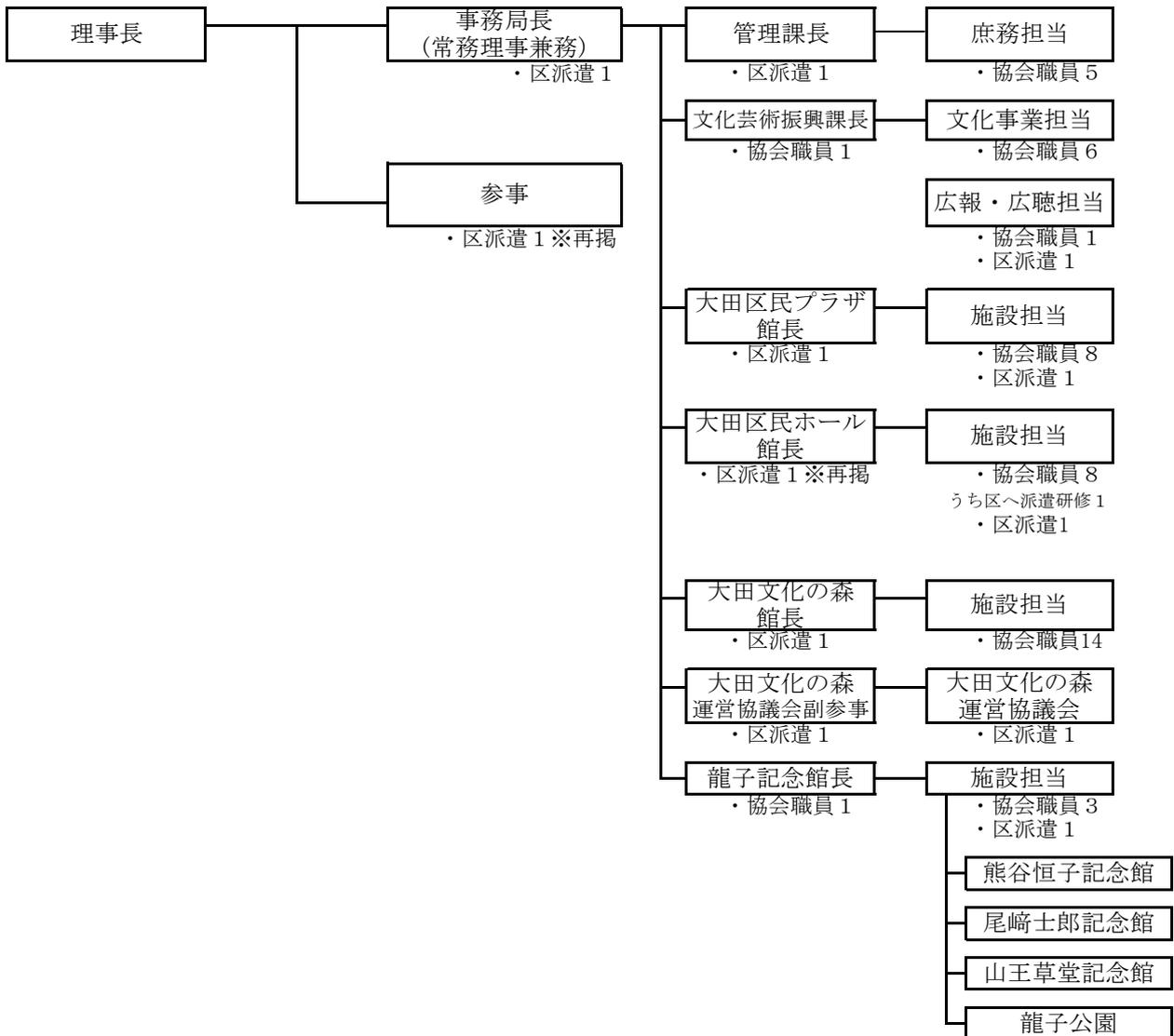
(協会職員2 区派遣9)



※ 大田スタジアム・大森スポーツセンターは共同事業体で指定管理業務を受託。

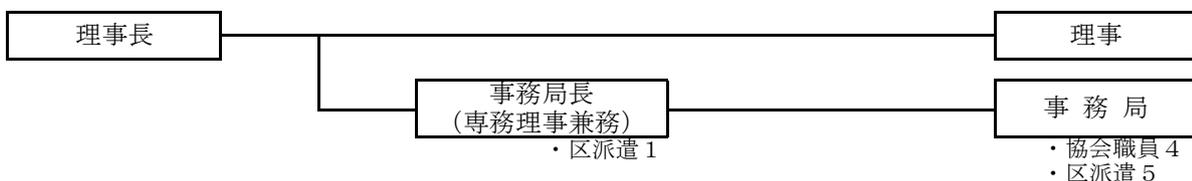
**【公益財団法人 大田区文化振興協会】**

(協会職員47 区派遣11)



**【一般財団法人 国際都市おおた協会】**

(協会職員4 区派遣6)



### 3 スポーツ・文化・国際都市部 (公財) 大田区スポーツ協会 (公財) 大田区文化振興協会 (一財) 国際都市おおた協会 事務分掌

#### 1 スポーツ推進課

##### スポーツ推進担当

- (1) 部の政策立案、事業執行方針、事業計画及び事業の進行管理に関すること。
- (2) 部の事務事業の改善に関すること
- (3) 行政組織及び職員定数に関する部の総括に関すること。
- (4) 部の事業に係る調査研究に関すること。
- (5) 議会に関する他部及び部内他課との連絡調整に関すること
- (6) 部の庶務に関すること。
- (7) 予算及び決算に関する部の総括に関すること。
- (8) 他部及び部内他課との連絡調整に関すること。
- (9) 危機管理に関すること。
- (10) 議会に関する部の総括に関すること。
- (11) スポーツ推進に係る計画等に関すること。
- (12) スポーツ推進委員に関すること。
- (13) スポーツ推進に関すること。
- (14) 公益財団法人大田区スポーツ協会に関すること。
- (15) 大田区総合体育館に関すること。
- (16) 大森スポーツセンター（大森本町複合施設の共有部分を含む）に関すること。
- (17) 大田スタジアムに関すること（維持補修に関するものを除く。）
- (18) 課の庶務に関すること。
- (19) 課内他係に属しないこと。

#### 2 文化振興課

##### 文化振興担当

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 文化振興に関すること。
- (3) 文化振興に係る計画等に関すること。
- (4) 文化施設の管理運営に関すること。
- (5) 公益財団法人大田区文化振興協会に関すること。
- (6) 区営アロマ地下駐車場に関すること。
- (7) OTAふれあいフェスタに関すること。
- (8) 平和都市宣言記念事業に関すること。
- (9) 国内友好都市に関すること。
- (10) 絵画等の保管拠点に関すること。

##### 郷土博物館

- (1) 公印の管守及び文書に関すること。
- (2) 庶務及び経理に関すること。
- (3) 職員の服務に関すること。
- (4) 館内取締り並びに施設及び設備の維持管理に関すること。
- (5) 調査及び統計に関すること。
- (6) 寄贈及び寄託資料の選定並びに受納及び返納に関すること。
- (7) 関係機関及び団体との連絡に関すること。
- (8) 主として人文科学系に関する資料の収集、整理及び保管に関すること。

- (9) 資料の目録、館報、報告書等の作成に関すること。
- (10) 資料の調査、研究及び展示に関すること。
- (11) 特別展、講習会、講演会、研究会等の開催に関すること。
- (12) 館の運営、利用促進等の協議会に関すること。
- (13) 大田区立大森海苔のふるさと館に関すること。
- (14) 他の博物館、学校、図書館等との協力に関すること。

### **勝海舟記念館**

- (1) 公印の管守及び文書に関すること。
- (2) 庶務及び経理に関すること。
- (3) 職員の服務に関すること。
- (4) 資料の収集及び保管に関すること。
- (5) 資料の調査、研究、目録作成及び展示に関すること。
- (6) 館の広報、情報発信及び事業の実施に関すること。
- (7) 館内取締り及び施設の利用並びに維持管理に関すること。
- (8) 他の博物館、学校、図書館等の教育、学術又は文化に関する関係機関等との連携に関すること。
- (9) 勝海舟基金への寄附受領、資料の寄贈及び寄託に関すること。
- (10) その他、館の設置目的を達成するために必要と認めること。

## **3 国際都市・多文化共生推進課**

### **国際都市・多文化共生担当**

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 国際交流に関すること。
- (3) 国際都市に関すること。
- (4) 多文化共生に関すること。
- (5) 一般財団法人国際都市おた協会に関すること。

### **おた国際交流センター**

- (1) 公印の管守及び文書に関すること。
- (2) 服務、庶務及び経理に関すること。
- (3) 教室、多目的スペース等の利用に関すること。
- (4) 会議室、情報・交流コーナー等の利用に関すること。
- (5) センター内取締り及び施設の維持管理に関すること。
- (6) その他センターの設置目的を達成するために必要と認める事業の実施に関すること。

## **4 公益財団法人 大田区スポーツ協会**

- (1) スポーツ、レクリエーションの推進及び健康増進のための事業
- (2) スポーツ、レクリエーションに関する普及啓発及び顕彰に関する事業
- (3) スポーツ、レクリエーションの指導者及び団体の育成に関する事業
- (4) スポーツ、レクリエーションに関する各種教室及び大会の開催
- (5) 大田区から受託する区立スポーツ施設の管理運営に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## **5 公益財団法人 大田区文化振興協会**

- (1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業
- (2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業
- (3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業
- (4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業
- (5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 6 一般財団法人 国際都市おおた協会

- (1) 多文化共生の推進に関する事業
- (2) 国際交流の推進に関する事業
- (3) 国際人財育成に関する事業
- (4) 国際協力に関する事業
- (5) 上記各事業に関する情報収集、調査研究及び広報
- (6) 上記各事業の推進のため、大田区及び他の公共機関等から受託する事業
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 4 スポーツ・文化・国際都市部事業別予算

(単位：千円)

## 【スポーツ推進課】

款	項	目	中事業	小事業	令和4年度	令和3年度	前年度比	増減率
総務費								
				スポーツ文化国際費	830,012	852,027	△ 22,015	△ 2.6%
				スポーツ文化国際総務費	35,042	58,864	△ 23,822	△ 40.5%
				職員人件費	35,042	58,864	△ 23,822	△ 40.5%
				スポーツ振興費	794,970	852,027	△ 57,057	△ 6.7%
				(公財)大田区スポーツ協会運営費補助	31,238	31,813	△ 575	△ 1.8%
				スポーツ教室	2,267	2,364	△ 97	△ 4.1%
				障がい者スポーツ教室	2,267	2,364	△ 97	△ 4.1%
				スポーツ奨励	3,712	3,724	△ 12	△ 0.3%
				地域スポーツクラブ	618	630	△ 12	△ 1.9%
				スポーツ奨励事業	3,094	3,094	0	0.0%
				指導者養成	219	232	△ 13	△ 5.6%
				ラジオ体操指導者養成講習会	139	139	0	0.0%
				スポーツ指導者養成講習会	80	93	△ 13	△ 14.0%
				区民スポーツ大会	17,794	17,634	160	0.9%
				都民体育大会等支援	3,833	3,833	0	0.0%
				団体事業後援	863	849	14	1.6%
				スポーツ推進委員	9,504	8,003	1,501	18.8%
				スポーツ推進審議会	334	364	△ 30	△ 8.2%
				スポーツ健康都市宣言記念事業	14,900	15,100	△ 200	△ 1.3%
				OTAウォーキング	639	639	0	0.0%
				区民スポーツまつり	9,461	9,461	0	0.0%
				おたスポーツ健康フェスタ	4,800	5,000	△ 200	△ 4.0%
				スポーツ推進計画	0	0	0	-
				新スポーツ健康ゾーン活性化事業	2,006	1,666	340	20.4%
				スポーツ推進広報事業	3,960	3,960	0	0.0%
				東京2020レガシー事業	2,714	1,433	1,281	89.4%
				スポーツ推進課事務費	1,714	2,327	△ 613	△ 26.3%
				事務費	343	87	256	294.3%
				運動場使用料過年度還付金	40	40	0	0.0%
				大森スポーツセンター使用料過年度還付金	303	47	256	著増
				大森スポーツセンター借地料	15,626	15,495	131	0.8%
				大田スタジアム維持管理	4,072	1,085	2,987	275.3%
				大森本町複合施設維持管理	147,847	155,863	△ 8,016	△ 5.1%
				大森スポーツセンター維持管理	95,163	11,206	83,957	著増
				大田区総合体育館維持管理	48,069	17,408	30,661	著増
				スポーツ施設管理代行	388,792	409,511	△ 20,719	△ 5.1%
				大森スポーツセンター	76,309	78,248	△ 1,939	△ 2.5%
				大田区総合体育館	165,749	189,571	△ 23,822	△ 12.6%
				大田スタジアム	146,734	141,692	5,042	3.6%
				東京オリンピック・パラリンピック推進事業	0	148,070	△ 148,070	△ 100.0%
				総務管理費	71,623	0	71,623	著増
				複合施設建設費	71,623	0	71,623	著増
				(仮称)西蒲田三丁目複合施設の整備	71,623	0	71,623	著増
				スポーツ協会事務室	71,623	0	71,623	著増
課予算額合計					901,635	852,027	49,608	5.8%

【文化振興課】

款	項	目	中事業	小事業	令和4年度	令和3年度	前年度比	増減率
総務費								
				スポーツ文化国際費	5,058,215	2,874,657	2,183,558	76.0%
				文化国際費	5,058,215	2,874,657	2,183,558	76.0%
				平和都市宣言記念事業	68,638	5,081	63,557	1250.9%
				(公財)大田区文化振興協会の運営	218,269	218,769	△500	△0.2%
				運営費補助	131,079	125,016	6,063	4.8%
				事業費補助	87,190	93,753	△6,563	△7.0%
				地域文化の振興	5,665	5,665	0	0.0%
				大田区民ホール等管理運営費	225,092	264,259	△39,167	△14.8%
				大田区民ホール等施設管理	223,653	251,986	△28,333	△11.2%
				駐車場管理運営費	1,439	12,273	△10,834	△88.3%
				文化施設管理運営費	4,231,419	2,081,267	2,150,152	103.3%
				管理代行費	746,362	797,219	△50,857	△6.4%
				業務委託費	21,851	21,771	80	0.4%
				その他施設費	3,463,206	1,262,277	2,200,929	174.4%
				OTAふれあいフェスタ	47,459	48,000	△541	△1.1%
				地域間交流事業	1,188	1,340	△152	△11.3%
				文化祭	2,094	2,123	△29	△1.4%
				文化振興課事務費	1,210	1,217	△7	△0.6%
				博物館管理運営費	92,277	87,312	4,965	5.7%
				管理運営費	74,853	71,264	3,589	5.0%
				事業費	17,424	16,048	1,376	8.6%
				大森海苔のふるさと館の運営	62,384	58,998	3,386	5.7%
				勝海舟記念館の運営	99,235	94,826	4,409	4.6%
				絵画等保管拠点の維持管理	3,285	5,800	△2,515	△43.4%
課予算額合計					5,058,215	2,874,657	2,183,558	76.0%

【国際都市・多文化共生推進課】

款	項	目	中事業	小事業	令和4年度	令和3年度	前年度比	増減率
総務費								
				スポーツ文化国際費	171,780	217,099	△45,319	△20.9%
				文化国際費	171,780	217,099	△45,319	△20.9%
				姉妹・友好都市交流事業	4,125	4,405	△280	△6.4%
				中国北京市朝陽区等との交流の推進	2,786	3,072	△286	△9.3%
				アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進	1,339	1,333	6	0.5%
				国際都市事業の推進	1,019	1,001	18	1.8%
				国際都市事業	1,019	1,001	18	1.8%
				(一財)国際都市おおた協会の運営	126,091	178,375	△52,284	△29.3%
				運営費補助	49,794	50,284	△490	△1.0%
				事業費補助	28,896	28,899	△3	0.0%
				施設運営費	47,401	99,192	△51,791	△52.2%
				国際交流事業	857	934	△77	△8.2%
				交流事業費	857	934	△77	△8.2%
				国際都市・多文化共生推進課事務費	8,162	8,941	△779	△8.7%
				多文化共生推進事業	31,526	23,443	8,083	34.5%
				多文化共生のネットワークづくり	31,526	23,443	8,083	34.5%
課予算額合計					171,780	217,099	△45,319	△20.9%
部予算額合計					6,131,630	3,943,783	2,187,847	55.5%

## 5 各課の事務事業一覧

### (1) スポーツ推進課

「スポーツを通じて健康で豊かに暮らせるまち」の実現に向け、平成30年3月に策定した「大田区スポーツ推進計画（改定版）」に基づき施策を展開します。庁内はもとより、（公財）大田区スポーツ協会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、民間事業者などと積極的に連携し、スポーツ実施率の維持・向上と、スポーツを通じた福祉・健康・産業・観光など他分野における課題解決をめざします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、スポーツ庁のガイドラインや東京都感染拡大防止ガイドブックに準拠し、区民が、運動・スポーツをする際には、密閉・密集・密接を避け、体調管理、手洗いや消毒を徹底するなど、安全に実施できるよう努めていきます。

予算事務事業名	事業名	頁
<b>スポーツ振興費</b>		
(公財)大田区スポーツ協会運営費補助		
	1 (公財)大田区スポーツ協会	10
<b>スポーツ教室</b>		
	2 障がい者スポーツ教室	11
<b>スポーツ奨励</b>		
	3 地域スポーツクラブ	12
	4 スポーツ奨励事業	14
<b>指導者養成</b>		
	5 ラジオ体操指導者養成講習会	14
	6 障がい者スポーツ指導者養成講習会	14
<b>区民スポーツ大会</b>		
	7 区民スポーツ大会	15
<b>都民体育大会等代表派遣</b>		
	8 都民体育大会等代表派遣	16
<b>スポーツ推進委員</b>		
	9 スポーツ推進委員	16
<b>スポーツ推進審議会</b>		
	10 スポーツ推進審議会	17
<b>スポーツ健康都市宣言記念事業</b>		
	11 O T Aウォーキング	18
	12 区民スポーツまつり	18
	13 おおたスポーツ健康フェスタ	19
<b>新スポーツ健康ゾーン活性化事業</b>		
	14 新スポーツ健康ゾーン活性化事業	20
<b>スポーツ推進広報事業</b>		

予算事務事業名	事業名	頁
	15 スポーツ推進広報事業	21
東京 2020 レガシー事業		
	16 東京 2020 レガシー事業	22
大田スタジアム維持管理		
	17 大田スタジアム	23
大森スポーツセンター維持管理 (大森本町複合施設維持管理等含む)	18 大森スポーツセンター	25
大田区総合体育館維持管理		
	19 大田区総合体育館	27
東京オリンピック・パラリンピック推進事業		
	20 東京オリンピック・パラリンピック推進事業	30

## 1 公益財団法人 大田区スポーツ協会 (管理運営費補助)

昭和 23 年 設立

平成 25 年 財団法人から公益財団法人へ変更

令和元年 現名称へ変更

4 年度予算額 31, 238 千円 (3 年度予算額 31, 813 千円)

大田区内におけるスポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、区民の心身の健全な発達と明るく豊かな地域社会の形成に寄与することを目的に活動しています。区では運営費補助を通じ、協会の体制強化を支援しています。

### 【4 年度計画】

#### (1) 大田区の受託事業

区民スポーツ大会、区民スポーツまつり等の実施

#### (2) 指定管理業務

大森スポーツセンター、大田スタジアムの指定管理者グループの代表団体として施設の管理運営

#### (3) その他 (自主事業)

大田区のスポーツ推進施策の実施機関として、レクリエーションを含めた生涯スポーツへの自主的事業として取り組む。

##### ア 年少者スポーツ育成事業

- (ア) スポーツバイキング(大森・調布・蒲田の 3 会場)
- (イ) 子ども体育塾(大森・調布・蒲田の 3 会場)
- (ウ) 子ども卓球大会(大森スポーツセンター)
- (エ) 子ども野外活動教室(ゆいっつ並びに周辺運動施設)
- (オ) ジャイアンツアカデミー(平和島・萩中会場)



健康体操教室の様子

## イ 健康教室事業

- (ア) さわやかシェイプアップⅠ・Ⅱ(せせらぎ館)
- (イ) はつらつ体操Ⅰ・Ⅱ(古墳展示室)
- (ウ) かんたんヨガ(せせらぎ館・古墳展示室・嶺町集会室)
- (エ) リフレッシュヨガ(せせらぎ館・古墳展示室・嶺町集会室)
- (オ) 高齢者健康体操教室(大森東福祉園)
- (カ) カキラ体操(大森スポーツセンター・六郷地域力推進センター)

## ウ 普及啓発事業

- (ア) 会報「ひろば」(年2回発行)
- (イ) スポーツ講演会と体験教室(区民スポーツまつりと同時開催)
- (ウ) 企業連携(キヤノンラグビー教室・東都大学野球部教室)
- (エ) OTA ふれあいフェスタへの出展
- (オ) ファミリーフットサル(大田区総合体育館)

## エ 指導者・団体育成事業

- (ア) 指導者講習会(年2回)
- (イ) 指導者受講負担金
- (ウ) 普通救命講習会(大森スポーツセンター)

## オ 各種教室・大会

- (ア) スポーツきっかけ教室
  - ・小・中学生対象(剣道・卓球・タグラグビー・テニス)
  - ・初心者対象(弓道・水泳・ソフトテニス・テニス・モルック)
- (イ) 障がい者スポーツ事業助成

### 【3年度実績】

※事業の詳細は、以下2、5、6、7、8、11、12、17、18に掲載

## 2 障がい者スポーツ教室 [(公財) 大田区スポーツ協会委託事業]

昭和59年度 事業開始

4年度予算額2,267千円(3年度予算額2,364千円)

障がい者の方にスポーツに親しむ機会を提供し、健康の保持増進を図ることを目的に実施しています。障がい者のスポーツを通じた交流の場や仲間づくりの場となっています。スポーツ教室を通じて、障がい者のスポーツ参加機会の充実と実施率の向上を図ります。平成30年度から(公財)大田区スポーツ協会委託事業となりました。

#### 【4年度計画】

- ・実施期間：4月から11月まで
- ・回数：12回
- ・定員：50人

#### 【3年度実績】

- ・回数：12回
- ・開催日：10月13日（水）、27日（水）  
11月10日（水）、24日（水）  
12月8日（水）、22日（水）  
1月12日（水）、26日（水）  
2月9日（水）、16日（水）  
3月2日（水）、16日（水）
- ・開催場所：大森スポーツセンター、大田区青少年交流センター
- ・参加人数：延べ381人（参加者117人、スタッフ264人）

### 3 地域スポーツクラブ

平成26年度 事業開始

4年度予算額 618千円 （3年度予算額 630千円）

#### (1) 「総合型地域スポーツクラブ」創設・運営支援

「総合型地域スポーツクラブ」は、「子どもから大人まで、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる地域の日常的なスポーツ活動の場として、地域住民自らが主体となって運営するスポーツクラブ」です。

「大田区スポーツ推進計画(改定版)」にて、その支援を定めており、クラブの発展及び区民の日常的なスポーツ実施の推進を目的としています。

総合型地域スポーツクラブ	
1	NPO 法人地域総合スポーツ倶楽部ピボットフット
2	(一社) 田園調布グリーンコミュニティ
3	NPO 法人大田ウェルネスクラブ
4	NPO 法人スマイルかまた
5	NPO 法人ベアーズ
6	NPO 法人大森コラボレーション 総合型地域スポーツクラブ ソシオ大森
7	(一社) 大森フットボールクラブ
8	レスポ大森クラブ



総合型地域スポーツクラブによる「ヨガ教室」

## (2) 地域スポーツクラブ指導者養成講習会

地域スポーツクラブの指導者がその運営や活動について学び、情報を共有する場となっています。指導者の技術力向上のほか、クラブの経営充実に向けた広報戦略やマーケティング等の講習会を行うなど、地域スポーツクラブの指導力及び運営能力の向上を目的としています。

### 【4年度計画】

- ・回数：2回  
受講予定者数 各回約20人

### 【3年度実績】

- ・テーマ：はじめてのデジタルマーケティング
- ・回数：2回実施
- ・開催日：9月18日（土）、10月2日（土）
- ・参加人数：延べ31人

- ・成果： 広報活動のツールであるHPやSNSの有効活用が求められている中で、デジタルマーケティングの基礎や運用方法等を学ぶための講習会を開催しました。講習会では、各クラブの広報活動の現状を事例としてあげることにより、各クラブに応じた運営スキルの向上を図ることができました。

参加者のアンケートによると、9割以上の参加者が「大変満足」または「満足」と回答し好評を得ました。また、「SNS、デジタル化による時代の変化に対応していくためには、個人のスキルを上げていかなければいけないことを実感した」という意見もあり、講習会がクラブのスキルアップのきっかけとなりました。



地域スポーツクラブ指導者出張事業

## (3) 地域スポーツクラブ指導者出張事業

スポーツ実施率の低い20～40歳代のビジネスパーソン及び子育て世代が集まる企業や児童館に総合型地域スポーツクラブの指導者を派遣し、様々なスポーツプログラムを実施することで、スポーツ実施率の向上と事業を通じた総合型地域スポーツクラブの育成を目的としています。

### 【4年度計画】

- ・回数：区内の企業等で計30回程度実施予定

### 【3年度実績】

- ・回数：区内企業1か所計1回実施
- ・開催日：3月8日（火）
- ・参加人数：10人

- ・成果：新型コロナウイルス感染拡大のため、当初の予定実施回数よりも大幅に減少した回数となりましたが、令和3年度はオンラインによる実施を初めて試みました。

今回は、リハビリ施設で実施しましたが、参加者からは「インストラクターの指導の下ストレッチをする機会が今までなかったため、また参加したい」という声があり、医療現場で働く従業員の方々に、運動するきっかけを作ることができました。

## 4 スポーツ奨励事業

平成 27 年度 事業開始  
4 年度予算額 3,094 千円 (3 年度予算額 3,094 千円)

スポーツ意識の高揚及びスポーツ振興を図るため、スポーツ競技で全国大会等に出場する個人に対して、大田区スポーツ全国大会等出場奨励金を交付しています。全国大会に出場する区内在住または在学の高校生以下の方、及び、国際大会に出場する区内在住、在学の方が対象となります。

### 【4 年度計画】

- ・ 交付者数 : 225 人

### 【3 年度実績】

- ・ 交付者数 : 113 人

## 5 ラジオ体操指導者養成講習会 [(公財) 大田区スポーツ協会委託事業]

昭和 61 年度 事業開始  
4 年度予算額 139 千円 (3 年度予算額 139 千円)

ラジオ体操を広く普及させ、区民の健康増進を図ることを目的として、区内在住・在勤・在学の 16 歳以上の方を対象に指導方法を講習し、地域指導者を養成します。また、区民が指導者となり地域の方を指導することで、区民の交流を促進します。

### 【4 年度計画】

- ・ 回数 : 1 講座 (2 日間)
- ・ 開催日 : 1 日目 : 7 月 7 日 (木)  
2 日目 : 7 月 8 日 (金)
- ・ 定員 : 150 人



講習会の様子

### 【3 年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## 6 障がい者スポーツ指導者養成講習会 [(公財) 大田区スポーツ協会委託事業]

平成 10 年度 事業開始  
4 年度予算額 80 千円 (3 年度予算額 93 千円)

障がい者スポーツの理解と普及を目的に、障がい者スポーツ教室の意義と指導方法について講習し、指導者の育成を図ります。平成 30 年度から (公財) 大田区スポーツ協会委託事業となりました。

#### 【4年度計画】

- ・回数：2回
- ・開催日：1回目：4月6日（水）  
2回目：6月29日（水）
- ・場所：大森スポーツセンター
- ・参加者数：各回30人

#### 【3年度実績】

- ・回数：1回
- ・開催日：4月21日（木）
- ・場所：大森スポーツセンター
- ・参加者数：23人

※全2回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第2回は中止。

## 7 区民スポーツ大会 【(公財)大田区スポーツ協会委託事業】

昭和22年度 事業開始

4年度予算額 17,794千円 （3年度予算額 17,634千円）

区内在住・在勤・在学の方を対象に、各種スポーツ団体の協力のもとで実施するスポーツ大会です。本大会は、日頃の練習成果を発表する場であり、広く区民の間にスポーツ活動への参加意欲を高める目的で実施しています。また、選手同士の交流を図り、区民が健康で豊かな生活を実現する一助となっています。

#### 【4年度計画】

- ア 春・夏季大会
  - ・種目数：37種目（40種目中3種目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
- イ 秋・冬季大会
  - ・種目数：44種目



剣道大会

#### 【3年度実績】

- ア 春・夏季大会
  - ・種目数：12種目（40種目中28種目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
  - ・参加者：計8,311人（参加者7,311人、スタッフ1,000人）
- イ 秋・冬季大会
  - ・種目数：26種目（45種目中19種目は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
  - ・参加者等：参加者：計15,582人（参加者13,764人、スタッフ1,818人）
  - ・成果：新型コロナウイルス感染予防対策が徹底できる競技についてのみ実施したため、例年に比べて大会の規模は縮小となりましたが、令和2年度から実施種目も増え、コロナ禍における安全・安心なスポーツ活動の促進に繋げることができました。

## 8 都民体育大会等代表派遣 〔(公財)大田区スポーツ協会委託事業〕

昭和 22 年度 事業開始  
4 年度予算額 3,833 千円 (3 年度予算額 3,833 千円)

区民スポーツ大会において、優秀な成績をおさめた選手を大田区の代表として、都民体育大会等へ派遣します。出場選手のスポーツ活動意識を高め、地域スポーツの振興と都内各地区との交流を図ることを目的として実施しています。

### 【4 年度計画】

第 75 回大会 (令和 3 年夏から令和 4 年春まで)

- ・種目数 : 40 種目
- ・派遣者数 : 427 人

### 【3 年度実績】

第 74 回大会 (令和 2 年夏から令和 3 年春まで) は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



都民体育大会合同開会式

## 9 スポーツ推進委員

昭和 32 年度 事業開始  
平成 23 年度 現名称に変更  
4 年度予算額 9,504 千円 (3 年度予算額 8,003 千円)

スポーツ基本法に基づき、スポーツ推進事業の実施に係る連絡調整やスポーツの実技指導及びスポーツに関する指導・助言を行うことを任務とする非常勤職員です。

日頃から、地域におけるスポーツに対する区民の理解を深め、区民へのスポーツ推進を図り、大田区が実施するスポーツ事業に協力しています。(定員 65 人)

### 【4 年度計画】

各地域での委員活動のほか、以下を計画しています。

- ア 区の事業への協力 (OTA ウォーキング、おおたスポーツ健康フェスタ、区民スポーツまつり、ポッチャ推進事業他)
- イ その他スポーツ事業への協力

### 【3 年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大のため、スポーツイベントが中止になるなど、例年に比べ活動は縮小しましたが、定期的に会議を開催し、コロナ禍でのスポーツ事業について検討するほか、委員間の情報共有を図りました。



おおたスポーツ健康フェスタにおける「ポッチャ」の配信動画画面

- ・協力事業  
おたスポーツ健康フェスタ、ボッチャ推進事業、東京マラソン  
など

## 10 スポーツ推進審議会

昭和 58 年度 事業開始  
4 年度予算額 334 千円 （3 年度予算額 364 千円）

スポーツ基本法に基づき設置された区長の付属機関です。スポーツに関する学識経験者及び関係行政機関の職員で構成されています。スポーツの推進に関する計画及び重要事項に関し意見を述べるほか、諮問に応じて調査審議し、区長に建議することを役割としています。

### 【4 年度計画】

- ・回数：2 回

「大田区スポーツ推進計画（改定版）」の実施及び次期スポーツ推進計画策定のための審議について



### 【3 年度実績】

- ・開催日

開催日	議題
令和3年12月3日（金）	「東京 2020 大会がもたらす意識の変化と行動変容について」
	「アフターコロナを見据えたスポーツの推進について」
令和4年3月16日（水） （オンライン開催）	「大田区スポーツ推進計画（改定版）の計画期間延長について」
	「令和4年度新規事業について」
	「第18期スポーツ推進審議会 審議内容まとめ」

- ・成果：令和3年度は東京 2020 大会が開催されたことを踏まえ、本大会が区民のスポーツ実施等に与えた影響について、地域スポーツクラブや障がい者スポーツ等、多方面からの情報をもとに意見交換を行いました。

また、コロナ禍におけるスポーツと健康の関係、アフターコロナを見据えたスポーツの推進についても議論を交わしました。

第 18 期スポーツ推進審議会の総括を通して、「大田区スポーツ推進計画（改定版）」の実施状況を振り返るとともに、「大田区スポーツ推進計画（改定版）の計画延長」に伴う次期スポーツ推進計画の策定準備について審議を行いました。

## 11 お お た O T A ウォーキング (スポーツ健康都市宣言記念事業) [(公財) 大田区スポーツ協会委託事業]

平成 24 年度 事業開始  
4 年度予算額 639 千円 (3 年度予算額 639 千円)  
3 年度予算額 639 千円 (2 年度予算額 1,235 千円)

平成 24 年 6 月に行った「スポーツ健康都市宣言」を記念した事業として実施しています。  
日常生活に直結した、もっとも身近な運動である「歩くこと」を奨励し、区民のスポーツへの興味・関心を高めるとともに、継続的なスポーツ実施を目指し開催します。平成 30 年度から (公財) 大田区スポーツ協会委託事業となりました。

### 【4 年度計画 (実績記載)】

- ・回数：年 1 回  
第 15 回 O T A ウォーキング ～たま川を歩こう～
- ・コース：西蒲田公園からソラムナード羽田緑地
- ・開催日：5 月 15 日 (日)
- ・参加者数：158 名 (定員 180 名)

### 【3 年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## 12 区民スポーツまつり (スポーツ健康都市宣言記念事業) [(公財) 大田区スポーツ協会委託事業]

昭和 59 年度 事業開始  
4 年度予算額 9,461 千円 (3 年度予算額 9,461 千円)

スポーツ基本法では、スポーツの日に国民の間に広くスポーツについての関心と理解を深め、その意欲を高めるような行事を実施するよう努めることと記されています。

その趣旨に則り、区民に様々なスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供することを目的として、区民スポーツまつりを実施しています。

子どもから高齢者まで誰もが参加できる催しとすることで、世代を超えたふれあいと、健康・体力づくり・生きがいづくりを図るとともに、住民相互の交流を通じた地域づくりの契機とします。

会場は大田区総合体育館、大森スポーツセンター、大田スタジアム、多摩川河川敷等となっており、区内各地で自由参加の各種スポーツイベントを開催します。

### 【4 年度計画】

- ・開催日：10 月 10 日 (祝・月)
- ・種 目：約 40 イベント

## 【3年度実績】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

# 13 おおたスポーツ健康フェスタ (スポーツ健康都市宣言記念事業)

平成 26 年度 事業開始

4 年度予算額 4,800 千円 (3 年度予算額 5,000 千円)

平成 24 年の「スポーツ健康都市宣言」を記念して始まった事業です。今年度は宣言から 10 年目となることから、10 周年記念事業として実施します。スポーツ体験やスポーツ教室、公開演技への参加の機会を提供することで、区民のスポーツ実施率の向上、健康の維持増進を図るとともに、スポーツの楽しさを実感し、スポーツ参加の契機となることを目的としています。「誰でも気軽に」参加できるスポーツイベントとして、区民に定着しつつあります。

## 【4 年度計画】

- ・開催日：7 月 2 日 (土)
- ・場所：大田区総合体育館
- ・内容：「スポーツでくつろぎを！」をテーマに、スポーツ実施率の低い 30～40 代の女性をメインターゲットとして、普段運動をしていない人でも気軽に参加できるプログラムを会場とオンライン配信のハイブリッド型で実施します。

当日は会場をメインゾーンとサブゾーンに分け、メインゾーンではヨガ体験や大人のジョギング、こどもかけっこ教室など多世代で楽しめるプログラムを行います。また、サブゾーンでは、スポーツ体験コーナーや疲れた体をリラックスさせるヒーリングコーナーなどを設けます。

## 【3 年度実績】

- ・開催日：8 月 21 日 (土)
- ・場所：オンライン配信のみ
- ・視聴回数：延べ 13,419 回 (7 月 21 日 (水) から 9 月 6 日 (月) まで)
- ・成果：令和 3 年度は、イベント当日の 1 か月前からスポーツに関する動画を配信し、イベント前の YouTube 視聴回数が合計 5,000 回を超えたことに加え、当日の視聴回数は延べ 2,263 回と、前年度の延べ 910 回よりも大きく増えました。

スポーツ実施率が低い 30～40 代の女性をメインターゲットとして動画配信を行ったこともあり、体の気になりやすい部位ごとのエクササイズを取り上げた「大田区ビューティーチャレンジ」の動画や「優木まおみさんによるピラティス」の動画など美容に関する動画の視聴回数が特に多い結果となりました。



「走り方教室」(配信画面)



オンライン配信撮影の様子

また、新たな試みとして、講師と質問等やり取りが可能なオンラインレッスンを実施しました。参加者から「レッスンがわかりやすく、短時間でしたが気持ちよく体を動かすことができました。」という声があり、区民のスポーツ実施のきっかけを作ることができました。

## 14 新スポーツ健康ゾーン活性化事業

平成 29 年度 事業開始  
4 年度予算額 2,006 千円（3 年度予算額 1,666 千円）

大田区総合体育館、大森スポーツセンターから臨海部にかけて、スポーツ施設や公園が集積するエリアを「新スポーツ健康ゾーン」とし、区民がスポーツに親しみ、体力・健康づくり、家族や仲間との交流を図ることができる等、「スポーツ健康都市おおた」を象徴するエリアとして活性化を図ります。

大森ふるさとの浜辺公園に隣接する大森東水辺スポーツ広場には、公設では都内唯一の常設ビーチバレー場を有しており、ビーチバレー場の無料開放やビーチヨガ教室を実施して、エリアの認知度向上を図ります。

また、東京 2020 大会のブラジル事前キャンプ実施を記念した（仮称）ブラジル大使杯や、オリンピックと触れ合いながら、子どもから大人まで誰もが楽しめるビーチバレー体験会を開催することで、東京 2020 大会のレガシーや区民がスポーツを実施するきっかけづくりに繋がります。

### （1）ビーチスポーツ教室・無料開放 DAY 等

#### 【4 年度計画】

- ア ビーチスポーツ教室
  - ・回数：年 8 回
  - ・種目：ビーチヨガ
- イ ビーチバレー場無料開放 DAY
  - ・回数：年 20 回
- ウ 東京 2020 レガシー事業
  - ・回数：年 1 回



ビーチバレー場無料開放 DAY

#### 【3 年度実績】

- ア ビーチスポーツ教室
  - ・ビーチヨガ：年 3 回（参加者数：延 183 人）※全 8 回中 5 回を中止
- イ ビーチバレー場無料開放 DAY：20 回（参加者数：延 534 人）※全 24 回中 4 回中止

成果：ビーチヨガ教室はレジャー感覚で体験でき、年齢を問わず気軽に参加できることから、幅広い年齢層でのスポーツへの継続的な取り組みに繋がっています。

また、無料開放 DAY は様々なビーチスポーツ体験の機会を提供し、延 534 人の参加があり、体験を通じてビーチバレー場の認知度が高まり、利用率も向上しました。

## (2) 新スポーツ健康ゾーンPRチラシの発行

新スポーツ健康ゾーン内にあるスポーツ施設の紹介及びスポーツ教室・大会の周知など新スポーツ健康ゾーンの魅力をPRして、認知度向上を図りました。

### 【4年度計画】

事務事業見直しにより廃止、イベント情報は区HPにて周知

### 【3年度実績】

発行部数：年1回（5,000部）

※年4回発行予定のうち、新型コロナ感染拡大のため、3回発行中止

## 15 スポーツ推進広報事業

平成30年度 事業開始

4年度予算額3,960千円（3年度予算額3,960千円）

多忙でスポーツ実施率の低い子育て・働き世代（20～40歳代）をメインターゲットに、自宅等で気軽にできる体操・ストレッチ等を紹介する情報紙の発行及び動画配信を実施して、日頃の運動に対する関心を高め、スポーツ実施率の底上げを図ることを目的としています。

### スポーツ情報紙の発行と動画の配信

With コロナの状況においても、「自宅でできる運動」の需要は高いと見込まれるため、初心者でも気軽に取り組める運動を紙面発行と動画配信を通じて紹介していきます。

また、スポーツへの興味や関心を高めるため、区にゆかりのあるアスリート、競技団体やスポーツイベントなどの情報を発信するとともに、食や健康、エンターテイメントなどを絡めた記事を掲載しています。

### 【4年度計画】

- ・発行部数：年4回（各5,000部）
- ・動画配信：年8～12本程度（発行1回に併せて2～3本を配信）予定

### 【3年度実績】

- ・発行部数：年4回（各5,000部）
- ・動画配信：年32本
- ・成果：令和3年度は「あす×とれ」（アスリート気分を手軽なトレーニング！）を年間テーマとして、東京2020大会の種目である「ホッケー」、「ビーチバレー」、「カヌー」、「バスケットボール」を各号の題材としました。

種目に関連する動作や運動など「家や職場でもできるお手軽エクササイズ」として紹介しました。

動画は発行月に4本、発行翌月に各4本配信し、1本あたりの平均視聴数は約450回、人気のある動画は6,500回を超えました。



## 16 東京 2020 レガシー事業

令和2年度 事業開始

4年度予算額 2,714 千円（3年度予算額 1,433 千円）

東京 2020 大会の開催による区民のスポーツに関する高まりを活かし、レガシー事業として実施することで、スポーツ実施率を向上し、区民の健康維持・増進を図ります。

### 【4年度計画】

#### （1）ランニング環境の整備事業

区民の継続的なスポーツ実施に繋げるため、大森スポーツセンター内に設置したランニングステーションのPR活動を引き続き実施します。

また、誰もが気軽に取り組めるスポーツとして人気のあるランニングの普及と、区民のスポーツ実施率の向上・健康増進を図るため、今年度は新たにランニング教室を開催します。また、令和5年度に予定している区民が楽しめるランニング大会の開催に向けて準備を進めます。

##### ア ランニングステーション

区民が継続的にランニングに親しむための拠点として利用者の拡大を図るため、PRチラシの配布等周知活動を継続していくとともに、大森スポーツセンター以外の新たな設置場所についても今後検討します。



大森ふるさとの浜辺公園

##### イ 大田区ランニング教室

走り方のアドバイスや、参加者が実際にランニングコースを走る体験を通して、大森ふるさとの浜辺公園内にあるランニングコースをPRします。

また、大森地区以外にも蒲田地区、調布地区での開催も予定しており、各地区のモデルコースの紹介を通し、区民が身近な場所でもランニングに親しめるきっかけづくりを行い、ランニングの普及につなげます。

実施回	開催日	場所
1回目	6月4日（土）	大森ふるさとの浜辺公園
2回目	未定	蒲田地区、調布地区
3回目		

##### ウ 大田区ランニング大会開催準備

令和2年度に実施したランニング事業計画調査の結果を踏まえ、令和5年度の大会開催に向けて準備を進めます。内容については、友人・知人や家族と気軽に楽しめ、子どもから高齢者、障がい者の方など幅広く参加できるものを目指して検討しています。

## (2) ボッチャ推進事業

東京 2020 大会を契機に、子どもから高齢者まで、誰もが楽しめるスポーツとして、パラリンピックの正式種目である「ボッチャ」を区内に普及し、大会後のレガシーへと繋げます。

ボッチャに触れ合うきっかけづくりとして、各特別出張所単位でボッチャ教室を開催します。気軽にスポーツに親しむ機会を提供し、区民のスポーツ実施率の向上に努めます。令和 4 年度は、24 回程度のボッチャ教室の実施を見込んでいます。

## 【3 年度実績】

### (1) ランニング環境の整備事業

#### ア ランニングステーション

大森スポーツセンター内に設置したランニングステーションの PR チラシを作成しました。チラシ表面にランニングステーションの案内、裏面に平和の森公園・大森ふるさとの浜辺公園を巡る推奨コース（3km・5km）を掲載し、利用するイメージが湧くような内容にしました。

新型コロナ感染拡大防止や東京 2020 大会に伴うブラジル選手団の事前キャンプにより使用を停止していた期間がありましたが、延べ 243 人が利用しました。



PR チラシ表面



PR チラシ裏面

#### イ 大田区ランニング大会開催に向けた検討

令和 2 年度に実施したランニング事業計画調査の結果を踏まえ、ランニング大会の開催に向けた検討を行いました。

## (2) ボッチャ推進事業

各特別出張所で 24 回程度の実施を計画していましたが、新型コロナ感染拡大防止のため、7 地区の特別出張所（入新井、池上、新井宿、久が原、雪谷、糀谷、六郷）にて、計 11 回（延べ 290 名）の実施となりました。パラリンピック正式種目であるボッチャを通じて、ユニバーサルスポーツへ理解を深めました。

## 17 大田スタジアム （公財）大田区スポーツ協会の管理運営

平成 7 年 7 月開館

令和元年 7 月リニューアルオープン

4 年度予算額 150,846 千円 （3 年度予算額 142,817 千円）

余暇活動の充実及び健康増進に寄与することを目的として、平成 7 年 7 月に開館しました。

老朽化施設の機能更新やバリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進、さらに多目的利用の拡大を目的に改修が行われ、令和元年 7 月 1 日にリニューアルオープンしました。

### 【指定管理者】

公益財団法人大田区スポーツ協会グループ（平成 31 年 4 月から）

※大田スタジアム、大森スポーツセンターを一括して運営管理している。

【施設概要】

- ・所在地：東海一丁目2番10号
- ・電話：03-3799-5820
- ・建物：①構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造  
②階数：地下1階、地上3階  
③敷地面積：約24,525.92㎡
- ・交通：京急バス 大田スタジアム下車 徒歩1分  
東京モノレール 流通センター駅  
または大井競馬場駅下車 約徒歩15分
- ・利用：7:00～21:00
- ・休館：12月29日から1月3日および臨時休館日



【施設内容】

- ・グラウンド 13,171.93㎡
- ・観客席 3,223席（車椅子席32席）
- ・大会議室 81㎡
- ・小会議室 61㎡
- ・本部室 34㎡
- ・駐車場 191台（その他大型バス駐車場5台あり）



大田スタジアム一般無料開放 DAY

(1) 施設利用状況

【3年度実績】

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)
早朝 7～9時	366	226	61.7	188	178	94.7	554	404	72.9

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)
日中 9～17時	1,460	1,272	87.1	766	734	95.8	2,226	2,006	90.1

野球場	平日			土・日・休			合計		
	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)	貸出枠	利用枠	利用率 (%)
ナイター 17～21時	706	642	90.9	350	330	94.3	1,056	972	92.0

年間利用者数（人）

グラウンド	44,023
スタンド	23,621
合計	67,644

・ 成 果

新型コロナ感染拡大防止のため、令和3年4月25日から5月11日まで使用停止しました。施設の利用再開に伴い、「大田スタジアムの使用再開に伴う感染拡大予防ガイドライン」を利用者に遵守させることで手洗いや消毒など感染予防対策を徹底したことにより、利用者の感染はありませんでした。

7月から8月に、東京2020大会の公式練習会場として、日本をはじめ各国代表チームが利用し、施設の認知度アップに繋がりました。

また、自主事業として定期的に「大田スタジアム一般無料開放 DAY」を実施して、綺麗な人工芝の上で体を動かせる機会を提供しました。

感染予防対策を講じながらの開催でしたが、延べ629人が参加しました。

**(2) 施設内広告掲載事業【新規】**

「するスポーツ」、「みるスポーツ」の双方で楽しめる施設として、広く知られる大田スタジアムを有効活用して、安定的な歳入確保に繋げていきます。

- ・ 広告掲載位置：外野ラバーフェンス
- ・ 広告掲載可能数：計12区画
- ・ 規格：縦1.5m×横8



広告掲載位置イメージ

**18 大森スポーツセンター（公財）大田区スポーツ協会の管理運営**

平成9年度 開設

4年度予算額 335,248 千円（3年度予算額 260,859 千円）

※上記の予算額は、大森本町複合施設維持管理の予算を含む。

区民の体育・スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的に、平成9年4月1日に開設しました。

都営大森本町二丁目アパート、大森老人ホーム、大田区立大森本町児童館等とともに大森本町複合施設を形成し、各施設の維持・管理運営において、連携・協力しています。

館内は、アリーナ、トレーニングルーム、健康体育室、小ホール、ミーティングルームや100台収容可能な地下駐車場（有料）などの施設があります。トレーニングルームでは、トレーニングマシンの利用ができるほかスポーツ教室も開催しています。

施設周辺でのランニング時にご利用いただけるランニングステーションも開設しています。

### 【指定管理者】

公益財団法人大田区スポーツ協会グループ（平成31年4月～）

※大田スタジアム、大森スポーツセンターを一括して運営管理している

### 【施設概要】

- ・所在地：大森本町二丁目2番5号
- ・電話：03-5763-1311
- ・建物：①構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造  
②階数：地上2階、地下2階  
③延床面積 約6,393㎡（駐車場を除く）
- ・交通：京浜急行本線 平和島駅下車 徒歩約6分
- ・利用：9：00～22：00
- ・休館：12月29日から1月3日までおよび臨時休館日

### 【施設内容】

- ・アリーナ 1,620㎡
- ・2階アリーナ 376席
- ・トレーニングルーム 375㎡
- ・健康体育室B 225㎡
- ・健康体育室C 150㎡
- ・ミーティングルームA 25㎡
- ・ミーティングルームB 20㎡
- ・小ホール 180㎡
- ・駐車場 100台



### 【3年度実績】

施設利用状況

施設	項目	利用可能 コマ数(回)	利用コマ数 (回)	利用率 (%)	利用者 (人)
アリーナ		823	735	89.31	43,228
トレーニングルーム(注1)		(274日)	(274日)	100	18,972
健康体育室B		823	757	91.98	10,431
健康体育室C		823	739	89.79	7,062
ミーティングルームA		823	106	12.88	575
ミーティングルームB		823	46	5.59	206
小ホール		823	176	21.39	3,697
ランニングステーション		—	—	—	243
合計		4,938	2,559	51.82	84,414

(注1) 日数表記（利用コマ数の合計に含まない）。教室参加者数を含む。

他施設のトレーニングルーム利用券枚数 52枚

## アリーナ利用状況 スポーツ種目別利用状況

施設 種目	アリーナ (注2)		健康体育室B		健康体育室C	
	利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)	利用回数 (回)	利用割合 (%)
バレーボール	69	8.72	—	—	—	—
バスケットボール	276	34.89	—	—	—	—
バドミントン	103	13.02	—	—	—	—
卓球	91	11.51	592	80.00	403	55.82
テニス	125	15.80	—	—	—	—
ハンドボール	6	0.76	—	—	—	—
ダンス、舞踊	8	1.01	19	2.57	19	2.63
武道	11	1.39	58	7.84	107	14.82
体操	15	1.90	27	3.65	40	5.54
バトン、カラーガード	55	6.95	7	0.94	8	1.11
その他のスポーツ	32	4.05	37	5.00	145	20.08
合計	791	—	740	—	722	—

(注2) アリーナの利用コマ数よりも多いのは、1区分の中で複数の種目が行われたため。

## スポーツ・その他(スポーツ以外)の割合

施設 種目	アリーナ		健康体育室B		健康体育室C	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合
スポーツ	734回	99.9%	740回	97.8%	722回	97.7%
その他	1回	0.1%	17回	2.2%	17回	2.3%
合計	735回	—	757回	—	739回	—

## ・成果

新型コロナ感染拡大防止のため、令和3年4月25日から5月31日まで使用停止としました。施設の使用再開にあたり、「大森スポーツセンター新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」を利用者に遵守させることで感染予防対策を徹底したことにより、利用者の感染はありませんでした。

7月から8月には、東京2020大会の事前キャンプ会場として、ブラジルオリンピック代表チームが使用し、選手の活動をサポートしました。

長らくコロナ禍においても、区民のするスポーツの身近な活動の拠点として、アリーナや健康体育室は高い利用率となっており、区民の健康増進に貢献しました。

## 19 大田区総合体育館

平成24年6月30日開館

4年度予算額213,818千円 (3年度予算額206,979千円)

昭和40年に建設した旧大田区体育館を改築のうえ、「大田区総合体育館」として新たに平成24年6月

30日に開館しました。

区民に良質な「する」「みる」「ささえる」スポーツの機会の提供を行うとともに、区民の生涯スポーツの活動拠点となることを目的として設置しました。

メインアリーナ（48m×38m）は、固定席と可動席を加えた約4,000席の観客席を有しています。区民が各種スポーツをして楽しむことができるとともに各競技のトップレベルのプレーを観戦することもできる施設です。そのほか、サブアリーナ（34m×19m）、体育室1・2、弓道場、会議室等の施設や地下2階には、62台収容可能な駐車場（有料）があります。

#### 【指定管理者】

住友不動産エスフォルタ・NTT ファシリティーズグループ  
（令和2年4月1日から）

#### 【施設概要】

- ・開設日：平成24年6月30日
- ・所在地：東蒲田一丁目11番1号
- ・電話：03-5480-6688
- ・規模：敷地面積：9,236 m<sup>2</sup>  
建築面積：5,826 m<sup>2</sup>  
延床面積：14,478 m<sup>2</sup>  
鉄骨鉄筋コンクリート造及び  
一部鉄筋コンクリート造鉄骨造  
地下2階 地上2階建
- ・交通：京浜急行本線梅屋敷駅下車 徒歩5分  
京浜急行本線京急蒲田駅下車 徒歩7分
- ・利用：9：00～21：00
- ・休館：不定期



東京2020大会ブラジル選手団事前キャンプの様子



#### 【施設内容】

- ・メインアリーナ：1,824 m<sup>2</sup>  
観客席4,012席（固定席2,186席・可動席1,816席・車椅子席10席）
- ・サブアリーナ：646 m<sup>2</sup>  
観客席 200席
- ・体育室1・2：各120 m<sup>2</sup>
- ・会議室：90 m<sup>2</sup>（3部屋に分割可能）
- ・控室1・2：各75 m<sup>2</sup>
- ・弓道場（5人立て）近的：28m
- ・駐車場：65台（うち身障者用駐車場3台、その他大型バス駐車場3台あり）

【3年度実績】

施設別利用状況

施設 \ 項目	利用可能コマ数 (回)	利用コマ数 (回)	利用率 (%)	利用者数 (人)
メインアリーナ	2,120	1,895	89.4	109,392
サブアリーナ	1,064	941	88.4	21,745
体育室1	1,064	871	81.9	11,608
体育室2	1,064	869	81.7	10,480
控室1	1,064	455	42.8	—
控室2	1,064	453	42.6	—
会議室	1,064	877	82.4	—
弓道場	939	927	98.7	8,840
合 計	9,443	7,288	—	162,065

スポーツ種目別利用状況（メインアリーナ・サブアリーナ）

種 目	利用コマ数 (回)	種目別利用割 (%)
バレーボール	301	10.6
バスケットボール	1,027	36.2
フットサル・サッカー	171	6.0
バドミントン	16	0.6
卓球	210	7.4
テニス	257	9.1
その他のスポーツ	854	30.1
合 計	2,836	100.0

スポーツ・集会等の割合

利用種別	利用コマ数(回)	利用割合(%)
スポーツ	7,065	96.9
集会等	223	3.1
合 計	7,288	100.0

3年度の主な大会等開催実績

日程	開催内容
9月9日、10日、11日	ノジマTリーグ 2021-2022 開幕戦
10月17日、18日	Bリーグ 2021-2022 アースフレンズ東京Z ホーム開幕戦
10月22日、23日	Wリーグ 2021-2022 東京羽田ヴィッキーズ ホーム開幕戦

12月31日	ボクシング WBO 世界スーパーフライ級タイトルマッチ
1月29日、30日	2020-21 V-LEAGUE DIVISION 1 サントリーサンバーズ、NEC レッドロケッツ 合同ホームゲーム

#### ・成果

新型コロナ感染拡大防止のため、令和3年4月25日から5月31日まで使用停止としました。新型コロナ感染が拡大する中、一般利用者及び興行主催者に手洗い消毒などの感染拡大予防対策を徹底のうえ、館内でクラスターを発生させることなく運営することができました。特に興行主催者とは、観客者数や飲食の取扱い、感染を予防するための実施体制等について、十分に打合せを行い実施しました。

東京2020大会ブラジル選手団事前キャンプにおいても同様に、新型コロナ感染拡大予防対策を徹底しながらサポートしました。その結果、ブラジルと良好な関係を築き、令和4年5月13日から15日までの3日間で在日ブラジル大使館と連携して、東京2020大会のレガシーを引き継ぐための「2022ブラジル大使館杯バレーボール大会」を開催しました。

また、バスケットボールやバレーボール、卓球等のプロ・トップリーグの公式戦を多数誘致し、トップレベルの「みるスポーツ」を楽しむ機会を提供しました。さらに、アリーナ開放事業やスポーツ教室などの「するスポーツ」についても充実させ、区民に愛される施設として運営しました。

## 20 東京オリンピック・パラリンピック推進事業 【大会終了のため廃止】

平成25年度 東京オリンピック・パラリンピック大田区推進本部会設置  
4年度予算額0円（3年度予算額148,070千円）

### （1）事前キャンプ受入れ事業

平成29年6月にブラジルオリンピック委員会（以下「COB」）と事前キャンプに関する覚書を締結し、令和元年度までに男女ハンドボール、男子バレーボールの合宿を受け入れました。

東京2020大会では、COBスタッフの第一陣が来日した6月19日以降、選手や監督・コーチ、COBスタッフ等が最大で約200名区内に滞在し、6競技の事前キャンプを受け入れ、大会に向けた活動を全面的に支援しました。また、国の感染防止対策方針に基づき、毎日の検査や行動管理の徹底など、新型コロナ感染拡大予防対策を施した結果、感染者をひとりも出すことなく事前キャンプを終えることができました。

### 【3年度実績】

#### ア 競技数変更

6月に立教学院（埼玉県新座市）が競技の受入れを断念したことを受け、COBから3競技追加の要請があり、6競技を受け入れました。

#### イ 実施概要と大会結果

選手等は大田区青少年交流センターと大森駅周辺宿泊施設（1か所）に分散して宿泊しました。選手村開村後は、選手は各競技日程にあわせて移動し、引き続きCOBスタッフや競技団体の関係者が両施設に滞在しました。食事については、主に大田区青少年交流センターで、COBが手配したシェフ等が作るブラジル料理が提供されました。

## 【実施競技一覧】

競技	練習施設	期間	人数	成績
男子バレーボール	大田区総合体育館	7月14日～7月21日	24	4位
ボクシング ※		7月12日～7月22日	16	金1、銀1、銅1他
ハンドボール	大森スポーツセンター	7月13日～8月1日	46	予選ラウンド敗退
レスリング ※		7月20日～7月29日	8	1回戦敗退
テコンドー ※	大田区青少年交流センター	7月15日～7月22日	11	準々決勝敗退 他
ビーチバレーボール	大森東水辺スポーツ広場	7月13日～7月23日	23	準々決勝敗退 他

(※追加で受け入れた競技)

### ウ 新型コロナ感染防止対策

#### (ア) 「受入れマニュアル」作成

各使用施設や交通事業者、医療機関など関係する団体と調整し、感染防止の基本原則をはじめ、食事や移動時等における遵守事項、PCR 等検査体制及び感染疑い者の発生時の対応等をまとめた「受入れマニュアル」を作成し、双方の関係者が遵守しました。

#### (イ) PCR 等検査

選手の来日以降は毎日検査を行ったほか、職員や施設管理者、ボランティアなども接触度合いに応じて事前に検査しました。

- ・ブラジル選手等の検査回数：延べ約 2,340 回
- ・職員やボランティア等の検査回数：延べ約 840 回

#### (ウ) 行動管理

選手等は専用車両で移動し、宿泊施設や練習施設など事前に作成した行動計画に基づく用務先でのみ活動しました。また、空港での入国時や区外に移動する際は職員が同行しました。区民等と接触の可能性が見込まれる場合においては、職員もしくはボランティアを配置し、動線分離を図りました。

#### (エ) 宿泊施設における食事会場及び宿泊フロアの借上げ

宿泊施設と調整して一般利用客と分離した食事会場を設けるとともに、選手等が滞在するフロアを専有で利用できるようにしました。

#### (オ) オンライン交流

7月19日に各競技チームのコーチと COB スタッフが区立中学校3校の生徒とオンラインで交流しました。中学生がブラジルの文化や競技の練習方法などを質問したほか、ブラジル国歌の斉唱、吹奏楽やチアリーディングを披露し、応援メッセージを送りました。また、選手から生徒に向けたメッセージ動画が放映されました。

#### (カ) その他

COB スタッフを通じて選手からは、「来日前はこれまでの大会と異なり不安であったが、検査の対応がスムーズだった。また、練習時にボランティアや施設スタッフが親切に接してくれたため、快適に過ごすことができた。」「今までのオリンピックの中で一番良かった。」などの感想をいただきました。

## エ 成果

- ・区民などに、世界のトッププレーヤーのスピードや技術、迫力を公開練習という形で間近で観てもらうことで、オリンピックの素晴らしさと競技の魅力を伝えることができました。
- ・学校訪問や競技者講習会、オンライン交流を通し交流した生徒をはじめとする区民は、学習した語学にジェスチャーを交えてコミュニケーションを図るなど、国際意識の醸成につながりました。
- ・COB だけでなく、ブラジル大使館との友好関係をより強めることができ、今後の区民交流の礎とすることができました。
- ・受入れ施設においては、海外のスポーツ選手の受入れやそれに伴う区民交流のノウハウを培うことができ、今後の施設活用の幅の広がりや区民にとっての新たな交流の可能性を示すことができました。



男子バレーボール  
(大田区総合体育館)



テコンドー  
(大田区青少年交流センター)



ビーチバレーボール  
(大森東水辺スポーツ広場)



女子ハンドボール：日本代表との練習試合  
(大森スポーツセンター)



男子ハンドボール  
(大田区青少年交流センター)



食事の様子  
(大田区青少年交流センター)



オンライン交流の様子  
(大森第六中学校)



チアリーディングを披露  
(大森第十中学校)



石川台中学校から送られた  
VAMOS（頑張れ）と記念撮影

## (2) おたウエルカムボランティア事業

大会観戦者やブラジル選手団を区民とともに歓迎しおもてなしするため、区が独自に行うボランティア事業です。新型コロナウイルス感染拡大のため大会が無観客開催となったため、観光分野の活動は全面的に取り止めとなりましたが、ブラジル事前キャンプにおいては、万全な感染対策を施し、各練習施設でモップ掛けや飲み物の補充、通訳などを行い、ボランティアマインドの醸成に繋がりました。

### 【3年度実績】

#### ア 登録人数

大会の1年延期を受け、令和2年12月から令和3年4月まで高校生ボランティアの追加募集を行い、一次登録者とあわせて137名となりました。

#### 【おおたウエルカムボランティア（高校生除く）内訳】 計322名

年齢構成比	～30代		40～50代		60代～		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
観光	4	5.56	27	37.50	41	56.94	72
国際交流（観光）	4	15.38	16	61.54	6	23.08	26
スポーツ	11	7.97	81	58.70	46	33.33	138
国際交流（スポーツ）	14	16.28	52	59.30	21	24.42	86
合計	33	10.25	175	54.35	114	35.40	322

※単位：人数（人）、構成比（％）

#### イ 活動内容

（ア）当初の予定 ※令和3年4月1日時点

- ・観光分野については、日本の玄関口である羽田空港や多くの大会観戦者の利用が見込まれる区内主要駅において、競技会場までの交通案内や区内の観光情報の紹介を行う予定でした。

#### 【活動計画】

	京急蒲田	JR蒲田	JR蒲田	JR大森	羽田空港第1	羽田空港第2	羽田空港第3
総日数	12日間	10日間	14日間	17日間	30日間	30日間	30日間
内訳：オリ期間	7	9	8	13	17	17	17
内訳：パラ期間	5	1	6	4	13	13	13
人数/回	2	3	3	3	2	2	2
回数/日	1	1	2	1	1	1	1
延べ人数	24	30	84	51	60	60	60

- ・スポーツ分野については、各練習施設でボール拾いやモップ掛け、通訳のほか、大田区青少年交流センターにて食事配膳の手伝い、区民との交流時の運営補助を予定していました。

（イ）実際の活動

- ・観光分野については、新型コロナ感染拡大に伴い大会が無観客開催となったため、全ての活動を中止しました。
- ・スポーツ分野については、選手等との接触度合いを鑑みて一部の活動を取り止め、短時間での通訳やモップ掛け、荷物の梱包作業など行いました。

【活動人数】 延べ人数 302名

#### ウ 新型コロナ感染拡大防止対策

活動前に抗原検査をし、活動日前日もしくは当日に陰性を確認した上で活動していただきました。また、活動2週間前からの体調の記録を提出してもらい、当日の検温のほか基本的な感染対策を遵守の上、活動にあたってもらいました。

## エ 参加したボランティアの声

「少しでもサポートでき、練習も見ることができて応援する気持ちが高まった」「ユニフォームでボランティアと分かると選手が手を振ってくれた」「目の前にいた選手をテレビで観ることができて嬉しかった」「他のボランティアとコミュニケーションがとれて有意義だった」など、好意的な意見が多く寄せられました。一方で、「コロナ禍でなければ、もっと交流したかった」「検査日程の調整ができず、活動回数が少なかった」など、当初の予定どおりの活動が行われなかったことを惜しむ声も寄せられました。



練習後のモップ掛け  
(大森スポーツセンター)



選手の荷物梱包作業  
(大田区総合体育館)



練習用具の搬入  
(大森東水辺スポーツ広場)



区民との動線分離のため選手に同行  
(大森東水辺スポーツ広場)



高校生ボランティアも活動  
(大田区総合体育館)



中学生とのオンライン交流で通訳  
(大田区青少年交流センター)

## (3) 大会会場関係

### 【3年度実績】

#### ア 大井ホッケー競技場サウスピッチ (東海一丁目)

男子日本代表「サムライジャパン」、女子日本代表「さくらジャパン」を含む男女各 12 チームが出場し、サウスピッチでは全 28 試合が行われました。日本代表は 2018 年のアジア大会で男女ともに優勝しており、メダル獲得が期待されましたが、サムライジャパンは 1 分 4 敗、さくらジャパンは 5 敗で予選ラウンド敗退となりました。

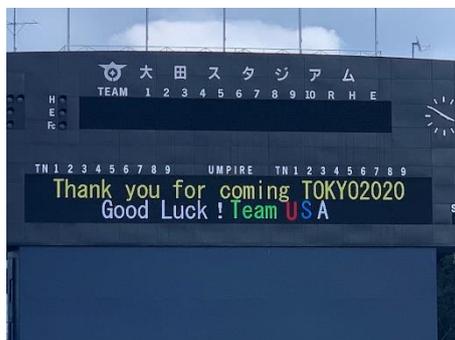
- ・男子順位：1 位ベルギー 2 位オーストラリア 3 位インド
- ・女子順位：1 位オランダ 2 位アルゼンチン 3 位イギリス

#### イ 大田スタジアム

令和元年 6 月、大田区と大会組織委員会は大田スタジアムを野球・ソフトボールの公式練習会場として使用する旨の覚書を締結しました。その後、東京 2020 大会の 1 年延期を受け、大会を簡素化することになり、ソフトボールの練習は行われませんでした。一方、野球は出場する全 6 か国が使用しました。

また、日本代表は全勝でアメリカとの決勝戦に挑み、見事に勝利を収め、オリンピックで初めて金メダルを獲得した記念すべき大会となりました。この功績を後世に伝え残すため、大田スタジアムに記念銘板を設置しました。

- ・使用期間：令和3年7月5日から8月10日
- ・対象種目：野球
- ・出場国（使用国）：日本、アメリカ合衆国、ドミニカ共和国、韓国、イスラエル、メキシコ



翌日の試合に備えて練習に励む選手に向けたメッセージ



記念銘板

#### （４）東京 2020 大会気運醸成事業

区内の主要駅や区施設等での東京 2020 大会に関する装飾や、区との取組を紹介する動画の放映など、大会開催に向けて気運を盛り上げました。大会までのカウントダウンと連動して、SNS やホームページ等で積極的に情報を発信し、大会本番に向けて区民の期待感を高めていきました。

大会直前と大会期間中には、聖火リレートーチなどの展示や大会の情報提供などを行い、より多くの区民に区での取り組みを周知し、大会に対する関心を高めました。

#### 【3年度実績】

##### ア 動画による気運醸成

###### （ア）大会気運醸成動画「おおた Fight!」の発信

令和2年度に制作した本動画は、大田区出身のアーティスト SEKAI NO OWARI の楽曲「Fight Music」を使用し、区ゆかりのアスリート4名と多くの区民の皆さんに協力していただき、羽田空港や池上本門寺、町工場など区の特徴的な場所で撮影しました。アスリートや区民がコロナ禍で奮闘し、困難を乗り越えていく姿を通じて、大会への前向きな気持ちを醸成し、アスリートへの応援に繋げていく動画となっています。大会に向けた気運醸成につなげるため、大会 100 日前にあたる4月14日から YouTube 大田区チャンネルで公開しました。なお、動画は現在も公開中です。

- ・タイトル：「おおた Fight!」
- ・再生時間：約3分

###### （イ）共生社会理解促進動画「パラアスリートと支えあう人」の発信

令和2年度に、2名のパラアスリートに協力いただき、支えあう人との交流を通じてお互いの想いを語っていただいた動画を制作しました。障がいと向き合う中で変化していく心情や、壁を乗り越えていく姿などを通じて、共生社会の促進につながる内容となっています。大会に向けた気運醸成につ

なげるため、大会 100 日前となる 4 月 14 日から、大会気運醸成動画「おおた Fight！」と共に YouTube 大田区チャンネルで公開しました。なお、動画は現在も公開中です。

- ・タイトル：パラアスリートと支えあう人（高田千明選手編、若生裕太選手編の 2 本）
- ・再生時間：各約 10 分

#### (ウ) 成果

大会気運醸成動画「おおた Fight!」は、公開から半年ほどで再生回数が約 10,000 回となりました。区民が多数出演したことによる口コミや、大田区出身の有名アーティストに協力いただいたこともあり、情報の拡散につながりました。また Twitter のコメントでは、「元気が出た」といった声も多く聞かれ、大会に向けての気運醸成につながりました。より多くの方にご覧いただくために、区役所本庁舎をはじめ区施設やイトーヨーカドー大森店等で放映しました。

また、動画を収めた DVD を区内の全小中学校等に配布しました。特に「パラアスリートと支えあう人」については、教育委員会の管理職、指導主事に視聴してもらい、教育現場での活用を促進しました。

#### <動画の放映期間>

- ・区役所本庁舎 1 階ガラス面 令和 3 年 4 月 14 日～9 月 5 日
- ・区役所本庁舎 1 階 待合室 令和 3 年 4 月 15 日～9 月中旬
- ・イトーヨーカドー大森店 令和 3 年 4 月 15 日～5 月末
- \*その他、観光情報センター、アプリコ、区民プラザ、大田文化の森等の区施設でも随時放映しました。



おおた Fight !



パラアスリートと支えあう人  
(高田千明選手編)



パラアスリートと支えあう人  
(若生裕太選手編)

#### イ まちの装飾と展示等

##### (ア) 区役所本庁舎の装飾（外観及び内観）

区役所本庁舎の外観に、大会ルック（公式デザイン）や大会マスコット（ミライトワ・ソメイティ）をあしらった華やかな装飾を行い、大会開催への期待感を高めました。

また、本庁舎の 1 階正面ロビーには区ゆかりのアスリートを紹介する装飾を行い、選手の認知度向上に努めました。

- ・期間：令和 3 年 4 月 14 日（水）から 9 月 10 日（金）



本庁舎外観①



本庁舎外観②



本庁舎 1階正面ロビー

(イ) 本庁舎等での懸垂幕掲示

大会への出場が決定したビーチバレーボールの白鳥勝浩選手、バスケットボールの本橋菜子選手、新体操の熨斗谷 (のしたに) さくら選手、パラ陸上走幅跳・100mの高田千明選手の懸垂幕を本庁舎に掲出し、大会出場を祝い、区民の応援を促進しました。

また、本橋選手が女子バスケットボールで銀メダルを獲得した際にも懸垂幕を掲出し、功績を称えました。

- ・期間：令和3年7月5日（月）から9月5日（日）



本橋選手 懸垂幕



熨斗谷選手 懸垂幕

(ウ) 本庁舎1階スペースでの展示

大会期間を通して、区役所本庁舎1階の展示スペースやガラス面を使用して、区内開催競技のホッケーや区ゆかりの選手、区内開催競技であるホッケーの日本代表を応援する展示、大田工業連合会が製作したパラリンピック聖火リレーの採火器具の展示等を実施しました。ガラス面の展示を撮影されている方も多くみられ、選手等の認知度向上を図りました。



ホッケー日本代表紹介  
(7/14～8/19)



区ゆかりの選手紹介  
(7/30～8/16)



本橋選手 銀メダル獲得  
(8/16～9/10)



熨斗谷選手・白鳥選手出場  
(8/16～9/10)



高田選手入賞  
(9/2～9/10)



パラリンピック聖火リレー採火器具  
(9/1～9/30)

### (エ) 東京 2020 公式アートポスター展示

国内外の著名なアーティストが、オリンピックとパラリンピックをテーマに制作したアートポスターを、区役所本庁舎 2 階南側のスペースに展示しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々なイベントが中止となっているなか、限られた機会とスペースを有効活用し、大会の PR に努めました。



東京 2020 公式アートポスター展示

- ・期間：令和 3 年 8 月 4 日（水）から 9 月 10 日（金）
- ・内容：オリンピックをテーマとした作品 12 点  
パラリンピックをテーマとした作品 8 点
- ・主なアーティスト：  
金澤翔子さん（書家）、 浦沢直樹さん（漫画家）  
蜷川実花さん（カメラマン） 荒木飛呂彦さん（漫画家）

他

### (オ) 聖火リレートーチ巡回展示

全国を巡回展示している聖火リレートーチを本庁舎 3 階で展示しました。併せて、大田区内を走行予定であった聖火ランナー 3 名の聖火リレーに対する思いや、1964 年大会時のトーチ及び聖火ランナーのユニフォーム等の展示も行いました。

実施直前の 7 月 6 日に、区内の公道走行が中止されたため区で聖火トーチを間近で見学できる貴重な機会となり、多くの方に来場いただきました。



(左) オリンピックトーチ  
(右) パラリンピックトーチ

- ・日時：令和 3 年 7 月 8 日（木）
- ・場所：大田区役所 3 階中央展示コーナー
- ・内容：聖火リレートーチ、聖火ランナー紹介、東京 1964 大会の聖火リレー紹介等
- ・来場者数：約 1,200 人（職員含む）



トーチ写真の撮影待ち行列

(カ) オリンピック大会期間中の展示について（中止）

当初、区役所本庁舎3階では、大会期間を通じて大会に関する企画展示を実施する予定でした。区で実施するコミュニティライブサイトや区内開催競技であるホッケー競技、区ゆかりの選手についての情報発信を行い、大会の観戦や選手の応援など積極的な参加につなげるために企画を準備していました。しかし、緊急事態宣言が都内全域で発出され、集客するイベントが自粛となったため、当該展示は中止となりました。

(キ) パラリンピック大会期間中の展示について（中止）

オリンピック大会期間中展示と同様に、予定していた展示期間が緊急事態宣言下であったため、当該展示は中止となりました。

(ク) グランデュオ蒲田での大型バナー掲出

グランデュオ蒲田東西連絡通路のガラス面に、区ゆかりの選手や区開催競技のホッケーを紹介し、応援を促す大型バナーを14枚掲出しました。

大型バナーはJR蒲田駅改札口の正面からも見ることができるため、多くの駅利用者に区ゆかりの選手やホッケーを印象づけることができました。

また、同時期に東西連絡通路では、選手を詳しく知ってもらうため、選手紹介のパネル展を実施し、競技写真の展示や選手紹介のチラシ配布などを行いました。当通路は平日約7,000人/日、休日約10,000人/日が通行する場所であり、チラシも多くの人に手に取っていただきました。

- ・期間：＜大型バナー掲出＞ 令和3年4月14日（水）から5月7日（金）
- ＜パネル展示＞ 令和3年4月14日（水）から4月21日（水）



大型バナー（JR蒲田駅改札前）



大型バナー（東西連絡通路）



パネル展示(東西連絡通路)

(ケ) 蒲田駅東口仮囲い装飾

JR蒲田駅東口仮囲いの壁面に、ブラジルの事前キャンプやホッケー競技の開催情報、区ゆかりの選手の装飾を実施しました。

蒲田駅前の通行量が多い場所での大型装飾により、競技観戦や選手応援につながる情報を発信し、大会への期待感を高めました

・期間：令和3年7月5日（月）～9月10日（金）



ブラジル事前キャンプとホッケーの情報



区ゆかりのアスリート

### (コ) 大森駅周辺でのデジタルサイネージ

大森駅改札前ニューデイズ等にある計3箇所のデジタルサイネージにおいて、ブラジル事前キャンプ、ホッケー競技開催案内、区ゆかりの選手についての情報を発信しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初予定していた装飾が実施できなかったため、急な状況変化にも対応しやすいデジタルサイネージを活用し、情報発信に努めました。

・期間：令和3年7月15日（木）から8月8日（日）



中央改札前ニューデイズ前



大森駅構内キオスク付近①



大森駅構内キオスク付近②

### (サ) スポーツ施設における展示

大会に関係する区内のスポーツ施設3箇所において、展示を実施しました。

#### <大田スタジアム>

東京2020大会の野球の公式練習会場となった大田スタジアムでは、大井ホッケー競技場が近いこともあり、区内開催競技であるホッケーをテーマに展示を行いました。

・期間：令和2年10月7日（水）から展示中



大田スタジアム 正面ロビー

### <大森スポーツセンター>

ブラジル選手団（男女ハンドボール等）の事前キャンプ地である大森スポーツセンターでは、聖火リレーをテーマに展示を行いました。区内の聖火リレーコース紹介や、1964年の東京大会記念ポスターを展示し、区民に対して聖火リレーの認知度向上に努めました。

スポーツ推進課で推進しているランニングステーション事業の展示と合わせて実施することで、相乗効果が生まれました。

- ・期間：令和2年9月25日（金）から令和3年9月30日（木）



大森スポーツセンター

### <大田区総合体育館>

ブラジル選手団（男子バレーボール等）の事前キャンプ地である大田区総合体育館では、ブラジル関連の展示を行いました。

- ・期間：令和2年10月7日（水）から展示中



大田区総合体育館 地下1階

### (シ) 文化施設における装飾と4館連携

東京2020大会の開催時期に合わせ、大田区の4つの美術館・博物館が連携して企画展を行い、各館が特色を生かして、区内外からの来訪者に大田区の魅力をアピールしました。

当該事業にあわせて、4館に大会公式デザインをあしらった横断幕を掲出することで、大会期間における企画展の一体感を創出するとともに、文化の祭典でもあるオリンピックのイメージも打ち出しました。

- ・期間：令和3年7月20日（火）から9月末



郷土博物館



大森海苔のふるさと館



龍子記念館



勝海舟記念館

#### (ス) その他区施設等の装飾

上記のほかにも、特別出張所や地域庁舎、大岡山駅前駐輪場、平和の森公園等に大会公式デザインをあしらった懸垂幕や横断幕を掲出しました。大田区の様々な場所で、大会公式デザインやマスコットを目にすることで、多くの区民に大会を身近に感じてもらいました。



蒲田地域庁舎



大岡山駅前駐輪場



平和の森公園駐車場

#### (セ) 成果

コロナ禍で集客するイベントの開催が難しい中、区内の装飾や展示を実施することで、東京2020大会の気運醸成を図り、蒲田駅東口仮囲いの装飾は、人の目を引くようにインパクトのある大きな選手等の写真を用いました。人通りの多い場所ということもあり、足を止めて装飾を眺めたり、写真を撮ったりする方が多く見受けられました。その他にも、区施設等に横断幕や懸垂幕の掲出、大森駅におけるデジタルサイネージの放映等を行い、区ゆかりの選手の情報を中心に積極的に大会情報を発信しました。

聖火リレートーチの展示は、一日だけの実施にもかかわらず、実物のトーチをひと目見ようと、区民、職員合わせて約1,200人が来場しました。都内における聖火リレーの公道実施は中止となりましたが、聖火リレーへの関心を高める契機となる展示を実施することができました。また、本庁舎1階においては、大会期間前から終了後まで、主にアスリートをテーマにした展示を行い、区ゆかりの選手の応援につながられました。

まちの装飾においては、大森、調布、蒲田地域と区全域を網羅し、展示においては、多くの区民が目にする区役所本庁舎やグランデュオ蒲田で実施するなど、大会を盛り上げることができました。

#### ウ 広報・PR

東京2020大会開催の気運を高めるため、区の広報媒体を積極的に活用し、東京2020大会関連情報の発信に努めました。

##### (ア) 区報（1面特集）

- ・令和3年7月1日号 特集：「GO, ATHLETES！挑戦する選手に熱い声援を！」
- ・令和3年11月1日号 特集：「PLAY BACK！東京2020大会を振り返る」
- ・令和3年4月～9月の他の号についても、東京2020大会に関する情報発信を行いました。

##### (イ) Twitter

大会前からイベントや区アスリートの国際大会の成績等を継続的に発信し、大会への興味・関心を

高めるように取り組みました。

大会当年の4月からは、大会までのカウントダウンのタイミングなどに、いよいよ大会本番を迎えるという高揚感を与えられるように意識し、定期的に東京2020大会関連情報を発信しました。（新型コロナの感染状況により、一時発信を自粛する期間がありました。）

大会期間中は、出場する区ゆかりの選手の試合の放送日程等を積極的に発信し、区民からの応援に繋がりました。

#### (ウ) デジタルサイネージ

本庁舎や区施設のデジタルサイネージで、令和3年6月から9月まで継続的に大田区関連の東京2020大会情報を発信し、来所された方に周知しました。

#### エ チケット事業（中止）

大会の雰囲気やスポーツの素晴らしさを競技会場で直接体感してもらうため、東京都や内閣官房によるチケット活用事業を実施する予定でした。

しかし、令和3年3月に新型コロナ感染拡大のため、本事業の中止を決定しました。

（最終的には、大会を通じて多くの競技が無観客での実施となりました。）

### (5) 東京2020大会開催時間関連事業

区民と一体となって大会を盛り上げ、感動を共有し、大会後のスポーツや文化の振興等につなげていくため、コミュニティライブサイトや聖火リレーのセレモニー、区独自プログラムなど様々な取組を行うために計画を進めていましたが、新型コロナ感染拡大の影響により、多くの事業が中止となりました。

#### 【3年度実績】

##### ア コミュニティライブサイト\*（以下：CLS）及び地域連携イベント事業等（中止）

###### (ア) 全体の経過

区民に一生に一度の感動体験を味わってもらうために、大田区ならではのコミュニティライブサイトを企画し、都内最大級の大型ビジョンを使った迫力の競技放映、アスリートトークショーなどのステージ、レガシーにつなげていくための企画コーナーなどの準備を進めていました。

しかし、新型コロナ感染拡大の状況を鑑み、東京都がライブサイトの中止を決定するに至り、区でも慎重に検討した結果、6月21日にCLS、地域連携イベント、パブリックビューイング（CLS実施日以外で区ゆかりの出場選手の競技放映）のすべてを中止しました。

\*コミュニティライブサイト：競技放映の他、ステージプログラムや展示・体験・飲食ブースなど含めスポーツの楽しみ方を体感する自治体が主催のイベント。

###### (イ) 当初の実施計画

###### ・実施日：

<オリンピック期間> 延べ6日間

7月24日（土）・25日（日）、7月31日（土）、8月1日（日）、8月7日（土）・8日（日）

<パラリンピック期間> 延べ3日間

8月27日(金)・28日(土)・29日(日)

・場所：大田区総合体育館

・実施内容：

＜競技放映及びステージプログラム＞

区ゆかりの選手、区内開催競技ホッケー、事前キャンプを実施するブラジル選手の競技放映を中心に構成しました。アスリートトークショーや地域団体の応援パフォーマンスなど区ならではのプログラムを企画しました。

＜企画コーナー＞

大会後のレガシーを見据え、競技放映を見に訪れた区民の皆さんが、スポーツや文化など何かに取り組んでみたいと思うような、次のアクションを後押しする企画・展示コーナーを予定していました。

【区ゆかりの選手】 大会に出場するアスリートをパネルなどで紹介。競技放映をより一層楽しむことができる展示。

【オリパラ PR】 これまで大会本番に向けて実施してきたオリパラ事業の紹介の他に、友好都市である東松島市の復興の取り組み、聖火リレー到着の様子を展示。

【スポーツ】 新スポーツ健康ゾーンを中心としたスポーツ施設や、ヨガやテニスなど初心者でも取り組みやすいプログラムなど、スポーツを実施するきっかけづくりになる展示。

【文化振興】 大会期間に実施する4館連携企画を紹介し、各館にある文化や芸術作品を実際に見てみたいと思ってもらい来館を促す展示。

【観光振興】 区のマスコット「はねぴよん」をモチーフとして、区の特徴的な場所や名産などをかるた形式で紹介する、お子さんも楽しめる展示。

＜商店街連携事業＞

大田区総合体育館に近い梅屋敷梅交會協同組合と連携し、体育館の周辺で来場客をもてなす縁日を企画していました。

＜パブリックビューイング＞

実施計画日以外で、区ゆかりの選手が出場する場合は、大田区総合体育館等でパブリックビューイング(競技放映のみ)を実施する予定でした。

(ウ) 中止後の対応

集客をするイベントを中止する中で大会を盛り上げていくために、ホームページやSNS、動画の放映などによる情報発信を積極的に行い、本庁舎や区施設等における展示などを通じて、大会や区事業のPRを行いました。

イ オリンピック聖火リレー

新型コロナ感染拡大の状況を鑑み、大会組織委員会及び東京都聖火リレー実行委員会は、都内(島しょ部を除く)で実施する聖火リレーの公道走行を中止し、セレブレーション会場で点火セレモニーを開催しました。



大田区総合体育館

#### (ア) 全体の経過

区では区内聖火リレー走行及び大森ふるさとの浜辺公園でミニセレブレーション（セレモニー）の実施に向けて、大会組織委員会や東京都聖火リレー実行委員会、警察、消防等の関係機関と連携を図りながら準備を進めていました。

しかし、7月6日の聖火リレー公道走行中止の決定に伴い、区内で実施予定だった聖火リレーの走行及びミニセレブレーション等は全て中止しました。

#### (イ) 関係機関との事前準備

東京都聖火リレー実行委員会、警視庁が中心となり、警察協議を2回実施し、走行経路の確認、懸念点の洗い出し、感染対策やテロ対策などを検討しました。さらに、所轄の警察署、消防署とも個別に情報共有を行いました。

また、会場となる大森ふるさとの浜辺公園や大森海苔のふるさと館、大田区産業プラザ等の施設管理者とも事前調整や情報共有を行いました。

#### (ウ) 新型コロナ感染拡大予防対策

人が密集するセレモニー会場の徹底した感染予防対策を検討しました。当初は、会場内の出入りは自由でしたが、感染予防及びテロ対策の観点から入場制限を設けました。

一般観覧者は事前申し込み制（抽選）とし、万が一クラスターが発生した場合は連絡が取れる仕組みを整えました。また、会場のレイアウトも警察など関係機関からの指導を受けて検討を重ねました。

#### (エ) 聖火リレー交通規制に伴う対応

聖火リレーの走行路にあたるエリアにおいて、区民の日常生活や移動に影響がないように、自治会・町会長会議、区商連の理事会などを通じて各関係団体に周知をしました。

また、蒲田東口商店街など影響の大きい商店街には個別に説明を行いました。交通規制による影響を最小限に抑えるために、チラシの配布、ポスティング、ポスターの掲出、ホームページやTwitterでの配信等、さまざまな周知活動を準備していましたが、公道での走行中止に伴い中止しました。

#### (オ) 聖火リレーボランティアの運営

聖火リレーの運営や沿道警備等のサポートにあたるボランティアを、自治会・町会関係者、スポーツ団体、区内高校、おたウエルカムボランティアなどに協力を依頼し、約700名の方が登録しました。ボランティアの役割や配置場所を決め、走行当日は、区施設や区立小学校に集合して活動する予定でした。

事前の研修は、新型コロナ感染拡大の影響のため、東京都聖火リレー実行委員会が制作した動画を基にオンライン配信にて行いました。オンライン配信での受講が難しい方には、人数を制限して対面での研修を計4回行い準備を進めました。

公道走行中止に伴いボランティアの活動も中止となりましたが、ボランティアが着用予定であったユニフォーム等はすでに購入済みだったため、希望者に配布しました。

#### (カ) 中止後の対応

7月6日に聖火リレーの公道走行中止が決定した後、速やかに中止に伴う様々な対応を行いました。ミニセレブレーションは、すでに観覧者の募集を開始していたため、申し込みをされていた方や出演を予定していた区内の団体へ中止の連絡を行いました。合わせて、聖火リレースタート時に第一走者の聖火ランナーに随走予定だったサポートランナー20名と学校に対して中止の連絡を行いました。

その他、警察、消防、バス、商店街連合会などの関係者、ボランティアの集合場所として予約していた学校や施設（大森東小学校、大森第五小学校、こらぼ大森、大田区産業プラザ、北蒲広場等）についても中止の連絡をしました。

#### (キ) 点火セレモニー

聖火リレーの公道走行に代わり、セレブレーション会場で点火セレモニーが実施されました。

##### 実施概要

- ・日時：令和3年7月21日（水）
- ・場所：品川区立しながわ中央公園
- ・内容：区長、議長挨拶、聖火ランナー30名によるトーチキス等
- ・その他 セレモニーの様子はインターネットでライブ配信されました。



区長挨拶



区長から金澤翔子さんへ  
トーチ点火



田口良一さんから高田千明さんへ  
トーチキス

##### ステージプログラム映像の提供

点火セレモニーの様子は、東京都がインターネットでライブ配信しました。その動画では、ミニセレブレーションに出演予定だった区内団体のステージプログラムも一緒に放映されました。

当動画の放映は、公道走行中止により急遽決定したため、動画提出まで6日間という短期間でしたが、各団体に協力をいただき動画を制作し配信することができました。



ステージプログラム映像の一部

<出演団体> 大田区太鼓連盟、大田区バトン協会、NPO法人  
ピポットフット

#### サポートランナーの参加

区の第一走者の伴走をする予定だった区内小中高校から選出された 20 名のサポートランナーを、点火セレモニーに招待して 16 名が観覧しました。

#### ・成 果

聖火リレーの公道走行は中止になりましたが、聖火リレートーチ展示では実際のトーチを観ることができる貴重な機会を提供することができました。

また、点火セレモニーは関係者のみの開催となりましたが、ミニセレブレーションに出演を予定していた団体にインターネット配信という形で発表する場の提供をしました。新型コロナ感染拡大防止対策に努めながら、大会の気運を醸成し、大会を身近に感じてもらうことができました。



サポートランナー集合写真

#### ウ パラリンピック聖火ビジット

##### (ア) 全体の経過

パラリンピック聖火は、全国の各自治体の方法により火を起こしてつくられました。

区では、ものづくりのまちの特徴を活かして、大田工業連合会青年部の協力により採火器具を製作し種火を採火しました。

火は、東京都及び全国の集火式を経てパラリンピック聖火となり、開催都市での聖火リレーを経てオリンピックスタジアムに届けられました。



採火器具 製作の様子

##### (イ) 採火器具の製作

採火に使用する器具の製作は、大田工業連合会青年部に依頼しました。設計や盤面を立体に加工するヘラ絞りや板金加工、溶接など各技術を得意とする 8 社の協力により完成しました。

<制作を依頼した採火器具>

凹面鏡（おうめんきょう）、点火棒



製作した採火器具

##### (ウ) 種火の採火

8月10日(火)、平和の森公園の平和都市宣言記念「愛し子」像の前で、ギリシャのアテネで開催されるオリンピック聖火の採火方法と同様に凹面鏡を用いて太陽光から火を採りました。

区長と製作に携わった大田区工業連合会青年部の5名が行いました。



凹面鏡による採火の様子



採火した大田区の種火



大田工業連合会青年部の皆さん

### (エ) 採火式

8月20日(金)に、区長が区役所本庁舎前で事前に採っていた種火を「大田区の火」とすることを宣言しました。同日、採火器具と「大田区の火」を本庁舎3階に展示しました。



採火式の様子



採火器具と「大田区の火」展示



### (オ) 都内及び全国集火式

8月20日(金)に、都庁で都内集火式が行われ、大田区をはじめ都内62区市町村の火が集められて「東京都の火」となりました。分火した「東京都の火」を同日午後本庁舎3階に展示しました。

また同夜には、迎賓館赤坂離宮で全国集火式が行われ、全国から集められた聖火とパラリンピック発祥の地である英国ストーク・マンデビルからの聖火を合わせ、「パラリンピック聖火」となりました。

### (カ) 動画制作・発信

町工場が取組んだ採火器具の製作から平和の森公園で採火をするまでの様子を収めた動画を制作し、YouTube 大田区チャンネルで公開しています。

- ・タイトル：東京2020パラリンピック聖火リレー～区内の町工場が製作した採火器具で大田区の種火を採火しました！～

- ・再生時間：8分33秒



動画の一場面

#### (キ) 採火器具の展示

製作した採火器具は、より多くの人に見ていただけるように、人通りの多い場所に展示しました。また、羽田イノベーションシティに新しくできた交流拠点である「HANEDA×PiO（ハネダピオ）」にも展示しています。

- ・令和3年8月26日（木）～8月31日（火） グランデュオ蒲田東西連絡通路
- ・令和3年9月1日（水）～9月27日（月） 大田区役所本庁舎1階展示スペース
- ・令和3年10月1日（金）～ 羽田イノベーションシティ「HANEDA×PiO」



グランデュオ蒲田東西連絡通路展示



区役所本庁舎1階展示



HANEDA×PiOの展示

#### (ク) 成果

町工場が採火器具を製作する自治体は全国でも珍しく、多数のメディアに取り上げられました。採火式当日も同屋のニュースで知り、来場される方もいました。

聖火ビジット（採火器具と採火した火の展示）は1日のみで、緊急事態宣言期間中ということもあり、広く周知することはできませんでしたが、区報やテレビ等を見て興味を持たれて来場された方が多くいました。

取り組みを通じて、パラリンピックの関心を高めるとともに、区の特徴であるものづくりの街のPRに貢献しました。

#### エ パラリンピック聖火リレー

東京都での公道走行が中止となったため、セレブレーション会場で点火セレモニーが実施されました。また、区内での走行も中止となったため、区が推薦した聖火ランナーが次の日程で開催された点火セレモニーに参加しました。

- ・令和3年8月20日（金）美谷島ももかさん（スポーツクライミング）
- ・令和3年8月21日（土）ROJER（ロジャー、ダブルダッチのチーム）

#### オ 大田区×読響スペシャルコンサート

##### (ア) 全体の経過

パラリンピックを契機に障がいに対する理解を深め、人々の多様な在り方を相互に認め合える共生社会を育むきっかけとするため「大田区×読響スペシャルコンサート」を企画していました。

しかし、新型コロナ感染拡大の影響のため、無観客開催となりコンサートの模様を動画で配信しました。

## (イ) 当初の計画

大会の興奮と感動を“一流の音楽”という観点からみんなで分かち合い、障がいのあるご本人や介助者がリラックスして楽しむ機会を提供する予定でした。健常者の方と障がいのある方が一緒に楽しむことで、障がいに対する理解を深め共生社会の実現に寄与することが目的でした。

そのため、車椅子席を 12 席用意し、介助犬同伴可とし、聴覚障がい者向けにパイオニア社のボディソニック\*を 10 台、手話通訳（障がい者総合サポートセンター派遣）2 名、パソコン要約筆記（東京都派遣）を手配する予定でした。

\*体感音響システム：振動装置が組み込まれたポーチとザブトクッションで構成されており、振動が体に伝わり、聴覚に障がいのある方も全身で音楽を楽しむことができる装置。

## (ウ) 動画の概要

- ・公演名：大田区×読響スペシャルコンサート
- ・配信期間：令和3年8月20日（金）から令和4年8月19日（金）まで
- ・配信場所：YouTube 大田区チャンネル

### コンサート部分

- ・実施日：令和3年7月17日（土）
- ・実施場所：大田区民ホール・アプリコ（大ホール）
- ・内容：

区長挨拶

コンサート

<演奏> 読売日本交響楽団

<指揮> 松本 宗利音(まつもと しゅうりひと)

<司会> 鈴木 健（日本テレビ・アナウンサー）

<曲目> オリンピック・マーチ（古関裕而）※1964年東京オリンピックの写真映像を使用

歌劇「カルメン」から“アラゴネーズ” “闘牛士”（ビゼー）

歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲（マスカーニ）

交響曲第5番「運命」第1楽章（ベートーヴェン）

行進曲「威風堂々」第1番（エルガー）

ラデツキー行進曲（全6曲）



コンサートの模様

### 高田 千明選手出演部分

- ・高田千明選手（東京2020パラリンピック出場：走幅跳・100m）
- ・インタビュー（陸上を始めたきっかけや大会直前の調整状況、出場競技の見どころ等）

### 金澤 翔子さん出演部分

- ・金澤翔子さん（書家/東京2020公式アートポスター制作者）
- ・揮毫「共に生きる」、パラアスリートの皆さんへ向けた応援メッセージ



高田千明選手のインタビュー



金澤翔子さんの揮毫



「共に生きる」完成作品

## (エ) 広報

有観客で実施する予定だった際の観覧申込者とおおたウエルカムボランティアに、個別にメールを送付して案内しました。

また、より多くの方に視聴いただくために、区内障がい者施設 24 か所、障がい者団体 10 か所をはじめ、特別出張所、図書館、文化センター等にチラシを送付して周知をしました。さらに、区報、区ホームページ、区 twitter、ユニークおおた、SmartNews、大田区文化振興協会ホームページなど様々な媒体を活用し、周知しました。

## (オ) 成果

一流の音楽と障がいを乗り越えて活躍するアスリート等の姿の映像を通じて、障がいに対する理解を深め共生社会の実現に寄与する内容となりました。

なお、聴覚障がい者への配慮として、司会、インタビュー等の全編に字幕をつけました。

## (2) 文化振興課

区の文化振興は、平成 31 (2019) 年 3 月に策定した大田区文化振興プランにおいて「文化を愛し育み創造する、にぎわいのあるまち大田区～地域力を生かした多様な文化とのふれあい～」というまちの将来像を目指すとし、その中で「誰もが文化に触れ、豊かな暮らしを送る」「誰もが地域に魅力を感じ、楽しむ」「誰もが地域で自分らしく生きがいをもって暮らす」という 3 つの具体的な姿を設定しています。

このプランに基づく基本目標のもとで、各種施策を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、公演やイベントの休止、博物館、記念館をはじめとする文化施設の休館などがあり、文化活動が制約を受ける状況が続いています。そのような状況であっても、文化の持つ心豊かな時間の醸成、想像力を育み、生きる力を生み出し、人と人とのつながりや交流の輪を広げ、コミュニティが形成される事業を推進していきます。

予算事務事業名	事業名	頁
<b>文化国際費</b>		
平和都市宣言記念事業		
	1 平和都市宣言記念事業	53
(公財) 大田区文化振興協会の運営		
	2 (公財) 大田区文化振興協会の運営	54
地域文化の振興		
	3 地域文化の振興	54
大田区民ホール等管理運営費		
	4 大田区民ホール等管理運営	57
文化施設管理運営費		
	5 文化施設管理運営	58
OTAふれあいフェスタ		
	6 OTAふれあいフェスタ	69
地域間交流事業		
	7 地域間交流事業	69
文化祭		
	8 文化祭	70
博物館管理運営費		
	9 郷土博物館の管理運営	72
	10 郷土博物館の事業	72
大森 海苔のふるさと館の運営		
	11 大森 海苔のふるさと館の運営	83
勝海舟記念館の運営		
	12 勝海舟記念館の運営	89
絵画等保管拠点の維持管理		
	13 絵画等保管拠点の維持管理	95

# 1 平和都市宣言記念事業

昭和 59 年度 事業開始

4 年度予算額 68,638 千円 (3 年度予算額 5,081 千円)

区は、昭和 59 (1984) 年 8 月 15 日に世界の恒久平和と人類の永遠の繁栄を願い、平和都市宣言をしました。平和の尊さや大切さを若い世代に語り継ぎ、戦争のない平和なまちを未来へ引き継ぐため各種事業を実施しています。

## (1) 平和の記念式典、花火の祭典

区では、昭和 62 (1987) 年から「JAZZ コンサートの夕べ」としてコンサート、式典、花火の打ち上げを開始しました。その後、平成 9 (1997) 年に、大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」と名称を改めました。この事業は、(公財) 大田区文化振興協会との共催により実施しています。

### 【4 年度計画】

花火の祭典 新型コロナ感染拡大防止のため中止

平和の記念式典

- ・開催日：8 月 15 日
- ・会場：大田区民プラザ（無観客ライブ配信による実施を予定）
- ・沿革：昭和 62 年度から実施  
平成 9 年度に名称変更

### 【3 年度実績】

花火の祭典 東京 2020 大会開催のため中止

平和の記念式典 緊急事態宣言期間中のため無観客ライブ配信

- ・大田区民ホール・アプリコで「平和の記念式典」の無観客ライブ配信を実施し、YouTube 大田区公式チャンネルで後日公開しました。
- ・当日視聴者数：計 7,510 人
- ・成果：花火の祭典は中止となり、平和の記念式典も無観客開催となりましたが、当日のライブ配信及び後日の YouTube 配信を通じ、多くの方に平和の尊さを伝えることができました。

## (2) 平和・原爆のパネル展

広島及び長崎の原爆の日に合わせパネル展示を行い、核のない世界の実現と戦争の悲惨さを伝えます。

### 【4 年度計画】

- ・開催期間：8 月 3 日から 10 日
- ・会場：本庁舎 3 階中央展示コーナー
- ・沿革：平成元年度から実施

### 【3年度実績】

- ・開催期間：8月5日から11日
- ・会場：本庁舎3階中央展示コーナー

### (3) 平和の映画キャラバン

区内児童等を対象に地域で生命と平和の大切さを伝えます。

### 【4年度計画】 1月から3月、区内児童館 10か所予定

- ・沿革：平成3年度から実施

### 【3年度実績】 1月から3月、区内児童館 6か所



花火の祭典



平和・原爆のパネル展（令和元年度）

## 2 (公財) 大田区文化振興協会の運営（運営費補助・事業費補助）

昭和62年7月創立

4年度予算額 218,269 千円 （3年度予算額 218,769 千円）

※事業の詳細は「5 文化施設管理運営」に掲載（P58 参照）

## 3 地域文化の振興

平成23年度 事業開始

4年度予算額 5,665 千円 （3年度予算額 5,665 千円）

区内の多様な地域文化に触れる機会を提供し、区民が地域への愛着と誇りを持ち、にぎわいのある暮らしを実現します。

### (1) 大田区文化振興プランに基づく評価

#### ア 各施策の進捗管理

各事業の自己評価ならびに、進捗状況と成果、課題を示し、改善に向け協議します。

#### 【4年度計画】

- ・ 市内の関係部局からの文書による報告を実施
- ・ 沿革：大田区文化振興プランに基づき、令和元年度より、文化振興推進連絡会議を実施（2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため文書による報告を実施）

#### 【3年度実績】

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議は中止、文書による報告を実施

#### イ 評価方法

- ・ 文化施設の利用者数の把握
- ・ 重点事業の参加型評価

#### 【4年度計画】

- ・ 本プランの重点施策の中から事業を選択し、参加された方を対象に実施予定
- ・ 沿革：大田区文化振興プランに基づき、令和元年度より実施

#### 【3年度実績】

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大のため、予定していた中間評価を実施することができませんでした。そのため、参加型評価手法の確立が困難となったことから、本プランの2年間の延長を決定しました。（令和5年度までの5か年計画を、令和7年度まで延長）

### （2）Living with GRANDUO～おおたの文化 week～

ジェイアール東日本商業開発株式会社グランデュオ蒲田と大田区の公民連携事業として、大田区伝統工芸発展の会等の協力のもと、大田区の歴史・文化を紹介することを目的に開催します。

#### 【4年度計画】

- ・ 開催期間：2月から3月に実施予定
- ・ 沿革：平成23年度から平成27年度まで「おおたミュージアムと伝統文化の共同展示会」として実施  
平成28年度から「おおたの文化フェア」へと名称変更  
令和3年度に「Living with GRANDUO～おおたの文化 week～」へ名称変更

#### 【3年度実績】

- ・ 開催期間：3月16日から29日
- ・ 来場者数：約10,000人
- ・ 成果：普段触れる機会の少ない伝統工芸士の技術を実演することで、伝統工芸の素晴らしさをPRすることができました。  
また、小学生以下を対象としたワークショップには多くの子どもたちが参加し、伝統工芸への関心や興味に喚起することができました。

### (3) 洗足池 春宵の響

笛や囃子等の和楽器演奏の鑑賞を通じ、日本の伝統芸能に触れる機会を区民に提供し、文化や芸能に対する意識の醸成を図ります。

また、洗足池の風物詩として当事業を区内外に発信し、文化の振興と地域の活性化を図ります。



過去の開催の様子

#### 【4年度計画】

- ・実施日：未定
- ・会場：洗足池西岸「池月橋」  
※新型コロナ感染拡大防止のため、内容変更や中止となる場合もあります。
- ・沿革：平成7年から特定非営利活動法人大田まちづくり芸術支援協会（ASCA）主催で実施  
平成27年から「洗足池 春宵の響」実行委員会及び大田区主催で実施

#### 【3年度実績】

新型コロナ感染拡大防止のため中止

### (4) 大田区伝統工芸士認定制度

様々な芸術・芸能等の文化を下支えする伝統工芸士の社会的評価の向上を図り、被認定者の実績等を区民に周知することで、伝統工芸への興味・関心を喚起します。

#### 【4年度計画】

- ・12月中旬 認定審査会実施
- ・沿革：平成29年度から実施

#### 【過去の実績（認定者数）】

- ・令和3年度：推薦なし
- ・令和2年度：3人  
宮崎正明氏（染色用型紙）、田中康友氏（和笛）  
小野恒夫氏（彫刻）
- ・令和元年度：2人  
黒川朋子氏（紹ざし）、中山健氏（和裁）
- ・平成30年度：1人  
町田久美子氏（手描友禅）
- ・平成29年度：5人  
本阿弥光州氏（刀剣研磨）、宮崎静花氏（日本刺繍）  
伊東孝夫氏（東京三味線）、春原敏雄氏（江戸表具）  
吉澤均氏（江戸和竿）



(5) 4館連携事業 おおた夏のミュージアムめぐり

- ・沿革：平成30年「夏休み 博物館・記念館回遊ラリー」事業開始

【3年度実績】

東京2020大会の開催に合わせ、区内の博物館・記念館の回遊性を高め、“おおたの文化の魅力”を再発見してもらうことを目的に開催しました。スタンプラリーも実施し、期間内に4館をめぐっていただいた方を対象に記念品をお渡ししました。

- ・郷土博物館 特別展「川瀬巴水ー版画で旅する日本の風景ー」
- ・大森 海苔のふるさと館 写真展「東京オリンピックに沸いたあの頃の海辺」
- ・勝海舟記念館 企画展「所用品から見る海舟の姿」
- ・龍子記念館 企画展「葛飾北斎『富嶽三十六景』×川端龍子の会場芸術」

※展示会の概要は各館の実績をご参照ください。

- ・成果：「文化の祭典」でもある機会に各館の魅力を発信することで、多くの区民に来館いただき、東京2020大会を契機としたレガシーのひとつとなりました。

<b>4 大田区民ホール等管理運営</b>
-----------------------

平成10年度【アロマスクエア街区】日本生命、大田区、高砂香料工業の三者共同出資により管理会社を設立

【アロマ地下駐車場】 駐車場設置、指定管理により施設管理を行う  
4年度予算額 225,092千円 （3年度予算額 264,259千円）

大田区民ホール・アプリコの地域冷暖房システム（空調）経費、また、ホール、駐車場などを含んだ共同開発施設「アロマスクエア街区」の管理運営のための費用（負担金）を支出しています。

また、アロマスクエア地下2階の区営アロマ地下駐車場の指定管理者管理代行経費を支出しています。

区営アロマ地下駐車場の概要（平成10年11月5日供用開始・蒲田五丁目37番4号）

項目	概要
収容台数	297台
利用時間	午前7時～午後11時 *1月1日から3日及び保守点検日は休業
車両制限	高さ2.1m以下（施設構造上）、長さ5.3m以下（条例上）、幅2.0m以下
利用料金	【7:00～23:00】100円/15分（4時間30分まで）
	【駐車後24時間まで】最大1,800円
3年度実績	【駐車台数】156,982台
	【料金収入】168,584,700円（区への納付金115,095,350円）

## 5 文化施設管理運営

昭和 62 年度 大田区文化振興協会 創立  
4 年度予算額 4,232,062 千円 (3 年度予算額 2,081,267 千円)

大田区の文化振興施策を推進するため、(公財)大田区文化振興協会は、指定管理者として、大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森、熊谷恒子記念館、龍子記念館の管理代行業務を行っています。また、龍子公園、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の管理運営について業務を委託しています。大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森の 3 施設は、「区立施設における特定天井耐震化対策基本方針」の対象施設のため、順次工事を行います。令和 4 年度は、大田区民ホール・アプリコの工事を引き続き行い、3 月からは大田区民プラザの工事も開始予定です。

また、馬込地区に区民寄贈絵画等を収蔵・一部展示できる施設を整備するため、設計業務に着手します。

### (1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業

施設の規模や地域性を活かし、大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、施設外等で、様々な事業を行っています。

#### ア 文化芸術の振興に資する公演事業

##### 【4 年度計画】

ジャンル	計画
音楽 (クラシック、ジャズ、ポップス等)	6 事業
伝統芸能・演芸 (狂言、文楽、落語等)	2 事業
演劇・舞踊 (演劇、ダンス、バレエ等)	5 事業
区連携 (洗足池春宵の響、OTA ふれあいフェスタ、おおた和の祭典)	3 事業

##### 【3 年度実績】

ジャンル	実績 (中止となったもの)
音楽 (クラシック、ジャズ、ポップス等)	12 事業計画 12 事業 中止 (0)
伝統芸能・演芸 (狂言、文楽、落語等)	5 事業計画 5 事業 中止 (0)
演劇・舞踊 (演劇、ダンス、バレエ等)	3 事業計画 3 事業 中止 (0)
区連携 (洗足池春宵の響、OTA ふれあいフェスタ、おおた和の祭典)	3 事業計画 2 事業 中止 (1)

#### 区連携事業について

- ・おおた和の祭典：大田区で日本の伝統文化が未来を担う子どもたちに継承されるよう、区内で伝統芸能の活動を行う文化団体との連携により、邦楽・日本舞踊、華道茶道などの和 문화体験講座を実施しました。邦楽と日本舞踊講座では、参加者による成果発表会を行いました。

#### イ 文化芸術の振興に資する展示事業

区内在住作家の作品をアプリコに展示するとともに、龍子記念館や熊谷恒子記念館等に年数回、テーマ別に展示するなど区民が身近な場所で芸術作品に触れられる機会を提供しています。

【4年度計画】

事業名	種別	計画
アプリコ・アートギャラリー ※ <sup>1</sup>	絵画	通年1期
大田区在住作家美術展 (併催)チャリティー・オークション	平面 立体	10月28日から11月5日
龍子記念館 ※ <sup>2</sup>	日本画	I期 4月23日から7月3日 II期 7月16日から10月10日 III期 10月22日から1月15日 特別展 2月11日から3月12日
熊谷恒子記念館 ※ <sup>3</sup>	かな書	出張展覧会Ⅰ 4月23日から5月8日 出張展覧会Ⅱ 12月1日から12月5日
ギャラリートーク (龍子記念館、熊谷恒子記念館、 山王草堂記念館、尾崎士郎記念館)	日本画 かな書	龍子記念館・山王草堂記念館・尾崎士郎記念館： 毎月1～2回 龍子記念館：夏休み小・中学生ギャラリートーク、 SNS 配信 熊谷恒子記念館：出張展覧会中に2～4回

【3年度実績】

事業名	種別	実績
アプリコ・アートギャラリー ※ <sup>1</sup>	絵画	通年2期 1期 仲田好江～線の魅力 2期 弦田英太郎～あでやかな華
大田区在住作家美術展 (併催)チャリティー・オークション	平面 立体	新型コロナ感染拡大防止のため中止
龍子記念館※ <sup>2</sup>	日本画	I期 4月3日から7月4日 1,181人 企画展Ⅰ 7月17日から8月15日 2,462人 企画展Ⅱ 9月4日から11月7日 7,265人 II期(前期) 11月20日から1月30日 1,611人 II期(後期) 2月5日から4月3日 1,883人
熊谷恒子記念館 ※ <sup>3</sup>	かな書	I期 4月17日から7月4日 309人 II期 7月17日から10月14日 600人
ギャラリートーク ※ <sup>4</sup> (龍子記念館、熊谷恒子記念館、山 王草堂記念館、尾崎士郎記念館)	日本画 かな書	龍子記念館 8回 334人 熊谷恒子記念館 2回 32人 山王草堂記念館 10回 122人 尾崎士郎記念館 10回 122人

※<sup>1</sup> 令和3年度アプリコ・アートギャラリーは、アプリコ特定天井工事休館のため、全2期  
(1期：6月24日から9月26日、2期：9月28日から12月27日)で開催

※<sup>2</sup> 龍子記念館の4年度計画、3年度実績の詳細はP66を参照ください。

新型コロナ感染拡大防止のため、4月27日から5月31日まで臨時休館

※<sup>3</sup> 熊谷恒子記念館の4年度計画、3年度実績の詳細はP67を参照ください。

新型コロナ感染拡大防止のため、4月27日から5月31日まで臨時休館

長寿命化工事のため、10月15日から臨時休館

※<sup>4</sup> 龍子記念館(6月、9月から3月)、熊谷恒子記念館(6月)、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館(4月、6から7月、9月から3月)でギャラリートークを実施

## ウ 文化芸術の振興に資する普及事業（各種講座・啓発事業）

子どもをはじめ、多くの区民が身近な場で文化芸術の楽しさや素晴らしさを感じられるよう、学校や地域での公演、講習、コンサート等を実施します。また、事業実施を通じて、若手や地域ゆかりのアーティストの発掘に努めながら、活動の機会や発表の場を提供します。

### 【4年度計画】

- ・ 無料公演：OTA アートプロジェクト（マチニエヲカク・インスタレーション展示・1回）  
馬込文士の足跡をたずねて（2回・山王草堂記念館）
- ・ 講座：Future for OPERA in ota, TOKYO2022 オペラ歌手に挑戦！（3クラス各11回）  
Future for OPERA in ota, TOKYO2022 ジュニアワークショップ（全2日）  
夏休みアートプログラム（全2日）  
パフォーマンスキッズトーキョー（全10回）  
初めての日本画講座（春・秋）  
記念館講座（4回・大田文化の森）  
夏休みワークショップ（8月・龍子記念館、熊谷恒子記念館）
- ・ 出張講座：大田区 JHS ウインドオーケストラ（9月から3月）  
大田区学校出張講座（旧：大田区学校出張コンサート） 通年  
フレンドシップ福祉施設訪問事業（2回）
- ・ 動画配信：オンラインあーとシアター（通年）  
OTA アートプロジェクト（馬込文士村 空想演劇祭 2022）  
OTA アートプロジェクト（現代アート・ライブ配信・4回）  
OTA アートプロジェクト（アナログ・ミュージック・マスターズ） 通年
- ・ その他：フレンドシップアーティスト オーディション（複数回）

### 【3年度実績】

- ・ 公演：アプリコお昼のピアノコンサート（3回・入場者数：延べ1,434人）
- ・ 講座：夏休みアートプログラム（全2日）  
記念館講座（4回・入場者数：延べ214人）  
夏休みワークショップ 龍子記念館、熊谷恒子記念館共に中止  
龍子記念館 会話型ワークショップ 3月21日 17人  
熊谷恒子記念館 かな書体験ワークショップ 7月17日から28日 36人  
初めての日本画講座 11月から12月（全5回）19人  
2月から3月（全5回）20人
- ・ 出張講座：大田区 JHS ウインドオーケストラ（9月から3月）  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため発表会は関係者のみ鑑賞  
大田区学校出張講座（旧：大田区学校出張コンサート）（9月から1月）  
参加校：矢口小・東六郷小・雪谷小・大森東小・田園調布小・中富小・中萩中小・  
道塚小（参加者数 8校・1,105人）  
フレンドシップ福祉施設訪問事業（2回）  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- ・動画配信 OTA アートプロジェクト（現代アート・ライブ配信・4回）

**（２）文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業**

地域文化振興支援事業として、大田区で文化芸術活動を行う団体等の活動を助成、支援します。  
このほか、大田文化の森運営協議会の活動支援も行っています。

**【3年度実績】**

- ・共催事業：6事業、入場者数 2,885人 ※区を除く、区内文化団体との共催
- ・後援事業：5事業、入場者数 1,040人
- ・公演サポーター事業 登録者数19人、参加事業数30事業、参加人数延べ84人  
※うち、後援1事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

**（３）文化芸術資源の情報収集と発信に関する事業**

**【3年度実績】**

- ・大田区文化振興協会情報誌「Art Menu」 隔月年6回  
大田区文化芸術情報誌「ART bee HIVE」 4回
- ・大田区文化振興協会 PRESENTS「ART bee HIVE TV」  
令和2年度から始動した紙面連動型TV番組  
区内の劇団 山の手事情社の俳優とともに、大田区内の文化・芸術情報を iTSCOM 及び J:COM にて放映しました。4回
- ・OTA アートミーティング  
区内で文化活動を展開する個人・団体とのネットワーク構築と情報交換を目的としたアートに関する学び及び交流の場。1回  
このほか、大田区文化振興協会ホームページやTwitter、Instagram、YouTube、LINE、おおた区報等で、管理を行う施設での公演情報や地域の文化芸術情報を発信していきます。

**（４）文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業**

**【3年度実績】 指定管理者管理代行による収入と支出**

施設名	使用料等収入額	補助金支出	管理代行・業務委託費支出
大田区民プラザ	70,915,685円	218,769,000円	252,383,600円
大田区民ホール・アプリコ	30,589,613円		112,402,700円
大田文化の森	35,373,591円		292,171,600円
熊谷恒子記念館	39,550円		12,383,000円
龍子記念館	3,001,950円		77,020,800円
山王草堂・尾崎士郎・龍子公園			21,771,000円
合計	139,920,389円	218,769,000円	768,132,700円



施設別利用計画・実績

ア 大田区民プラザ（昭和62年10月31日開設・下丸子三丁目1番3号）

【4年度計画】

特定天井工事に伴う休館期間は、令和5年3月から令和6年4月までの予定です。

【3年度実績】

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
大ホール	297	179	301	198	288	142	886	519	34,211
	60.3%		65.8%		49.3%		58.6%		
小ホール	312	204	325	255	312	177	949	636	17,326
	65.4%		78.5%		56.7%		67.0%		
展 示 室	312	185	312	207	303	172	927	564	13,003
	59.3%		66.3%		56.8%		60.8%		
リハーサル室	320	284	333	273	326	165	979	722	8,777
	88.8%		82.0%		50.6%		73.7%		
美 術 室	334	221	335	230	316	2	985	453	2,859
	66.2%		68.7%		0.6%		46.0%		
第1会議室	332	246	335	257	322	135	989	638	5,559
	74.1%		76.7%		41.9%		64.5%		
第2会議室	329	214	329	216	322	116	980	546	4,166
	65.0%		65.7%		36.0%		55.7%		
第3会議室	325	131	332	169	333	35	990	335	2,334
	40.3%		50.9%		10.5%		33.8%		

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)	
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)		
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率			
第4会議室	335	273	334	252	321	76	990	601	3,892	
	81.5%		75.4%		23.7%		60.7%			
第1和室	333	230	334	246	321	143	988	619	2,066	
	69.1%		73.7%		44.5%		62.7%			
第2和室	333	217	337	220	321	71	991	508	1,732	
	65.2%		65.3%		22.1%		51.3%			
茶 室	327	43	329	81	316	8	972	132	224	
	13.1%		24.6%		2.5%		13.6%			
第1音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,518	757	8,064	
							49.9%			
第2音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1513	927	3,287	
							61.3%			
体 育 室	195	194	268	262	266	251	729	707	7,152	
	99.5%		97.8%		94.4%		97.0%			
オートテニス	1回30分単位で月・水曜日は午前6区分、金曜日は全日23区分									2,946
トレーニング ルーム										11,474
卓 球	1回1時間単位で月・水曜日は午前2区分、金曜日は全日11区分									2,071
合 計									131,125	

イ 大田区民ホール・アプリコ（平成10年12月11日開設・蒲田五丁目37番3号）

【4年度計画】

特定天井工事のため、令和4年1月から令和5年2月まで休館しています。工事終了後の利用開始は、令和5年3月を予定しています。

【3年度実績】

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
室 場 名	利 用 率		利 用 率		利 用 率		利 用 率		
大ホール	212	149	219	171	212	142	643	462	76,974
	70.3%		78.1%		67.0%		71.9%		
小ホール	219	164	222	194	215	162	656	520	17,109
	74.9%		87.4%		75.3%		79.3%		

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
展 示 室	227	185	228	188	219	178	674	551	83,072
	81.5%		82.5%		81.3%		81.8%		
Aスタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,031	796	11,230
						77.2%			
Bスタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,029	776	4,053
						75.4%			
合 計									192,438

ウ 大田文化の森 (平成13年11月3日開設・中央二丁目10番1号)

【3年度実績】

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
ホ ー ル	286	159	303	189	287	116	876	464	16,845
	55.6%		62.4%		40.4%		53.0%		
展 示 コーナー	324	106	326	106	311	103	961	315	7,381
	32.7%		32.5%		33.1%		32.8%		
多目的室	305	197	311	228	304	175	920	600	25,435
	64.4%		73.3%		57.6%		65.2%		
第1集会室	324	258	322	245	315	75	961	578	4,382
	79.6%		76.1%		23.8%		60.1%		
第2集会室	324	244	325	222	314	61	963	527	6,004
	75.3%		68.3%		19.4%		54.7%		
第3集会室	324	215	326	204	313	63	963	482	4,768
	66.4%		62.6%		20.1%		50.1%		
第4集会室	324	189	326	211	313	74	963	474	4,872
	58.3%		64.7%		23.6%		49.2%		
控 室	321	98	323	91	312	30	956	219	580
	30.5%		28.2%		9.6%		22.9%		
和 室	324	277	326	245	315	93	965	615	6,879
	85.5%		75.2%		29.5%		63.7%		
調 理 室	322	53	322	94	312	17	956	164	1,519
	16.5%		29.2%		5.4%		17.2%		

区 分	午 前		午 後		夜 間		合 計		利用者数 (人)
	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	稼働 日数 (日)	利用 件数 (件)	
美術室	324	89	326	265	312	16	962	370	5,167
	27.5%		81.3%		5.1%		38.5%		
工芸室	323	112	325	155	312	2	960	269	2,000
	34.7%		47.7%		0.6%		28.0%		
第1音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,459	1,011	5,239
							69.3%		
第2音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,451	847	4,681
							58.4%		
第3音楽 スタジオ	1回2時間単位で1日5区分利用						1,478	1,046	4,554
							70.8%		
第1スポーツ スタジオ	308	242	310	242	302	197	920	681	8,280
	78.6%		78.1%		65.2%		74.0%		
第2スポーツ スタジオ	1回1時間単位で1日13区分利用						3,261	1,732	3,464
運営協議会主催事業全館使用事業									0
大田区事業全館使用事業									0
合 計									112,050

エ 大田文化の森 情報館

【3年度実績】

区 分	登録者数 (人)		貸出者数 (人)	貸出冊数 (冊)		AV (枚)	合 計
	新規	累計		図書	雑誌		
図書コーナー	1,381	8,856	133,253	316,163	13,521	20,625	350,309

区 分	利用者数 (人)			
	体験コーナー	インターネット	創作活動コーナー	合 計
マルチメディアコーナー	3,207	7,465	170	10,842

オ 龍子記念館 (平成3年11月3日開設・中央四丁目2番1号)

日本画の巨匠・川端龍子の躍動感ある作品を展示する美術館です。建物も自身の設計によるものです。旧宅、アトリエ、庭園 (龍子公園) も時間限定で公開しています。

【4年度計画】

事業名	計画
名作展Ⅰ	「新しかる上に 龍子の日本画へのまなざし」 4月23日から7月3日
名作展Ⅱ	「涼風を語る 龍子が描いた風景画を中心に」 7月16日から10月10日
名作展Ⅲ	「コンストラクション 龍子作品の構築性をめぐって」 10月22日から1月15日
開館60周年記念特別展	「横山大観と川端龍子（仮）」 2月11日から3月12日
ワークショップ	小学生対象ワークショップ 令和4年8月・11月
講座及び普及事業等	記念館講座 12月から令和5年3月の間で1回 展示内容等のSNS配信 通年 英会話ボランティア養成講座 11月から12月 美術館コンサート 5月13日 特別展講演会 2月

【3年度実績】

事業名	実績
名作展Ⅰ	「川端龍子の院展時代～画壇の新巨星として」4月3日から7月4日 ※4月27日から5月31日臨時休館 入場者数1,181人
名作展Ⅱ	「みなさんが選ぶ 龍子記念館コレクション」 前期 11月20日から1月30日 入場者数1,611人 後期 2月5日から令和4年4月3日 入場者数1,883人
東京2020大会企画展	「葛飾北斎「富嶽三十六景」×川端龍子の会場芸術」 7月17日から8月15日 入場者数2,462人
地域連携企画展	「川端龍子vs高橋龍太郎コレクション」 9月4日から11月7日 入場者数7,265人
ワークショップ	小学生対象対話型ワークショップ 3月21日 参加者数17人 8月夏休み子ども対象ワークショップ ※新型コロナ感染拡大防止のため中止
講座及び普及事業等	記念館講座 3月20日 参加者91人 展示内容等のSNS配信 36配信 視聴回数8,302回 子ども向け解説動画のSNS配信 36配信 視聴回数237回 美術館コンサート 5月5日 無観客で実施（YouTubeで公開） 地域連携企画展トークイベント 9月25日 参加者47人 地域連携企画展講演会 10月24日 参加者96人

入館者数14,402人（大人7,070人、小人259人、高齢者5,881人、幼児147人、招待者等1,045人）

※大人：16歳以上65歳未満、小人：6歳以上16歳未満、高齢者：65歳以上、幼児：6歳未満

カ 熊谷恒子記念館（平成2年4月1日開設・南馬込四丁目5番15号）

現代女流かな書の第一人者として活躍した熊谷恒子が、生前住んでいた自宅を改装し運営しています。優美な書の作品や旧書齋、遺品などの関連資料を展示しています。

【4年度計画】

事業名	計画
出張展覧会 かなの美展Ⅰ	「書の雅 万葉集・古今和歌集を中心に」 4月23日から5月8日 池上会館
出張展覧会 かなの美展Ⅱ	「書の趣き 松尾芭蕉・与謝蕪村の世界（仮）」 12月1日から12月5日（予定）
コラボレーション展示	現代アート作品を予定 12月1日から12月5日（予定）
ワークショップ	小・中学生対象ワークショップ 8月13日 高校生以上対象ワークショップ 8月14日
講座及び普及事業等	記念館講座 12月から令和5年3月の間で1回 展示内容等のSNS配信 通年

【3年度実績】

事業名	実績
かなの美展Ⅰ	「日本の四季を愛でる 第1期 中世歌人を中心に」 4月17日から7月4日 入場者数309人 ※4月27日から5月31日臨時休館
かなの美展Ⅱ	「ベスト・セレクション もう一度見たい所蔵作品」 7月17日から11月23日 入場者数600人 ※10月15日から施設の長寿命化工事のため臨時休館
コラボレーション展示	「料紙と書 墨の流れ、時の流れ」 4月17日から7月4日 入場者数309人
東京2020大会企画―	かな書体験ワークショップ 7月17日から7月28日 36人
ワークショップ	夏休み小・中学生、親子対象ワークショップ 中止
講座及び普及事業等	記念館講座 2月19日 入場者数38人 展示内容等のSNS配信 5配信 視聴回数582回

入館者数975人（大人382人、小人27人、高齢者515人、幼児14人、招待者等37人）

※大人：16歳以上65歳未満、小人：6歳以上16歳未満、高齢者：65歳以上、幼児：6歳未満

キ 龍子公園（平成16年7月1日開設・南馬込四丁目4番11号）

画室及び旧宅を外観から公開し、庭園と併せて龍子公園として開設しています。

画室（木造平屋建）、旧宅（木造2階建）、庭園

金・土・日曜日・祝日は23人の区民ボランティアスタッフが交代で、公園内の龍子の旧宅やアトリエ、持仏堂などを参加者に説明します。

#### 【4年度計画】

開館日に1日3回の公園案内を実施します。

外国人対応として英会話ボランティア育成講座を開催し、受講生による英語での公園案内を実施します。

#### 【3年度実績】

入場者数 5,215人

ク 山王草堂記念館（昭和63年4月20日開設・山王一丁目41番21号）

日本初の総合雑誌「国民之友」を発行した徳富蘇峰の旧宅の一部とゆかりの資料を保存・公開した記念館です。原稿や書簡など関係資料を展示しています。

「国民之友」：明治20（1887）年創刊の日本で最初の総合雑誌

#### 【4年度計画】

- ・月1回ギャラリートークを実施します。
- ・散策会「馬込文士の足跡をたずねて」を2回実施します。
- ・記念館講座を実施します。（12月から3月の間で1回）
- ・施設や展示内容等についてSNSで配信します。
- ・徳富蘇峰に関する写真パネルを作成します。

#### 【3年度実績】

- ・入館者数10,028人（大人8,187人、小人1,041人、団体800人）
- ・4月、6月から7月、9月から3月にギャラリートークを月1回実施しました。参加者122人  
※新型コロナ感染拡大防止のため、4月26日から5月31日まで臨時休館
- ・「馬込文士の足跡をたずねて」で、散策会を2回実施しました。  
11月14日 参加者20人、3月20日 参加者数20人
- ・地域連携事業として、散策会を1回実施しました。3月26日 参加者14人
- ・記念館講座を実施しました。12月11日 参加者数50人
- ・徳富蘇峰に関するパネルを作成しました。

ケ 尾崎士郎記念館（平成20年5月1日開設・山王一丁目36番26号）

尾崎士郎は「人生劇場」などの作品で知られる作家であり、馬込文士村の中心的人物でした。本記念館は、晩年の約10年を過ごした旧宅跡に書斎を復元して開館し、エネルギッシュな執筆活動を感じる資料を建物の外から観覧する形で展示しています。

「人生劇場」：昭和8（1933）年に都新聞で連載し、昭和10（1935）年に刊行した小説

#### 【4年度計画】

- ・月1回ギャラリートークを実施します。
- ・記念館講座を実施します。（12月から3月の間で1回）
- ・施設や展示内容等についてSNSで配信します。

- ・尾崎士郎に関する写真パネルを作成します。

#### 【3年度実績】

- ・4月、6から7月、9月から3月にギャラリートークを月1回実施しました。参加者122人  
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月26日から5月31日まで臨時休館
- ・記念館講座を実施しました。1月22日 参加者35人
- ・尾崎士郎に関する年表パネルを更新しました。

## 6 OTAふれあいフェスタ

平成2年度 「OTA90 夢博」として開催

平成4年度 現在の名称に変更

4年度予算額 47,459 千円 （3年度予算額 48,000 千円）

人と人の輪を育むことを目的とし、区民が集い、楽しみ、ふれあえる機会を創り出し、区民の連帯意識を醸成するため開催しています。

#### 【4年度計画】

11月5日、6日 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容変更や中止となる場合があります。

#### 【3年度実績】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

代替事業として第2回OTAふれあい動画コンテストを実施しました。

- ・成果：「笑顔」をテーマにした動画コンテストでは、前回は上回る110件の作品応募があり、コロナ禍であっても「ふれあい」や「絆」の大切さを再認識する機会を創ることができました。



OTAふれあいフェスタ

## 7 地域間交流事業

平成8年度 長野県東御市（当時は東部町）と友好都市締結

平成17年度 秋田県美郷町と友好都市締結

平成28年度 宮城県東松島市と友好都市締結

4年度予算額 1,188 千円 （3年度予算額 1,340 千円）

友好都市提携を結ぶ長野県東御市、秋田県美郷町及び宮城県東松島市とパネル展やイベントを通して、区民が3友好都市を知ってもらうことを目的とし、大田区と3友好都市との交流を促進します。

#### （1）各友好都市事業への参加

##### 【4年度計画】

長野県東御市：巨峰の王国まつり 9月23日、24日

秋田県美郷町：六郷のカマクラ 2月15日

宮城県東松島市：夏まつり 8月27日

【3年度実績】

長野県東御市：巨峰の王国まつり 9月1日から10月17日 ※区の参加は見送り  
秋田県美郷町：六郷のカマクラ 2月15日 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止  
宮城県東松島市：夏まつり 8月28日 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止

(2) 友好都市パネル展

テーマを決め、友好都市をパネル、ポスター等で区民に紹介します。

【4年度計画】

内容	期間	会場
友好都市パネル展（3都市合同）	7月4日から11日	本庁舎3階中央 展示スペース
	1月中旬	未定

・沿革：平成18年度 長野県東御市と秋田県美郷町が開催  
平成29年度 宮城県東松島市の参加

【3年度実績】

友好都市パネル展（3都市合同） 7月1日から7日、1月24日から28日

(3) 友好都市ふれあいひろば

友好都市の魅力を特産品等の販売を通して広く区民に紹介することで交流の発展を図ります。

【4年度計画】10月15日、16日

・沿革：平成20年度 長野県東御市、  
秋田県美郷町が開催  
平成29年度 宮城県東松島市が初参加



友好都市ふれあいひろば  
(蒲田駅西口駅前広場)

【3年度実績】新型コロナ感染拡大防止のため中止

## 8 文化祭

平成27年度 社会教育課から国際都市・多文化共生推進課文化担当へ移管  
平成28年度 国際都市・多文化共生推進課文化担当から文化振興課へ移管  
4年度予算額2,094千円（3年度予算額2,123千円）

区民による文化・芸術活動の発表・鑑賞・交流の機会を設け、文化・芸術活動と地域文化の振興を図ります。

【4年度計画】 12部門(委託11団体)

開催日		事業名	開催場所
8月	5日から7日	書道展	大田区民プラザ
10月	7日から9日	絵画・写真展	池上会館
	8日、9日	動画上映の集い	池上会館
	23日	詩吟剣詩舞大会	大田文化の森
	30日	郷土芸能大会	大田区民プラザ
11月	3日	短歌大会	池上会館
	6日	こと・尺八の集い	大田文化の森
	19日	芸術フェスティバル	大田区民プラザ
	19日、20日	華道展	大田区民プラザ
	20日	吹奏楽祭	大田区民プラザ
2月	23日	洋舞サークルフェスティバル	大田区民プラザ

※合唱祭は、新型コロナ感染拡大防止のため中止

【3年度実績】 12部門で開催(うち委託11団体) 出場者数 1,119人 来場者数延べ3,032人

開催日		事業名	開催場所	上段：出場者数 下段：来場者数
10月	17日	こと・尺八の集い	大田文化の森	123人 130人
	23日	芸術フェスティバル	大田区民プラザ	89人 284人
	24日	詩吟剣詩舞大会	大田文化の森	88人 120人
	30日、31日	書道展	大田区民プラザ	157人 637人
	31日	郷土芸能大会	大田区民プラザ	141人 200人
11月	3日	短歌大会	池上会館	48人 53人
	6日、7日	華道展	大田区民プラザ	70人 407人
	20日	洋舞サークルフェスティバル	大田区民ホール ・アプリコ	207人 450人
	21日	吹奏楽祭	大田区民ホール ・アプリコ	147人 202人
	26日から28日	絵画・写真展	池上会館	49人 549人

※合唱祭、動画上映の集いは新型コロナ感染拡大防止のため中止

成 果：開催にあたっては新型コロナ感染予防策を講じ、コロナ禍でも区民による文化活動の活性化を図ることができました。

## 9 郷土博物館の管理運営

昭和 54 年 11 月 3 日 開館

4 年度予算額 74,853 千円 (3 年度予算額 71,264 千円)

郷土博物館 (南馬込五丁目 11 番 13 号)

大田区の歴史、文化、産業を中心とした貴重な資料等を適切に保管・展示するため、施設の維持管理を行うとともに、博物館事業を円滑に進めるための環境を整えます。

### 【4 年度計画】

資料燻蒸及び館内消毒：6 月 13 日から 17 日

沿 革：昭和 54 年 11 月 3 日に開館後、平成 21 年 11 月 3 日の開館 30 周年を機に常設展示をリニューアルし、馬込文士村コーナーを拡大しました。さらに、令和 3 年 4 月 1 日には、エレベーター改修工事等の大規模な設備更新と、非接触型の情報検索システムの導入など常設展示の大幅なリニューアルを行いました。

### 【3 年度実績】

※新型コロナ感染拡大防止のため、以下の施設を休館

・馬込文士村資料展示室：4 月 26 日から 5 月 31 日

・郷土博物館：4 月 26 日から 5 月 31 日

資料燻蒸及び館内消毒 6 月 24 日から 28 日

## 10 郷土博物館の事業

4 年度予算額 17,424 千円 (3 年度予算額 16,048 千円)

大田区に関連する人文科学系の資料を中心に収集・整理・保存し、調査・研究に努め、区民の文化及び学術の発展に寄与するため、常設展示の充実に努めています。また、特別展を開催するほか、体験学習会等の事業を実施することで様々な関連情報を発信しています。

### (1) 常設展

館内には、考古・歴史・民俗関係資料 58,667 点 (令和 4 年 3 月末現在) を収蔵し、これらの資料を基礎とした研究の成果を常設展示しています。令和 3 年 4 月のリニューアルに合わせ、常設展の内容を大幅に更新しました。

その中で、特集展示は常設展に関わるテーマについて、より詳しく特集した展示です。2 つのケースを基本とした小規模な展示ですが、年に数回内容を替えることで、資料の活用を強化しています。

- ア 1階ロビー「特集展示」  
考古・歴史・民俗・文化財の最新調査・研究成果を随時展示し、紹介しています。
- イ 1階ロビー「姉妹都市（姉妹館）・友好都市」  
大田区の姉妹都市（姉妹館）や友好都市などについて、パネルで紹介しています。
- ウ 情報検索システム「おおた歴史探検ガイド」  
非接触型の情報検索システムを導入しました。大田区の歴史を地域別（①嶺町・田園調布・鶴の木、②馬込・千束、③入新井・新井宿、④矢口、⑤池上・久が原・雪谷、⑥大森東・大森西、⑦六郷・蒲田東・蒲田西、⑧糇谷・羽田）に学べる機器です。
- エ 2階展示室「地中に刻まれた歴史」  
大田区内の旧石器時代から中世の主要な遺跡を時代順に紹介し、寄贈資料や発掘調査等で出土した土器、石器、骨角器、金属器、木器、埴輪等の遺物ほか、竪穴住居や古墳の模型等も展示しています。
- オ 2階展示室「農漁村の風景」  
江戸時代に水田灌漑用に掘りめぐらされた六郷用水の主要水路網を描き入れた床地図と関連資料や、台地を擁する村々で行われた畑作農業に関する資料、大森の名産であった大森麦わら細工、東京湾内がかつて盛んであった漁業に関する道具等を展示し、大田区域内の農漁村とそこに生きた人々の暮らしについて紹介しています。
- カ 3階展示室「馬込文士村」  
馬込地区を中心に大正末期から昭和初期にかけて、多くの小説家・詩人・画家たちが住み、後に「馬込文士村」と呼ばれるようになりました。その文士たちの作品や自筆原稿、遺品、当時の馬込の地形模型、小林古径邸の復元模型等を展示しています。また、川瀬巴水の作品をはじめとする「新版画」の展示コーナーを設けています。
- キ 3階展示室「近代化とまち」  
近代市街地化の歴史について、まちづくりに関する資料や蒲田撮影所の模型、大田区の工業を支えてきた町工場の資料等を展示しています。また、昭和22年に誕生した大田区の歩みを写真パネルで紹介しています。
- ク 3階「特集展示」  
企画展・写真展等に関わる最新調査や研究成果を随時展示し、紹介しています。

#### 【4年度計画】

1・3階の特集展示コーナーでは、考古、歴史、民俗、文化財、自然、特別展・企画展・写真展等に関わるテーマに沿って、定期的に展示替えを行い、所蔵資料やパネルを展示します。

##### 1階

- ア 「羽田の富士講」（4月19日から7月24日）
- イ 「特別展関連展示 田園調布の古墳たち」（8月2日から10月16日）
- ウ 「文化財写真パネル展」（10月25日から12月25日）
- エ 「幻の下沼部汐見台横穴墓群－西岡秀雄寄贈資料から－」（1月7日から3月末日（予定））

### 3階

- ア 「おおたの風物詩－春の行楽－」（4月26日から6月26日）
- イ 「おおたの風物詩－夏の涼み－」（6月28日から8月28日）
- ウ 「おおたの風物詩－秋の楽しみ－」（8月30日から10月30日）
- エ 「おおたの風物詩－冬の装い－」（11月1日から12月25日）
- オ 「企画展「花咲く おおたの園芸史」関連展示」（1月7日から3月5日）

### 【3年度実績】

- ・開館日数：253日（1日平均88人）
- ・入館者数：22,357人（大人20,411人、子供1,946人）  
（一般：60団体828人、学校：14校639人）

常設展示のリニューアルにあわせ、4期にわたってスタンプラリーを開催しました。

2階の常設展示室の「地中に刻まれた歴史」コーナーでは、入口の小ケースの資料を2回、展示室内は博物館講座や資料貸し出しに伴い、弥生時代のケースの一部の資料を展示替えしました。

また、「農漁村の風景」のうち、「村の姿と暮らし」や「大田の物産」のコーナーも一部の資料を展示替えしました。3階の常設展示室の「馬込文士村」コーナーは、一部の文士の資料を展示更新しました。

また、新版画を紹介するコーナーでは、毎月川瀬巴水、高橋松亭、伊東深水の作品を展示替えしています。このほか、「近代化とまち」コーナーの一部をNHK大河ドラマ「青天を衝け」の放送にあわせて「渋沢栄一、街づくりの夢」にコーナー替えし、「町工場」「大田区のあゆみ」のコーナーの出品資料も一部展示替えしました。

### 1階の特集展示コーナー

- ア 「郷土博物館40年のあゆみ－展示を中心として－」（4月1日から7月11日）
- イ 「特別展関連展示 入新井・馬込時代の川瀬巴水」（7月17日から8月15日）
- ウ 「特別展関連展示 川瀬巴水と塩原」（8月19日から9月20日）
- エ 「文化財写真パネル展」（9月28日から12月26日）
- オ 「企画展関連展示 トイレ博士 西岡秀雄の好奇心」（1月8日から3月6日）
- カ 「初代館長・西岡秀雄の愛したコレクション－集めに集めた90年－」（3月12日から4月17日）

### 3階の特集展示コーナー

- ア 「大田の地形と自然」（4月1日から6月30日）
- イ 「身近な昆虫」（7月1日から10月17日）
- ウ 「写真展関連展示 横山家と羽田の近現代」（10月23日から12月26日）
- エ 「戦後の西岡秀雄」（1月8日から3月6日）
- オ 「西岡秀雄の青春と考古学」（3月12日から4月24日）



1階特集展示「郷土博物館 40年のあゆみ  
—展示を中心として—」展示風景



3階特集展示「身近な昆虫」  
展示風景

## (2) 特別展・企画展

特別展と企画展では、大田区に関わるテーマについて網羅的かつ深く掘り下げた展示を行っています。常設展示室の一部を大きく変更して行います。特別展は所蔵資料だけでなく、館外から借用するなど、大規模な展示を行います。また、企画展は館蔵資料を中心に、充実した展示を行います。

このような期間限定の展示を開催することで、郷土博物館に足を運んでいただき、大田区の様々な歴史について、区民の方に郷土の魅力を再発見していただくような展示を目指しています。

### 【4年度計画】

ア 特別展：「大勾玉展—宝萊山古墳、東京都史跡指定 70 周年—」

・開催期間：8月2日から10月16日

・概要：東京都の史跡指定 70 周年を迎える大田区宝萊山古墳では、古墳時代前期のヒスイ勾玉が出土しています。勾玉は三種の神器の一つとされ、古来より珍重されてきました。その歴史は古く、縄文時代に出現し、古墳時代に盛んに作られています。本展では、大田区で出土した勾玉のルーツに迫るため、最新の研究動向を紹介しながら全国各地の遺跡の勾玉を集めてその変化や特徴を捉え直すとともに、勾玉の不思議な魅力を感じていただく機会とします。

・催事：「展示解説」3回、「勾玉づくり（小人・大人）」各2回、「赤ちゃんと一緒に博物館へ」1回、「古墳巡りツアー（大人）」1回実施

イ 企画展：「花咲く おおたの園芸史」

・開催期間：1月7日から3月5日

・概要：大田区の花弁（観賞用の植物）生産の歴史は、江戸時代に北蒲田村で生産されていた夏菊から始まります。都市化とともに農地が減少していくなか、田園調布の温室村で栽培されたカーネーションや、馬込のシクラメン栽培など、新しい品種や栽培法を取り入れ、時代の流れの中で需要に合わせて花卉栽培は連綿と続いてきました。本展では、花卉生産を中心としてムラからマチへと変化してきた大田区域の園芸史を読み解きます。

・催事：「展示解説」2回、「赤ちゃんと一緒に博物館へ」1回実施

### 【3年度実績】

ア 特別展：「川瀬巴水—版画で旅する日本の風景—」

- ・開催期間：7月17日から9月20日
- ・入館者数：延べ11,626人
- ・成果：川瀬巴水（1883-1957）は、日本全国を歩き懐かしくも美しい風景を版画作品として600点以上を制作しました。本展示会では当館所蔵の作品を主として前後期に分けて約400点紹介。前期は巴水の故郷でもある「東京の風景」、後期は旅を愛した巴水が歩いた「旅先の風景」を展示しました。あわせて写生帖（スケッチ帖）や肉筆画、日記、書簡、愛用品を紹介し、版画制作の過程や等身大の川瀬巴水にふれていただく機会としました。また、展示会に先行してプレ展示を6月12日から7月11日まで行い、会期中延べ1,275人が来館されました。  
 なお、会期中に予定されていた講演会、展示解説、巴水講座などの催事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て中止となりました。



「川瀬巴水—版画で旅する日本の風景—」前期展示風景



「川瀬巴水—版画で旅する日本の風景—」後期展示風景

イ 写真展：「せんべい屋店主、大田を撮る！」

- ・開催期間：10月23日から12月26日
- ・入館者数：延べ3,625人
- ・成果：羽田に生まれ育った写真家の横山宗一郎（1920-1995）が撮影した写真のデジタル化を行い、その成果は展示をとおして還元できました。同時期に特集展示「横山家と羽田の近現代」を開催し、横山宗一郎の人となりや同氏が暮らした羽田への理解を深めることができました。また、会期後には羽田特別出張所で出張展示「せんべい屋店主、羽田を撮る！」（2月1日から28日）を行い、他所との連携を図ることができました。



「せんべい屋店主、大田を撮る！」展示風景

ウ 企画展：「田園調布の遺跡発見！～初代館長、西岡秀雄の足跡～」

・開催期間：1月8日から3月6日

・入館者数：延べ2,607人

・成 果：郷土博物館の初代館長を務めた考古学者・地理学者、西岡秀雄（1913～2011）の没後10年を機に、西岡が青年時代、田園調布周辺の遺跡を調査し、研究者へと成長していく過程を紹介しました。会期中には外部から講師をお招きし、講演会を2回実施しました。また展示に先立ち西岡寄贈資料の調査を進め、西岡の生涯や区内の考古資料などに関する新知見も見られました。



「田園調布の遺跡発見！」展示風景

### （3）博物館講座・体験学習会・ミュージアムトーク・見学会

大田区の考古、歴史、民俗について学び、より理解を深めるため体験学習会等を開催します。

#### 【4年度計画】

##### ア 博物館講座

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
6月5日	新版画と川瀬巴水	西山純子氏（千葉市美術館上席学芸員）による新版画の成り立ちと川瀬巴水の作品に関する講演	1回 30人
11月13日	池上本門寺の歴史的 石造物	本間 岳人氏（立正大学文学部史学科講師）による池上本門寺の石造物に関する講演、案内	1回 30人

イ 夏休み体験学習会

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
8月4日	大森麦わら張り細工	染色した「麦わら」を木箱に張って、オリジナルのデザインによる麦わら張り細工の額絵を作製	1回 20人
8月17日	麦わらのホタルカゴづくり	麦わらを使ってホタルカゴを作り、昔の郷土の産業と夏の遊びを学ぶ	1回 20人
8月18日	六郷とんび凧づくり	「六郷とんび凧」の歴史を学び、製作体験をします。[六郷とんび凧の会協力]	1回 10組
8月19日	麦わらのガラガラ鳴るおもちゃづくり	麦わらを使って昔の子どものおもちゃを作製	1回 20人
8月20日	古墳めぐりツアー	多摩川台公園内の古墳や展示室を見学し、クイズを解いて古墳について学ぶ	1回 10組
8月24日 25日	勾玉づくり	滑石を加工して、自分だけの勾玉を作製	3回(25日は午前・午後開催) 各回15人
8月26日	大森麦わら張り細工	染色した「麦わら」を木箱に張って、オリジナルのデザインによる麦わら張り細工の額絵を作製	1回 20人

ウ 体験講座

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
10月29日 11月5日 11月19日	縄文土器づくり(3回連続)	古代の土器作りを復元した方法で、縄文土器づくりを体験	1回 16人
5月15日	大森麦わら象嵌細工	大森麦わら細工の歴史を学び、象嵌細工の初歩を体験	1回 10人
10月30日	大森麦わら編み細工	大森麦わら細工の歴史を学び、伝統の編み細工を体験	1回 10人
12月4日	麦わらのクリスマスリースづくり	麦わらを使ったクリスマスリースづくり	2回 20人

エ ミュージアムトーク

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数
6月25日	寄贈資料から見る羽田の富士講	羽田の富士講である木花講からの寄贈資料を中心に学芸員が解説	1回 30人
2月25日	幻の下沼部汐見台横穴墓群	1930年代に調査された、下沼部汐見台横穴墓群について学芸員が解説	1回 30人

【3年度実績】

ア 博物館講座

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
6月20日	弥生時代の貝塚	吉永亜紀子氏（総合研究大学院大学客員研究員）による大田区熊野神社貝塚の貝製品を中心に弥生時代の貝塚に関する講演のほか、貝輪作りワークショップや資料の展示見学などを実施	1回 30人 27人
7月3日	大森巖正寺と水止舞	神田より子氏（敬和学園大学名誉教授）による大森巖正寺と水止舞に関する講演	1回 30人 29人

イ 夏休み体験学習会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の予定は中止となりました。

7月29日・30日 勾玉づくり

8月24日 麦わら遊び「麦わらのガラガラ鳴るおもちゃづくり」

8月25日 麦わら遊び「大森麦わら張り細工」

8月26日 麦わら遊び「麦わらのホタルカゴづくり」

8月27日 六郷のとんび凧づくり

#### ウ 体験学習会

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
10月17日	大森麦わら象嵌細工	大森麦わら細工の歴史を学び、象嵌細工の初歩を体験	1回 10人 9人
12月5日	麦わらのクリスマスリースづくり	麦わらを使い、クリスマスリースを作る	2回 20人 18人

新型コロナ感染拡大防止のため、以下の体験学習会は中止となりました。

5月9日、5月16日、5月30日 縄文土器づくり（3回連続学習会）※3回ワンセット講座です。

10月3日 大森麦わら編み細工

#### エ ミュージアムトーク

開催日	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
6月12日	おおたモノ語り 地中に刻まれた歴史	学芸員が大田区内の遺跡に関わる新常設展の見どころや展示品について解説した。	1回 30人 10人
6月12日	おおたモノ語り 農漁村の風景	学芸員が大田区の農漁業の歴史を中心に、新常設展の見どころや展示品について解説した。	1回 30人 6人
11月7日	渋沢栄一、街づくりの夢	渋沢栄一の理想に支えられ開発が目指された田園都市（洗足・田園調布）のまちづくりについて、同名の常設展示コーナーに出品中の展示資料を中心として解説した。	1回 30人 21人
11月27日	写真が語る大田の人と街	担当学芸員が写真展の内容を中心に解説した。	1回 30人 27人

新型コロナ感染拡大防止のため、ミュージアム・トークは中止となりました。

5月29日 おおたモノ語り（前編）

成 果：学芸員が常設展示や特集展示の見どころを解説することで、地域の歴史に関する理解を深めていただく機会となりました。未公開資料の展示観覧に加え、最新の研究成果が聴講できるため好評を得ており、リピーターの獲得にも寄与しました。

#### （4）出張事業

学芸員が要望に応じて館外に出張し、現地見学会や体験学習会、講演会、展示等を実施しました。その他新型コロナ感染拡大防止のため、小学校へ出張授業を実施しました。

#### 【4年度計画】

区内小中学校をはじめ関係機関からの依頼に対し協力します。

#### 【3年度実績】

- ・対 象：小学校・中学校、区内施設等の関係機関
- ・実 績：19回、参加者延べ1,369人
- ・内 訳：講演会8回250人、出張授業6回727人、体験学習会3回354人、遺跡見学会1回38人  
出張展示2回

月 日	出張事業名	会 場	参加人数	区分
8月21日	教養講座「渋沢栄一—渋沢栄一と徳川慶喜—」	洗足区民センター	36人	講演会
9月11日	教養講座「渋沢栄一—渋沢栄一、街づくりの夢—」	洗足区民センター	31人	講演会
11月5日	総合的な学習の時間「大森麦わら細工」	馬込小学校	118人	体験学習会
11月26日	総合的な学習の時間「大森麦わら細工の話 麦わら張り細工の体験」	小池小学校	137人	体験学習会
12月1日	「たんけん！馬込」発表会事前報告会	馬込小学校	124人	出張授業
12月9日	総合的な学習の時間「大森麦わら細工」	大森第一小学校	99人	体験学習会
12月11日	教養講座「渋沢栄一—渋沢栄一と徳川慶喜—」	洗足区民センター	34人	講演会
12月18日	教養講座「渋沢栄一—渋沢栄一、街づくりの夢—」	洗足区民センター	32人	講演会
1月16日	総第14回田園調布グリーンフェスタ 「せせらぎ歴史セミナー 渋沢栄一が夢見た街 田園調布～なりたち・いま・これから～」	田園調布せせらぎ館	52人	講演会
1月22日	せせらぎ歴史セミナー「村から町へ 田園調布地区100年の街づくり～渋沢栄一・秀雄 親子二代 街づくりの夢～」	田園調布せせらぎ館	17人	講演会
2月1日から28日	出張展示「せんべい屋店主、羽田を撮る！」	羽田特別出張所		展示

2月2日	3年社会科「大田区のうつりかわり (土地利用)」	入新井第四小 学校	70人	出張授業
2月17日	3年社会科「大田区のうつりかわり」	池上小学校	103人	出張授業
2月18日	3年社会科「大田区のうつりかわり」	池雪小学校	155人	出張授業
2月22日から 3月28日	出張所展示「六郷川と暮らす町 六 郷」	六郷特別出張 所		展示
2月24日	3年社会科「大田区のうつりかわり (くらしの変化)」	入新井第四小 学校	70人	出張授業
2月25日	3年社会科「大田区のうつりかわり」	小池小学校	137人	出張授業
3月3日	3年社会科「大田区のうつりかわり」	馬込第二小学 校	68人	出張授業
3月12日	馬込文士村教養講座「子母澤寛生誕 130年記念講演」	馬込図書館	25人	講演会
3月19日	教養講座「川瀬巴水の人生とその作品 ～大田区での日常と旅～」	洗足区民セン ター	23人	講演会
3月21日	おおたの生き物はっけん隊 古墳って なんだろう	多摩川台公園 古墳展示室、 多摩川台公園	38人	遺跡 見学会

成 果：館外活動を通じて、博物館が蓄積してきた資源や学芸員が有する専門的知識を参加者に提供し、博物館を周知することができました。体験学習は貴重な実物資料に触れる機会として学習意欲を高める効果をもたらしました。

#### (5) 学校見学

小学校による郷土博物館への団体見学では、社会科見学・総合学習の一環として、学習内容に合わせて展示を説明します。また、職場体験やインタビューを希望する中学生、大学生による館内見学を受け入れます。

#### 【4年度計画】

区内小・中学校・大学等からの依頼に対し、学校同士のスケジュールを調整して協力します。

#### 【3年度実績】

- ・対 象：区内小学校・中学校・大学
- ・実 績：小学校団体利用 8校、計508人  
中学校職場体験 4校、計25人  
大学団体見学 1校、計5人

- ・成 果：身近な地域や大田区に関する学びの場と機会を提供することで学校の地域学習と総合教育に貢献しました。

## (6) 所蔵資料の活用

### 【4年度計画】

ア 特別展図録「大勾玉」制作、販売	1,000部
イ 川瀬巴水壁掛カレンダー制作、販売	500部

### 【3年度実績】

ア 大田区立郷土博物館紀要第24号	600部
イ 六郷用水 増刷	1,000部
ウ 馬込文士村ガイドブック 増刷	5,000部
エ 川瀬巴水壁掛カレンダー作成、販売	700部
オ 川瀬巴水絵葉書「内陸の風景編」増刷、販売	1,000部
カ 川瀬巴水絵葉書「日本の風景編」増刷、販売	1,000部
キ 川瀬巴水クリアファイル「馬込の月」(A4) 増刷	1,000部
ク 川瀬巴水クリアファイル「池上本門寺」(A4)	1,000部
ケ 川瀬巴水クリアファイル「馬込の月」／「芝増上寺」	1,000部
コ 川瀬巴水ポチ袋	1,000部

## 11 大森 海苔のふるさと館の運営

平成20年1月創立

4年度予算額 62,384千円 (3年度予算額 58,998千円)

大森 海苔のふるさと館 (平成20年4月6日開館・平和の森公園二丁目2番2号)

「大森 海苔のふるさと館」は、大田区沿岸の海苔づくりの歴史を伝える施設として、平成20年4月6日に開館しました。「大森およびその周辺地域の海苔生産用具」の名称で、国の重要有形民俗文化財に指定された881点をはじめとする海苔資料を保存・展示し、地域の人々と協働して海苔にかかわる多彩な活動を行う博物館です。

また、隣接する「大森ふるさとの浜辺公園」の環境を理解するビジターセンターの役割も併せ持っています。

### 【3年度実績】

- ・開館日数：312日
- ・入館者数：63,009人 (大人 39,158人、子供 23,851人)  
(一般:74団体1,142人、学校:80校5,889人)

#### (1) 催しもの(体験学習会等)

【4年度計画】※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を制限しました。

	名 称	内 容	回数 募集人数
1	海苔つけ体験	かつての大森の海苔づくりの方法で、乾し海苔作りを体験	6回 各回20人
2	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	かつての大森伝統の海苔づくりを学び、乾海苔づくりを体験	6回 各回20人
3	海苔でお絵描き 「海藻おしばづくり」	海苔や身近な海藻を使って、自由に絵や文字を描いた海藻おしばを制作	2回/日 各回20人
4	緑のカーテンを編もう	海苔漁師の網づくりの技術を活用して、緑のカーテン(ネット)を編む	2回/日 各回6人
5	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集と観察をし、海の生き物の生態や環境を学ぶ	2回 各回10人
6	あみあみペットボトルホルダーづくり	海苔漁師の網づくりの技術を活用して、ペットボトルホルダーを制作	1回 6人
7	貝がら工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、貝の水族館を制作	2回/日 各回15人
8	自然素材でフォトフレームづくり	自然素材のヨシで海苔簀を編み、貝などで飾り付けたフォトフレームを作る	1回 10人
9	タペストリーをつくろう	海苔漁師が海で使用した結びの手法でタペストリー(壁掛け)を制作	1回 10人
10	自由研究で海苔を調べよう	海苔の説明を聞いたり、記録映像を見たりして、昔の海苔の作り方や歴史を学ぶ	1回 10人
11	フジツボを観察しよう	仕掛けに付いた赤ちゃんフジツボを観察したり、フジツボが好きな環境を調べる	1回 10人
12	海苔簀づくり	自然素材のヨシで、乾し海苔に使う海苔簀を編む	2回 各回10人
13	浅草海苔のふるさと大森を歩く	浅草海苔の一大生産地だった痕跡を探し、大森東地域の史跡や寺社などを巡る	1回 15人
14	海苔の船づくりを知る講座	解説や記録映像などをおして海苔の船づくりについて学ぶ	1回 30人

【3年度実績】※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月26日から5月31日まで休館

	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
1	大森の伝統を学ぶ海苔つけ体験	かつての大森伝統の海苔づくりを学び、乾海苔づくりを体験 ※4月3日は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	10回 各回10人 延べ94人

	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
2	緑のカーテンを編もう	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、緑のカーテン（ネット）を編む ※新型コロナ感染拡大防止のため中止。動画配信で対応	1回 6人 7人
3	海藻おしばづくり	海苔や身近な海藻を使って、海藻おしば作りを体験 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止。動画配信で対応	2回/日 各回16人 延べ31人
4	あみあみペットボトルホルダーづくり	海苔漁師の網づくりの技術を応用して、ペットボトルホルダーを制作 ※新型コロナ感染拡大防止のため中止。動画配信で対応	1回 6人 6人
5	浜辺の生き物探検隊	浜辺の生き物の採集と観察をし、海の生き物の生態や環境を学ぶ	2回 各回8人 延べ12人
6	貝がら工作	紙箱に貝殻を貼り付けて、貝の水族館を制作	2回/日 各回10人 延べ19人
7	自然素材でフォトフレームづくり	自然素材のヨシで海苔簀を編み、貝などで飾り付けしたフォトフレームを制作	1回 8人 6人
8	タペストリーをつくろう	海苔漁師が海で使用した結びの手法でタペストリー（壁掛け）を制作	1回 8人 7人
9	ペーパークラフトで海苔とり舟をつくろう	ペーパークラフトでベカブネを制作	1回 8人 4人
10	自由研究で海苔を調べよう	海苔の説明を聞いたり、記録映像を見たりして、昔の海苔の作り方や歴史を学ぶ	1回 8人 6人
11	フジツボを観察しよう	仕掛けに付いた赤ちゃんフジツボを観察したり、フジツボが好きな環境を調べる	1回 8人 5人
12	海苔簀づくり	自然素材のヨシで、乾し海苔に使う海苔簀を編む	2回 各回10人 延べ15人
13	浅草海苔のふるさと大森を歩く～海苔の史跡めぐり～	浅草海苔の一大生産地だった痕跡を探し、大森東地域の史跡や寺社などを巡る	1回 10人 10人

	名 称	内 容	回数 募集人数 参加人数
14	映像で知る海苔づくり いまむかし	かつての大森の海苔づくりや現在の生産地の海苔づくりなどの映像を上映	1回 20人 7人

・成 果：体験学習会は、4月後半から6月の間は、参加者に催し物の材料を送付し、参加者は当館が作成した YouTube を見ながら体験できる方法で実施しました。7月以降は参加者と職員双方の安全を確保できる条件、人数で実施しました。

実施にあたっては、参加者の連絡先、接触確認アプリ COCOA インストールの依頼、体調不良や発熱の場合の不参加のお願い、当日のマスクの着用と手指消毒、職員のマスクとフェイスシールドの着用、実施中の部屋の換気などの対策を講じました。例年行っている協力者（元海苔生産者）やはまどの会（ボランティア）の指導を実施しませんでした。



海苔つけ体験



海苔簀づくり

## （2）企画展

### 【4年度計画】

ア 写真家の卵がとらえた海苔と共に生きる大森の人々

- ・会 期：4月19日から8月14日
- ・概 要：写真家の日高勝彦氏が昭和33年から34年にかけて撮影した、大森の海苔養殖風景の写真を中心に展示します。

イ 新収蔵品展（仮）

- ・会 期：8月16日から11月20日
- ・概 要：平成30年度以降、新たに寄贈された資料の中から海苔に関する資料や大森に関する資料を展示します。

ウ 海苔養殖の一年の作業（仮）

- ・会 期：11月22日から4月16日
- ・概 要：木製写真パネルの中から、海苔養殖の一年の作業を展示します。

### 【3年度実績】

#### ア 海辺の風物を描く—大田区所蔵の資料から—

- ・会 期：4月20日から7月18日
- ・来場者：延べ8,063人
- ・概 要：大田区が所蔵する浮世絵や版画などの中から、海苔養殖を中心に大森とその周辺の海辺の風物を描いた作品を展示しました。また、海苔養殖以外にも大田区周辺の海沿いの魅力ある風景を描いた作品も紹介しました。

#### イ 写真展 東京オリンピックに沸いたあの頃の海辺

- ・会 期：7月20日から11月14日
- ・来場者：延べ24,409人
- ・概 要：先の東京オリンピックが開催した頃の大田区沿岸部の写真を通して、当時の海辺の風景や暮らしぶりを振り返りました。

#### ウ 海苔漁師の仕事着 前掛け編

- ・会 期：11月16日から4月17日
- ・来場者：延べ25,068人（令和4年3月31日現在）
- ・概 要：館蔵資料を中心に、海苔の仕事に欠かせない前掛けの役割などを紹介しました。

### （3）海苔の生育観察事業

海苔生産の技術の継承とかつて大田区の海辺で見られた海苔づくりの光景を再現して、地域の歴史や伝統を学ぶことを目的に、元生産者等の協力者とふるさと浜辺の浅瀬で実施します。

### 【4年度計画】

	日 程	名 称	内 容	回数
1	4月28日	ヒビ抜き・棒抜き	竹ヒビや支柱を撤去する。	1回
2	8月1日	アク抜き	竹ヒビに使用する竹を海に設置。	1回
3	9月8日	竹引き上げ・洗い	8月に海中に沈めた竹を引上げる。	1回
4	9月25日	ヒビごさえ	竹ヒビを作成する。	1回
5	10月8日	場割り	ヒビ建て・支柱建ての場所を決める。	1回
6	10月23日	ヒビ建て、棒立て	竹ヒビと支柱を海に設置する。	1回
7	12月中旬ごろ	網張り	海苔網を支柱にくくりつける。	1回
8	12月から4月	干出、展開、網上げ、防鳥ネット設置	網張り後、生長度合いを見ながら網を上げたり、防鳥ネットを取り付けたりする。	適宜
9	12月から3月	海水測定	海水温や塩分などを測定する	毎日
10	1月から2月中	竹切り	竹ヒビ用の竹を伐り出す。	1回

### 【3年度実績】

- ・活動日数：29日間 参加者数：延べ116人
- ・成 果：往年の技術の継承と景観の再現を目的にふるさと浜辺の浅瀬で実施しました。  
魚による食害を防ぐネットの設置や雨が少なかったことから、海苔が順調に生育し、2年続けて収穫することができました。

ボランティアの「はまどの会」の協力を得て、約 750 枚分の海苔が採れました。



ヒビ建て



海苔採り

#### (4) 出張事業

学芸員が要望に応じて館外に出張し、体験学習会、まち歩き、講演会等を行います。

##### 【4年度計画】

区内小学校をはじめ関係機関からの依頼に対し、協力します。

##### 【3年度実績】

- ・対 象：小学校・区組織等の関係機関・観光協会・法人など
- ・実 績：4回、参加者計 256 人
- ・内 訳：海苔つけ体験 2回 119 人、授業 2回 137 人
- ・成 果：職員が海苔つけの指導や海苔養殖の歴史について出張授業を行い、生徒たちの学びを深めることができました。

#### (5) 学校見学

大森 海苔のふるさと館への見学に際し、社会科見学・総合学習の一環として、学習内容に合わせて海苔の歴史や道具について展示説明します。

学年によっては「海苔つけ体験」の体験学習も実施します。

##### 【4年度計画】

区内小学校からの依頼に対し、学校同士のスケジュールの重複を調整して協力します。

##### 【3年度実績】

- ・対 象：区内各小学校 11 校（全て 3 年生）
- ・実 績：利用者数 660 人
- ・成 果：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員による説明を中止しました。

代わりに児童は来館前に事前学習のうえ、来館しました。当日は、児童数が 50 名以上の学校の場合には館内外で交代して入館しました。



小学校の団体見学



見学者への検温

## 12 勝海舟記念館の運営

令和元年9月7日 開館

4年度予算額 99,235 千円 （3年度予算額 94,826 千円）

勝海舟記念館は、国登録有形文化財である旧清明文庫の保存・活用および勝海舟の想いを伝える記念館として令和元年9月7日に開館しました。

令和3年度の来館者数は13,321人（開館日数266日、1日平均50人）で、令和4年4月に累計来館者5万人を達成し、同年4月10日に記念館でセレモニーを行いました。

令和5年の海舟生誕200年の節目に向け、引き続き記念館のPR及び来館促進に資する取組み、区内外での広報を進めていきます。

### 【4年度計画】

#### （1） 展示・運営の強化

開館3周年記念特別展及び年3回の企画展を開催します。また、新たなミュージアムグッズ開発などリピーター獲得に向けた取組みを強化します。

#### （2） 生誕200年イヤーに向けた取組み

令和5年の海舟生誕200年に向けて、令和3年度に実施したガバメントクラウドファンディングのご寄附を活用し「勝伯爵邸平面図」の修復など特別展の準備を進めるほか、生誕200年記念冊子作成に向けた準備等を進めます。

#### （3） 勝海舟基金への寄附促進

資料の購入、修復に充てる寄附を促進するため、資料修復の過程や実績を「勝海舟基金活用報告」として区ホームページで公開し、引き続きご寄附を呼びかけていきます。

## 【3年度実績】

### (1) 魅力ある展示

#### ア 企画展・特別展

- ・ 7月2日から9月12日（来館者数：2,151名）  
企画展「所用品から見る海舟の姿」
- ・ 9月17日から12月12日（来館者数：5,255名）  
特別展「交差する主従 慶喜×海舟」
- ・ 12月17日から3月13日（来館者数：2,678名）  
企画展「清明文庫～時をこえ受け継ぐもの～」
- ・ 3月18日から令和4年6月26日（来館者数：1,039名 ※3月31日時点）  
企画展「瓦解前夜 -有志たちが伝える海舟-」

#### イ 成果

来館者アンケートでは、展示について「大変満足・まあ満足」が87.7%、「やや不満・不満」が1.1%であり、約9割の来館者から好評を得ました。

### (2) デジタルコンテンツの充実・強化

年度当初の緊急事態宣言に伴う臨時休館及びコロナ禍で遠方にお住まいの方々のご来館が難しい状況が続く中、記念館事業を広くお知らせし、楽しんでいただけるよう、デジタルコンテンツの充実・強化に取り組みました。

#### ア ホームページの全面リニューアル

探したい情報が視覚的に見やすくなるよう「アイコン」を作成し、8月16日にホームページをリニューアルしました。

7月のトップページアクセス数は1,662件でしたが、8月は2,015件、9月は3,359件となり、リニューアルに伴いホームページのアクセス数が増えました。



リニューアル後のトップページ（一部）

#### イ 「学芸員の部屋」開設

ホームページのリニューアルに合わせ、終了した展示を学芸員が振り返る「コラム」を新たに始めました。

令和3年春の企画展「小吉 勝海舟を育んだ父」の関連コラムや、海舟墓所の揮毫に関する調査研究コラムなど、展覧した新出資料やパネルの解説について、展示終了後にさらに資料調査を進めたことでわかった成果や余録を掲載し、コロナ禍において来館できなくてもお楽しみいただけるよう、情報を発信しています。

#### ウ 開館2周年記念講演会の実施【オンライン配信】

「開館2周年記念講演会 NHK大河ドラマ『青天を衝け』時代考証の齊藤洋一氏が語る『同時代を生きた3人～徳川慶喜・勝海舟・渋沢栄一～』」を期間限定でオンライン配信しました。

視聴いただいた方や見逃してしまった方からのご要望が多く、令和3年秋の特別展の会期に合わせ期間限定で再配信しました。

- ・配信日：9月7日から30日  
再配信日 12月1日から12日
- ・媒体：YouTube 大田区チャンネル
- ・出演：齊藤洋一氏（戸定歴史館名誉館長）、堀口茉純氏（歴史タレント）
- ・成果：計36日間の限定公開で延べ99,662回再生され、全国の方に勝海舟の生涯や記念館のことを知っていただく機会になりました。

#### エ 記念館公式 Instagram の開設

開館2周年を記念して、9月から Instagram を開設しました。

展示の最新情報のほか、文化財である建物の意匠や洗足池公園の情報を、計87回発信しました（令和4年4月15日現在）。

- ・媒体：勝海舟記念館公式 Instagram
- ・成果：フォロワー数は116人（令和4年4月15日現在）となりました。

#### オ 記念館公式 Twitter での情報発信

展示の案内や資料紹介に加え、洗足池公園周辺の情報などを320回発信しました。

令和2年度と比較し、3倍近く投稿回数を増やしました。

- ・媒体：勝海舟記念館公式 Twitter
- ・成果：フォロワー数は2,071人（令和4年4月15日現在）となり、昨年の同時期と比べ、約24%増えました。

### (3) ミュージアムグッズの拡充

新たに勝茶、スクラッチアート、携帯用アルコールスプレーを追加しました。

勝茶は、海舟とゆかりのある静岡県牧之原産の緑茶をティーバッグに詰めた商品で、大田区立志茂田福祉センターとのコラボ商品です。スクラッチアートは、区内在住のアーティスト2名によるデザインで、記念館（国登録有形文化財「旧清明文庫」）の外観のほか、扉や壁面など内装の随所にあしらわれている意匠がモチーフになっています。携帯用アルコールスプレーは、来館者からのご要望に応え、初めて企画展「所用品から見る海舟の姿」と連動したグッズで、海舟の袴がモチーフになっています。数量限定のグッズとなっており、好評のうち完売しました。

- ・成果：合計30種のグッズを販売
- ・沿革：令和2年度27種のグッズを販売、令和3年度新たに3種を販売



勝茶



スクラッチアート



携帯用アルコールスプレー

#### (4) 広報の促進

##### ア 区及び関係媒体の活用

区報、区設掲示板、統合ポスター、区公式Twitter、デジタルサイネージ、シティナビゲーション、シティニュースにおいて、記念館事業のPRを行いました。

そのほか、ART bee HIVE（大田区文化振興協会）やライフアップ（特別区職員互助組合）など庁内外と広く連携した広報も行いました。

##### イ プレスリリースの積極的な活用

計11回のプレスリリースを効果的に発表し、多くのマスメディアに取り上げられました。

・成 果：新聞掲載 計5回、映像系 計3回、WEB 計1回

##### ウ 広報紙「海舟だより」第10～13号の発行

展示やグッズの紹介等、最新の情報をチラシに掲載し発行しました。

・実 施 日：特別展、企画展に合わせて発行

・配 架 先：区内施設（文化施設、特別出張所、文化センター、区民センター、小中学校、図書館）、全国の関係施設（98か所）、会議体等

・成 果：区民の方だけでなく、区外の方にも展示を知っていただくことにつながりました。

##### エ 区立小中学校への情報発信

ガイド及び補助教材を送付し、計8回（204名）の課外授業の受け入れにつなげました。

###### (ア) 記念館のガイド「勝海舟ってどんな人？」の送付

大田区に縁がある歴史人物「勝海舟」について小中学生に興味を持ってもらえるよう、イラストや資料の写真を多く取り入れたガイドを作成し、「歴史」の授業が始まる区立の小学6年生全児童に7月中旬配布しました。

###### (イ) 記念館の補助教材の送付

常設展、調査研究コーナー、令和3年冬の企画展のみどころ（補助教材）を作成し、教育委員会を通じて、大田区立小中学校教員（社会科担当）に配布しました。

##### オ WEB媒体の発信

###### (ア) YouTube 広告（2周年記念講演会）

・実施期間：9月18日から30日

・成 果：広告表示回数は172,274回、広告により動画が再生された回数は47,148回

###### (イ) Google（ディスプレイ）広告、Facebook・Instagram 広告（クラウドファンディング）

・実施期間：9月18日から12月29日

・成 果：広告表示回数は3,586,925回、勝海舟記念館ホームページにリンクした回数は23,782回

カ 成人のつどい運営委員会ホームページで記念館 PR

成人を迎える区民向けに、勝海舟の言葉と共に門出をお祝いするメッセージ入りの画像を作成し、成人のつどい運営委員会のホームページに掲載しました。

併せて、新成人を祝うパネルを来館者向けに掲出し、区公式 Twitter でもパネルの画像を掲載しました。

・掲 載 期 間：1月10日から23日

※区公式 Twitter は1月10日発信

キ 月刊「散歩の達人」で記念館とグッズの PR

月刊「散歩の達人」は、東京・神奈川・千葉・埼玉の1都3県を中心に約7万5千部発行されている雑誌です。開館2周年の時期に合わせ、記念館の広告とグッズの紹介を掲載しました。

・販 売 日：9月21日

・成 果：散策や施設巡りに興味のある読者に対して記念館の魅力を発信し、新たな層の獲得と来館促進に寄与しました。

(5) リピーター醸成のための取り組み

ア 来館記念スタンプ

区内在住のアーティストと国登録有形文化財の「旧清明文庫」をデザインした“記念館オリジナルスタンプ”を制作、専用の台紙も設置しました。

・実施開始：令和2年9月から

・成 果：課外授業で来館した子ども達に楽しんでもらっているほか、押印体験を自らの SNS で発信いただくなど、来館者の満足度向上に寄与しています。

イ 印章押印体験

勝海舟の印章コレクションの中から、体験用のレプリカを作成し、押印ができるコーナーを設置しました。企画展の会期ごとに印章を変え、リピーターの獲得に努めています。

・実施開始：令和2年秋から

ウ 「昭和初期の洗足池畔の面影を辿ろう」マップ

令和3年冬の企画展で展示した資料“勝家が昭和初期に所有していた洗足池畔の土地の青図”と連動して、昔の洗足池畔と現在との比較や周遊を促すマップを作成し掲出しています。

同時に、昔の洗足池畔の情報・写真の収集を呼びかけています。

・掲出開始：12月から

エ 「天神画賛」の塗り絵

令和3年夏の企画展で展示した資料“海舟の描いた墨絵「天神画賛」と連動して、海舟の墨絵を広く知ってもらうため、塗り絵を作成し配布しています。

記念館にお持ちいただいた塗り絵は、令和4年8月28日まで記念館無料スペースに掲示し、その後は Instagram で紹介します。

・実 施 日：7月から

## (6) 勝海舟基金及びガバメントクラウドファンディング

資料調査委員会での学識委員の評価を踏まえて、162点の資料を購入しました。

### ア 寄附受領

令和3年度に203件10,448,000円の寄附を受領。

平成30年8月からの累計1,009件、57,812,964円。

### ※ガバメントクラウドファンディング

海舟生誕200年となる令和5年に、海舟の業績を家族の視点から紐解く「家族展」を計画しています。展示する資料の修復や解説映像の制作の実現のため、「クラウドファンディング『家族展を実現させたい!』プロジェクト」を実施しました。

- ・募集期間 10月1日から12月31日
- ・寄附受領 63件5,973,000円（目標額3,000,000円に対し達成率199.1%）

### イ 積立て及び取り崩し

寄附累計57,812,964円のうち、2,826,501円を寄附金及び利子から基金への積み立てを行いました。

また、基金から7,120,012円を展示資料の購入及び修復経費に充当しました。

### ウ 歴代寄附者へ資料の購入・修復報告書の送付

勝海舟基金への寄附者に、購入資料の解説や修復した資料の写真等を盛り込んだ報告書を送付しました。

- ・実施月：9月
- ・成果：報告後、再度の寄附申出が84件ありました。

## (7) キャッシュレス決済の導入

10月1日から、勝海舟記念館入館料及びミュージアムショップグッズ代金について、電子マネーやクレジットカードが使用可能となりました。

## (8) 映像資料の字幕追加

1階「時の部屋」及び2階大型モニター映像展示の映像4作品について、日本語・英語字幕を追加し、社会的包摂の視点から環境整備を進めました。

## (9) 中学生職場体験の受け入れ実施

令和3年度から中学生の職場体験の受け入れを行い、参加した中学生は警備補助、窓口補助、ちらしの発送業務、学芸員事務（「こより」作りなど）を体験しました。

## 13 絵画等保管拠点の維持管理

令和2年度 事業開始

4年度予算額 3,285 千円（3年度予算額 5,800 千円）

区が所蔵する絵画等について、保管環境の改善を図っていくとともに、効果的な活用方法を検討していきます。

### 【4年度計画】

保管環境が整備された民間倉庫で区民寄贈絵画の維持管理を行います。

### 【3年度実績】

区が所蔵する区民寄贈絵画の一部を、温湿度管理機能が完備された民間倉庫に移動し、保管環境の向上を図りました。

また、文化関係団体等へのヒアリングなどを通じ、区民寄贈絵画等の活用方法等のあり方を検討しました。

### (3) 国際都市・多文化共生推進課

新型コロナウイルスの感染拡大による影響により減少ではあったものの、区内には人口の約3%、23,000人以上の外国人区民が生活しています。

区内にある学校や企業、商業施設等で活動する外国人も含め、これら異なる文化や価値観を持つ方々が互いを認め合いながら、地域住民と共生し、誰もが安心かつ快適に活躍していくことのできるまちづくりに向けて取り組んでいます。

令和4年4月には、「国際都市おおた宣言」に掲げる「観光」の魅力、「多文化共生」の大切さ、「産業」の力強さを推し進めていくための施設として、「おおた国際交流センター」（愛称：Minto Ota）を開設しました。

今後はこのMinto Otaを拠点として、多様な主体とのネットワーク構築を図っていくとともに、多言語に対応した区民相談や国際交流団体の活動サポート、多文化共生・国際交流事業の実施等、「国際都市おおた」をともに進めるパートナーである一般財団法人国際都市おおた協会と連携した取り組みを進め、事業のさらなる充実を図っていきます。

予算事務事業名	事業名	頁
文化国際費		
姉妹・友好都市等交流事業		
	1 中国北京市朝陽区等との交流の推進	96
	2 アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進	97
国際都市事業の推進		
	3 国際都市事業	98
(一財)国際都市おおた協会の運営		
	4 (一財)国際都市おおた協会の運営 (運営費補助・事業費補助・施設運営費)	103
国際交流事業		
	5 交流事業費(その他の海外都市との交流)	113
多文化共生推進事業		
	6 多文化共生のネットワークづくり	114

#### 1 中国北京市朝陽区等との交流の推進

平成10年9月 北京市朝陽区と友好交流・協力区関係合意書調印  
 平成21年10月 大連市と友好協力関係都市協定締結  
 4年度予算額2,786千円 (3年度予算額3,072千円)

大田区と朝陽区の交流は、昭和51年(1976年)に当時の区長が朝陽区を訪問し、友好交流をしたことをきっかけに始まりました。その後、両区長の相互訪問や青少年交流を積み重ね、日中平和友好条約締結20周年を迎えた平成10年(1998年)9月に友好都市となり、現在も活発な交流が続いています。

日中青少年友好訪問団は、両国の青少年が国際的視野を広めるとともに相互理解と友好を深めることを

目的として、平成12年から派遣10回、受入8回の交流を行いました。

大田区と大連市は、平成21年（2009年）10月に友好協力関係都市となり交流を行っています。

#### 【4年度計画】

##### （1）第9回朝陽区日中青少年友好訪問団受入

- ・日 程：未定
- ・内 容：表敬訪問、大田区内視察、学校交流など
- ・参加者数：12人（青少年10人、引率2人）
- ・沿 革：平成12年から実施

##### （2）大連市青少年代表団受入

- ・日 程：未定
- ・内 容：表敬訪問、区内小中学校との交流など
- ・参加者数：50人
- ・沿 革：平成22年から実施

#### 【3年度実績】

3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、青少年訪問団の派遣・受入れは中止となり、メールや文書で交流を行いました。

##### （1）大連市との産業・友好交流に関する意見交換

- ・実 施：令和3年6月8日（火）
- ・内 容：大連市決策諮問委員会会議の開催に際して、  
今後の産業・友好交流についての意見交換  
をメールで行いました。



##### （2）大連市外事弁公室70周年回顧展

- ・実 施：令和3年9月6日（月）
- ・内 容：大連市外事弁公室の70周年回顧展にて、大田区から送った区長のビデオメッセージや文章が紹介されました。



大連市外事弁公室70周年回顧展の様子

## 2 アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進

平成3年 セーラム市と姉妹都市提携宣言書調印  
4年度予算額1,339千円 （3年度予算額1,333千円）

明治10年に大森貝塚を発見したモース博士は、セーラム市にあるピーボディー科学アカデミー（現ピーボディー・エセックス博物館）の第3代館長でした。このことを縁に、昭和59年、大田区立郷土博物館とピーボディー博物館（現ピーボディー・エセックス博物館）が姉妹館提携をしました。それが発展して、平成3年、大田区とセーラム市は姉妹都市となり、交流を続けています。

姉妹都市セーラム市との交流を深めることを目的として、隔年で、公募した区民を派遣するとともに、セーラム市民訪問団の受け入れを支援しています。

4年度はセーラム市学生訪問団の受入を予定しています。

#### 【4年度計画】

##### 第12回セーラム市学生訪問団受入（予定）

- ・日 程：令和4年8月の約1週間
- ・内 容：区長・区議会表敬訪問、学校訪問、区民交流会、区内・都内見学、茶道・着付体験など
- ・参加者数：10人程度
- ・沿 革：平成9年度から実施

#### 【3年度実績】

##### （1）姉妹都市交流30周年記念品（イラスト）の制作

- ・実 施：令和3年10月
- ・内 容：「区のお土産100選」に選出されたイラストレーターに依頼し、両都市の名所を1枚に集めたオリジナル作品を制作しました。

セーラムに1枚を送付し、もう1枚は本庁舎2階の姉妹都市交流コーナーで展示しています。



記念イラスト

##### （2）姉妹都市交流30周年記念動画の制作

- ・実 施：令和3年10月
- ・内 容：区長・区議会議長のメッセージで始まり、両都市の概要、姉妹都市交流30周年の歩みを紹介しています。動画制作は区職員が行いました。

大田区公式YouTubeチャンネルで配信中です。



記念動画

##### （3）オンライン交流会

- ・実 施：令和3年11月18日（木）
- ・内 容：セーラム市関係者とのオンライン交流会を実施しました。記念イラストのお披露目や記念動画の視聴により、出席者同士が当時を振り返り和やかに懇談しました。



オンライン交流会

## 3 国際都市事業

平成23年度 事業開始

4年度予算額 1,019 千円 （3年度予算額 1,001 千円）

「国際都市おおた」の推進に向けて、区は、区民一人ひとりの力はもちろん、自治会・町会、団体、NPOなど様々な主体と連動した取組や国内外への情報発信を行います。併せて、区の各部局との調整・連携を

図り、全庁的な取組につなげていきます。

## 【4年度計画】

### (1) 国際都市連携調整会議

国際都市連携調整会議は、平成23年に「国際都市おおた」の実現を目的としてはじめて開催されました。現在は、平成31年3月に策定された『「国際都市おおた」多文化共生推進プラン2019-2023年度版』に掲げられた計画事業を着実に実施していくための全庁的な検討の場として、位置づけています。

・沿革：平成23年度から実施

### (2) 18色の国際都市事業の実施

国際都市・多文化共生推進課及び18特別出張所が地域団体等と連携し、各地域の独自性を生かした「国際都市おおた」を推進することを目的として、「18色の国際都市事業」を実施しています。

日本人区民も外国人区民もそれぞれが持つ多様な個性と能力を発揮し、地域社会を支える主体として認め合うことで、誰もが安心かつ快適に生活し、活躍することができるまちづくりを推進します。

・沿革：平成25年度から実施

### (3) 国際都市おおた大使（来～る大田区大使）

18歳以上の区内在住・在勤等、大田区にゆかりのある外国籍の方等を国際都市おおた大使として委嘱しています。

国際交流・多文化共生・観光・文化・スポーツ・産業・教育など様々な分野における大田区の魅力を、SNS等を通じて国内外へ発信します。また、大田区主催のイベント等にも参加いただき、国際交流や多文化共生を推進します。

・沿革：平成21年度に「観光大使」として始まり、平成27年度から「国際都市おおた大使（通称：来～る大田区大使）」に名称変更し活動実施

### (4) 「国際都市おおた」啓発活動

各国との国際交流や18色の国際都市事業などの各種イベント事業の中で、「国際都市おおた」を啓発していくPR用グッズを配布します。

・沿革：平成23年度から実施

## 【3年度実績】

### (1) 国際都市連携調整会議

・内容：「国際都市おおた」の現状について、令和2年度「国際都市おおた」多文化共生推進プラン（2019～2023）推進状況調査結果や、「国際都市おおた」推進に向けた現状と今後の取組などを報告し、意見交換を実施

・構成員：各部庶務担当課長

・開催日：令和3年11月12日（金）

・成果：大田区の外国人に関する各種データや、「国際都市おおた」多文化共生推進プランにおける各部局の取組状況について情報共有するとともに、情報発信に有効な言語である

「やさしい日本語」の活用について紹介し、職員研修への参加を呼びかけました。各部署の事業において、外国人が暮らしやすい社会に向けた取組を進めることを共通認識としました。

## (2) 18色の国際都市事業の実施

- ・内 容：各特別出張所が国際都市事業と位置付けたイベント等の実施
- ・実施回数：18回
- ・成 果：3年度は、新型コロナの影響等により、従前の事業実施が制限される状況でしたが、国際交流員による地域の魅力発信動画の作成や多言語での窓口案内等リーフレット作成、工夫をして実施しました。また、地域防災訓練や健康ポッチャ大会等への参加による外国人区民と地域住民との交流を行うことが出来ました。



【雪谷特別出張所】  
健康ポッチャ大会



【池上特別出張所】  
まち歩き動画

令和3年度「18色の国際都市事業」事業一覧		
出張所名	実施日時	事業名
大森東	自治会連合会合同防災訓練及び各学校防災活動拠点訓練にて配布	「やさしい日本語」防災リーフレットの作成及び配布
	令和3年12月	窓口対応用多言語コミュニケーションボードの作成
大森西	随時	外国人にやさしいまちづくり
入新井	令和4年3月	国際都市おおた協会連携 Project ～年々増加するネパール人の転入手続きに挑む～
馬込	令和3年12月	OTA 魅力発信 in 馬込
池上	令和4年3月	①地域情報紙の作成 ②まち歩き動画の作成
新井宿	令和4年2月	外国人向け防災リーフレットの配布
嶺町	令和4年2月	第12回 ぐるっと5町会！みねまちクイズラリー
田園調布	令和4年1月	多文化共生理解促進チラシの配布
鵜の木	令和3年9月	鵜の木地区防災チラシ（英語・中国語版）の作成

久が原	随時	避難所における掲示物のユニバーサルデザイン化及び多言語化
雪谷	令和3年10月 令和4年3月	わいわいボッチャ大会
千束	令和4年3月	「楽しい外国語教室」 ※コロナ禍の影響により事業中止
糺谷	令和3年11月	羽田中学校防災活動拠点訓練
羽田	令和4年3月	羽田のまち歩き PR 動画の作成
六郷	令和3年10月	志茂田小学校学校防災活動拠点訓練（水害時）
矢口	令和3年12月 ～令和4年2月	矢口地区クイズラリー
蒲田西	令和3年12月	蒲田西地区防災対策委員会講演会
蒲田東	令和3年8月、10月 11月、 令和4年2月	地域情報紙「かまた東」による国際意識啓発活動

### (3) 国際都市おおた大使（来～る大田区大使）

- ・人 数：32人
- ・出身国・地域：20か国・地域
- ・活動件数：38件

NO	氏名	アルファベット	出身国・地域	区分
1	本郷 アレクサンドラ	Hongo Alexandra	ブルガリア	新任
2	オウ セイ（王 成）	Wang Cheng	中国	新任
3	キアリノ アラウホ パウラ	Chiarino Araujo Paula	ウルグアイ	新任
4	シアハラ イワノ	Chahlaoui Oualid	チュニジア	新任
5	ガリンド フジモト アルトロ ミツオ	Galindo Fujimoto Arturo Mitsuo	メキシコ	新任
6	シーワイサイ スックサワイ	Sivisay Souksavay	ラオス	新任
7	ララ エルナンデズ ホルヘ マリオ	Lara Hernandez Jorge Mario	グアテマラ	新任
8	ボンファンテ ペレイラ イゴル	Bonfante Pereira Igor	ブラジル	新任
9	ラホ ヌマ	Raho Numa	パプアニューギニア	新任
10	バヤルフー ジャブフラン	Bayarkhuu Javkhlan	モンゴル	新任
11	チュオン ソクセライモンコル	Chhuon Soksereymongkoul	カンボジア	新任

12	エミ マリザ フタガオル	Emmi Maliza Hutagaol	インドネシア	新任
13	セリー アンドリアニ	Selly Andriani	インドネシア	新任
14	リュウ ダイキチ (刘 大吉)	Liu Daji	中国	再任
15	ジリオ インマヌエル ダビデ	Giglio Emanuele Davide	イタリア	再任
16	オウ ケイ (王 瓊)	Wang Qiong	中国	再任
17	ギルバート ワトソン	Gilbert Watson	アメリカ	再任
18	デデ イクバル プラタマ	Dede Ikbal Pratama	インドネシア	再任
19	ニクマトゥス ショリカー	Nikmatius Sholikah	インドネシア	再任
20	ガホトラズ ナレス	Gahatraj Naresh	ネパール	継続
21	キム ユソン(金 宥成)	Kim Yu Sung	韓国	継続
22	サボー アティラ ペッカ	Szabo Attila Pekka	ハンガリー	継続
23	ジェフリー スコット クロス	Jeffrey Scott Cross	アメリカ	継続
24	リー アンジェリーナ	Lee Angelina	シンガポール	継続
25	ドス サントス カルドゾ フェレイラ ルカス	Dos Santos Cardoso Ferreira Lucas	ブラジル	継続
26	タン シンカ(譚 振華)	Tan Zhenhua	中国	継続
27	ロバート スーサ	Sousa Robert John	アメリカ	継続
28	ヴィッキー バイヤー	Vicki Lynn Beyer	アメリカ	継続
29	ヨウ ヒン(楊 斌)	Yang Bin	中国	継続
30	グエン タン ドン	Nguyen Thanh Dong	ベトナム	継続
31	齋藤 ルタイティップ	Saito Rutaitip	タイ	継続
32	日比 ワツチャラパッス	Hibi Vatcharapat	タイ	継続

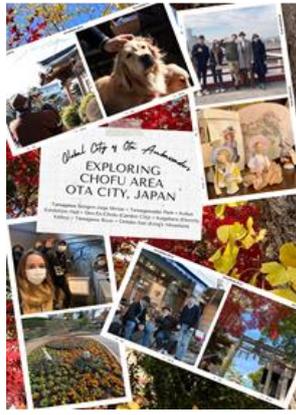
・成 果：これまで応募のなかった9か国（ウルグアイ、カンボジア、グアテマラ、チュニジア、パプアニューギニア、ブルガリア、メキシコ、モンゴル、ラオス）が加わりました。

また、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、大田区の魅力を発信する機会が減少しました。そこで、大田区を5つの地区に分け、3年度の「国際都市おおた大使」が各地区を散策して、それぞれの地区の魅力が詰まった動画とポスターを作成しました。ポスターは、区内の各特別出張所及びおおた国際交流センター（令和4年4月11日オープン）に掲示し、完成した動画は、4月15日から大田区公式YouTubeに公開しています。

※大使累計 35 の国・地域で 120 人を任命



作成した動画（蒲田地区）



作成したポスター（調布地区）



国際都市おおた大使参加の  
防災訓練【六郷特別出張所】

#### （４）「国際都市おおた」啓発用品の配布

- ・内 容：「国際都市おおた」のPRを目的とした啓発グッズのイベント等での配布
- ・成 果：新型コロナの影響により、各国との国際交流をはじめ各種イベントの実施が制限されましたが、国際都市おおた大使の委嘱式や18色の国際都市事業、JICAによる表敬訪問等で啓発グッズを配布し「国際都市おおた」をPRすることができました。

## 4 （一財）国際都市おおた協会の運営（運営費補助・事業費補助・施設運営費）

平成29年12月 設立

4年度予算額126,091千円 （3年度予算額178,375千円）

### 1 運営費補助・事業費補助

一般財団法人国際都市おおた協会（GOCA）は、大田区における国際交流と多文化共生を推進し、地域の活性化に寄与することを目的として、平成29年12月に設立されました。

GOCAは区民、ボランティア、団体等の有する力を結びつけ、地域課題の解決につなげていくコーディネーターとして、多文化共生、国際交流、国際人材育成、国際協力を中心とした事業を展開しています。

また、国際交流と多文化共生を一体的に進めていくため、令和4年4月におおた国際交流センター（愛称：Minto Ota）へ移転しました。

- ・名 称：一般財団法人国際都市おおた協会
- ・住 所：大田区蒲田四丁目16番8号 2階（おおた国際交流センター）
- ・電 話：03-6410-7981
- ・ファックス：03-6410-7982
- ・ホームページ：<https://www.ota-goca.or.jp/>

### 【4年度計画】

#### （1）相談・情報提供

多言語相談窓口において、外国人区民等に向けた生活相談・情報提供を行います。

- ・場 所：おおた国際交流センター

・開設時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00

第1・第3日曜日 13:00～17:00

※ただし、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）及びおおた国際交流センター休館日は休業します。

・沿革：平成30年度から実施

#### ア 一般相談

言語	月	火	水	木	金
英語	10:00～17:00	10:00～17:00	10:00～17:00		10:00～17:00
中国語	10:00～17:00	10:00～17:00		10:00～17:00	10:00～17:00
タガログ語	10:00～17:00				10:00～17:00
ネパール語			10:00～17:00		
ベトナム語				10:00～17:00	

※その他の言語は要相談

#### イ 専門相談

弁護士による法律相談（事前予約制）

開設時間		担当
第1・3日曜日	13:00～17:00	弁護士等・各言語通訳者

#### ウ 情報提供

区内に転入してきた外国人に対し、日本の生活習慣等の情報提供を行い、地域での円滑な生活をサポートします。

#### エ 保護者への情報提供

外国につながるのある子どもの保護者を対象に、日本の学校生活や入学前の準備等に関する説明会を行い、日本の小学校に対する知識の向上と不安軽減を図るため、小学校入学前オリエンテーションを開催します。

### (2) 通訳・翻訳

区立小・中学校をはじめとする区内にある公的施設等へ通訳者を派遣します。また、行政情報の多言語化をはじめとする公的文書の翻訳を行うほか、区へ提出する文書の翻訳協力を行います。

・沿革：平成30年度から実施

### (3) 日本語等の学習の支援

ア 生活上の基本的な日本語を学ぶための初級日本語講座や、海外から転入した不就学・未就学の子など、小・中学校への就学時にサポートを要する様々な子どもたちを対象としたこども日本語教室などを開催します。

イ 外国人の保護者を対象に、学校プリントを読むときのコツや学校特有の単語の意味等を学ぶための講座を開催します。

ウ ボランティア日本語講座で活動している人や入門講座修了者を対象にスキルアップのための講座を開催します。

エ 外国につながるのある子どもの学習支援を行うボランティアを養成するための講座を行うとともに、同講座の受講者が指導経験を積む場として、夏休みの宿題や自由研究のサポートをする教室を開催します。

・沿革：平成 30 年度から実施

#### (4) 災害時外国人支援

センターへの移転に伴う新たな災害時要支援外国人相談窓口の円滑な設置・運営に向けて、マニュアルの改訂・検証等を行います。

・災害時に通訳・翻訳等により外国人支援を行うボランティアを募集・登録し、養成・スキルアップのための講座や訓練を開催します。

・沿革：平成 30 年度から実施

#### (5) 地域における国際交流

ア 日頃の日本語学習の成果を発表する場を提供し、日本語学習者や日本語ボランティア等のモチベーション向上を図るため「日本語でスピーチ」を開催し、地域交流及び相互理解を促進します。

イ スポーツ交流や Ota 多文化ファミリー交流会など外国人区民との交流会を開催し、相互理解と顔の見える関係づくりに繋がります。

ウ 外国人留学生などが日本人の家庭を訪問し、日本の生活文化を体験できるホームビジットイベントを開催し、交流を通じた相互理解を図ります。

・沿革：平成 30 年度から実施

#### (6) 海外都市との交流

区が行う姉妹都市や友好都市等との交流事業の実施に協力します。

#### (7) 国際交流ボランティアの活躍支援

国際交流ボランティアの登録を行うとともに、スキルアップ講座を開催します。また、国際交流ボランティアの中で実行委員会をつくり、地域で活躍する外国人を取材し、記事を作成して協会のホームページで紹介するほか、交流会を開催し、国際交流ボランティア同士の連携や親睦を深めます。

・沿革：平成 30 年度から実施

#### (8) 国際交流団体の活動促進

センターを拠点として、国際交流団体との連携・協力体制の強化、地域における国際交流活動の活性化に向けた方策の検討・実現を図ります。

#### (9) 小さな国際協力

センターを使用済み切手や書き損じはがき、外国のコイン等を収集し、開発途上国において教育や医療等の支援活動を行っている団体に寄付します。

## (10) 広報紙の発行

協会のニュースレター「GOCA ニュース from おおた」を発行（年4回予定）します。

- ・沿革：平成30年度から実施

## (11) 公式 SNS による情報発信

Twitter、Facebook、Instagram、LINE 公式アカウントを運用し、イベント・講座情報や災害発生時の緊急情報などを適時発信します。

- ・沿革：令和元年度から実施

## 【3年度実績】

### (1) 多言語相談窓口の運営

#### ア 多言語相談

外国人が日常生活で直面する様々な課題（在留資格、税金、医療・保険、結婚、労働等）に関する相談を多言語で受けるとともに、的確に関係機関に繋げる支援を行いました。

- ・対応言語：英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語

※そのほかの言語については、事前予約にて対応しました。（対応言語：スペイン語、ロシア語、フランス語、ベンガル語、ウルドゥー語など）

- ・相談件数：3,922 件

#### 【主な成果】

- ・多言語相談窓口は、リモートでの相談対応ができるよう環境整備を行うことで、コロナ禍においても休止することなく相談業務を継続し、様々な不安を抱える外国人区民の生活支援に繋げることができました。

#### イ 区内転入者に対する生活情報支援

海外から転入した外国人の生活をサポートするため、多言語相談窓口において日本の生活習慣やマナー等の情報提供を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で海外からの転入が著しく減少したため、生活習慣・マナー等の情報提供実績はありませんでした。

### (2) 通訳者派遣及び翻訳・校正

外国人の保護者が参加する小・中学校の三者面談や保育園の保護者会、区が実施する子どもの健康診断などに通訳者を派遣し、円滑なコミュニケーションが確保できるよう支援しました。また、行政情報の多言語化をはじめとする公文書の翻訳を行うほか、婚姻手続き等で区に提出する文書の翻訳を実施しました。

- ・通訳者派遣件数：170 件、翻訳件数：686 件、校正件数：16 件

#### 【主な成果】

翻訳については、外国人のワクチン接種率向上に寄与するべく、ワクチン接種券が封入されている封筒の多言語表記協力を行いました。

### (3) 2020 おもてなし健康通訳ボランティア育成講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

(4) 日本語等の学習支援

ア 日本語講座の開催

実施日	事業内容・実績
通年開催 (在籍期間は原則6か月以内)	<b>【おおたこども日本語教室】</b> 小中学校への就学に向けて、ひらがな・カタカナ・漢字の読み書きなど、学校生活に必要な言葉を学ぶ教室 [蒲田教室] 受講者：25人(うち18人就学) [大森教室] 受講者：10人(うち3人就学)
[第1期] 全8回 4月11日(日) ~6月6日(日) [第2期] 全8回 10月3日(日) ~11月21日(日)	<b>【初級日本語講座】</b> ひらがなやカタカナの読み書き、簡単な会話など、生活上の基本的な日本語及び緊急・災害時の対応方法について学ぶ講座 ※対面又はオンラインを選択できるハイブリッド形式で実施 [第1期] 受講者：8人 [第2期] 受講者：16人
全5回 10月25日(月) ~11月22日(月)	<b>【日本語講座「学校プリントを読もう」】</b> 学校で配布されるプリントの読み方のコツや学校特有の単語の意味等を学ぶ講座 ・受講者：5人

【主な成果】

- ・受講者のニーズに合わせ、対面又はWEB会議システムを選択できるハイブリッド式の講座を導入したことにより、小さなお子さんがある方など多くの受講者から「学習の継続を諦めずにすんだ」「感染リスクを心配せず安心して学べた」といった声をいただきました。
- ・学校プリントを読もうでは、プリントに書かれている内容の理解だけでなく、日本の学校生活に対する外国人保護者の理解を深めることができました。
- ・おおたこども日本語教室では、日本語によるコミュニケーションに不安を感じている外国にルーツのある子どもたちが円滑に就学できるよう支援しました。



初級日本語講座



学校プリントを読もう

## イ 日本語ボランティアの養成講座の開催

実施日	事業内容・実績
全12回＋実習2回 8月22日（日） ～11月7日（日）	【日本語ボランティア入門講座】 新しく日本語ボランティアを始めたい人や基本を学び直したい人を対象に日本語ボランティアの意義や、実践で使える技術・教材・活動内容等を学ぶ講座 ・受講者：16人 ※緊急事態宣言中は、オンラインで実施

### 【主な成果】

簡単で、すぐ実践できる具体的な支援方法や、今後のボランティア活動に役立つ情報やオンラインでの学習支援方法などを講座に取り入れることで、日本語ボランティア全体のスキルアップを図ることができました。また、今回から、初級日本語講座（第2期）でアシスタントとして従事してもらうことで、学習支援者としての在り方等より実践的な学習に繋げることができました。

## ウ こどもの学習支援

実施日	事業内容・実績
全5回 6月10日（木） ～7月8日（木）	【こども学習支援ボランティア養成講座】 外国籍の子どもの学習支援を行うボランティアを養成する講座 ・受講者：18人
全5回 8月16日（月） ～8月20日（金）	【夏休み学習教室】 「こども学習支援ボランティア養成講座」修了生が指導経験を積む場として、日本語を勉強中の子どもの夏休みの宿題をサポートする教室 ・参加児童：13人

### 【主な成果】

ボランティアを養成講座では、外国につながる子どもを取り巻く環境や学習支援をする際の心構えを学び、修了後に行った「夏休み学習教室」で実際に支援者として実際に活動する場を作ることができました。

## (5) 災害時外国人支援

### ア 災害時要支援外国人相談窓口の体制整備

「大田区災害時要支援外国人相談窓口の設置及び運営に関する協定」に基づき、窓口の円滑な設置・運営に向けたマニュアルの検証を行いました。

## イ 災害時外国人支援ボランティアの養成

実施日	事業内容・実績
6月4日（金）	【風水害時翻訳シミュレーション訓練・座談会】 E-mail と電話連絡による翻訳シミュレーション訓練の実施及び座談会 ・参加者：6人
9月10日（金）	【多言語翻訳シミュレーション訓練・意見交換会】 東京都国際交流委員会が行う翻訳シミュレーション訓練に参加 意見交換会はWEB 会議システム（Zoom）にて開催 ・参加者：7人

6月26日(土)	<b>【災害時外国人支援ボランティア講習会「基礎講習」】</b> 区の防災対策や災害時の外国人支援の基礎知識等を学ぶ基礎講習をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・受講者：44人
令和4年 3月6日(日)	<b>【災害時外国人支援ボランティア講習会「やさしい日本語を学ぼう!」】</b> やさしい日本語の知識と実践力を高めるための講座をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・受講者：12人

**【主な成果】**

災害時外国人支援ボランティア向けの各種講習会を開催するとともに、風水害時の翻訳フローを構築するための訓練を実施し、知識・技能の両面のスキルアップにつなげました。

**(6) 多文化共生の意識啓発**

国際理解講座の開催

多様な文化や価値観への理解を深めるためのワークショップや講座を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

**(7) 地域における国際交流**

ア 日本語でスピーチ文集の作成

事業内容・実績	
過去の発表者や大会実行委員に、当時の心境や今現在の様子を「体験談」として寄稿してもらい、取りまとめたものを文集として発行	・執筆者：15人

**【主な成果】**

文集を読んだ人々が区内で活躍する外国人を身近な存在として認識でき、多文化共生の更なる機運醸成に繋げることができました。

イ 多文化交流会の開催

実施日	事業内容・実績
12月19日(日)	<b>【Ota スポーツ交流で国際交流 2021】</b> スポーツを通じて交流を深め、多文化共生意識の醸成を図る目的で、若い世代を中心としたスポーツ交流(フットサル大会)を開催 参加者：36人

JAPAN DAYは、蒲田国際フェスティバルとの共同開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度は中止しました。

ウ ホームビジットイベントの開催

外国人留学生などが日本人の家庭を訪問し、日本の生活文化を体験しながら相互理解を図るイベントを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

**【主な成果】**

スポーツを通じて、大田区で暮らす青少年と外国人が、国籍や言葉の壁を越えて交流し相互理解を深めることができました。

また、文化や生活のルールが異なる中で、地域と連携し、スポーツの共通したルールによる共同

作業において、互いの違いを認め合う多文化共生の心を養うきっかけを作ることができました。

## (8) 海外都市との交流

新型コロナ感染拡大の影響により、区が行う姉妹都市や友好都市等との交流事業がすべて中止となったため、実績はありませんでした。

## (9) 国際交流ボランティアの登録・活躍支援

### ア 国際交流ボランティアのスキルアップ講座の開催

実施日	事業内容・実績
全2回 7月30日(金) 8月6日(金)	【英語通訳講座】 通訳者の心構えや通訳スキルを学ぶための講座をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・受講者:11人
全2回 10月7日(木) 10月14日(木)	【英語翻訳講座】 翻訳者の心構えや翻訳のコツ等を学ぶための講座をWEB会議システム(Zoom)にて開催 ・受講者:9人

#### 【主な成果】

コロナ禍の影響で様々な多文化共生事業が中止を余儀なくされる中であっても、多文化共生の重要な担い手となる各ボランティアの育成を重点的に行いました。英語通訳講座では、各種窓口や学校等、様々な場で活躍するために必要な通訳としての基本的な心構えやノウハウを学ぶことができました。翻訳講座では、翻訳ボランティアとしての活躍が期待される場面を想定した課題に取り組むことで、より実践的な学習に繋げることができました。

### イ ボランティアグループの形成・活動

実施日	事業内容・実績
【実行委員会】 5月19日(水)	【外国人取材記事「隣の外国人」作成】 大田区に住む外国人を身近な存在として感じてもらえるよう、国際交流ボランティアで構成される「隣の外国人」実行委員が区内在住の外国人を取材し、大田区での生活や現在の心境等についての記事を作成し、ホームページで公開 ・実行委員6人

#### 【主な成果】

実行委員一人ひとりが外国人区民を取材し、作成した記事を協会のホームページで公表しました。生活・文化が異なる外国の方たちと直接対話することで多文化意識をより高め、また実行委員会形式としたことで、ボランティア間のつながりを深めることに寄与することができました。

## (10) 就労支援講座の開催

外国人が福祉施設で働くために必要な日本語やマナー等を学ぶ「介護の日本語講座」を予定していましたが、新型コロナ感染拡大防止のため、中止しました。

## (11) 国際交流団体の活動促進

国際交流団体との連携・協力体制の構築を行いました。

#### 【主な成果】

国際交流団体との連携・協力体制の構築及び地域における国際交流活動の活性化に向けて、大田

区国際都市・多文化共生推進課と連携し、現状の課題整理等を行いました。

## (12) 国際協力の意識啓発

実施日	内容・実績
12月21日(火)	<b>【国際協力体験講演会】</b> 海外駐在経験者と学校との橋渡しを行い、子どもたちの国際協力意識醸成等のための講演会を開催 ※区立小学校6年を対象とし国際理解教育授業として実施
10月7日(木)	<b>【国際理解講座の講師紹介】</b> 区内在住外国人及び外国に在住歴のある日本人と学校の橋渡しを行い、授業に派遣 ※区立小学校4年を対象とし総合の授業として実施

### 【主な成果】

「国際都市おおた」の未来を担う子どもたちが海外に興味を持ち、グローバルな視点や意識を育むことができました。



Ota スポーツ交流で国際交流



国際協力体験講演会

## (13) 小さな国際協力

使用済み切手等の寄付を行いました。

### 【主な成果】

開発途上国において教育や医療等の支援活動を行っている団体に、使用済み切手や書き損じはがきを送り、外国のコイン等を収集しました。

## (14) 広報紙の発行

内容・実績
・協会の活動報告や事業予定を広く周知するため、ニュースレターを年4回(各回1,000部)発行し、区内の高校や日本語学校等に配布 ・協会の事業概要を掲載したリーフレットをリニューアルし、日本語、英語、中国語で発行

### 【主な成果】

ニュースレターの発行により、外国人区民からのコロナ関連相談を行う多言語相談窓口や、ハイブリッド形式による日本語講座の開催など、区内の外国人が必要とするwithコロナに対応した協会の事業の情報を適宜・的確に届けました。

## (15) 公式 SNS による情報発信

内容・実績
Twitter、Facebook、Instagram、LINE 公式アカウントを運用し、イベント・講座情報や災害発生時の緊急情報などを適時発信

### 【主な成果】

外国人の利用者が多い SNS の強みを活かし、大田区や国、都等が発信しているコロナ関連情報など外国人に役立つ情報を毎日発信した結果、各 SNS のフォロワー数の増加につながりました。

## (16) 国際都市おおた協会事務所及び多言語相談窓口の移転

内容・実績
令和 4 年度におおた国際交流センターが開設されることに伴い、移転を予定している国際都市おおた協会事務所及び多言語相談窓口の内装の実施設計や施設運用等の検討を実施

### 【主な成果】

現在、協会が行っている事業の流れや状況について適切に情報共有するとともに意見交換を行うことで、効果的な施設活用に向けた実務上の課題や今後の検討事項を整理し、移転に必要な事務的準備作業を滞りなく進めることができました。

## 2 施設運営費

おおた国際交流センター (Minto Ota) は、一般財団法人国際都市おおた協会と多文化共生推進センターの機能を集約し、国際交流・多文化共生を一体的に推進する新たな活動拠点として整備しました。協会事務室の事務室移転に加え、国際都市・多文化共生推進課事務室が移転し、区と協会の連携を強化していきます。

また、当センターの近隣には「国際都市おおた宣言」に掲げた「多文化共生」の大切さや、「観光」の魅力、未来をつくる「産業」の拠点である観光情報センター、産業プラザ Pi0 が、沿線には羽田イノベーションシティが立地しています。これらの施設と当センターとの連携により「国際都市おおた」を推進するネットワーク力を強化します。

- ・名称 (愛称) : おおた国際交流センター (Minto Ota)
- ・開館日 : 令和 4 年 4 月 11 日
- ・住所 : 大田区蒲田四丁目 16 番 8 号 2 階
- ・主な機能 : ① (一財) 国際都市おおた協会多言語相談窓口  
②会議室  
③情報・交流コーナー  
④ (一財) 国際都市おおた協会事務室、国際都市・多文化共生推進課事務室



Minto Ota ロゴマーク

### 【4 年度計画】

#### (1) おおた国際交流センター再周知

区及び協会のホームページや SNS、利用手引きの整備によりセンターの認知度の向上を図ります。

#### (2) 情報・交流コーナー運営

年 4 回、模様替えを行い、様々な国・地域の文化が感じられる展示や区事業の情報の掲示を行うと

ともに、子ども達が世界を知る本や日本語を学ぶ本を常備します。また、自由に使えるテーブルや椅子の設置により、利用者が気軽に立ち寄れる場所として、活用してもらいます。

### (3) 会議室利用の促進

センターのさらなる周知により、新規国際交流団体の登録増や、既存の国際交流団体の利用増に繋げるなど、会議室の利用を促進します。

## 【3年度実績】

### (1) 条例等の法令整備

第3回区議会定例会において、「おおた国際交流センター」条例が議決され、運営に係る条例施行規則や要綱を制定しました。

### (2) 愛称の公募及び決定

愛称を公募し、関係団体等の代表者7名が出席した選考委員会を経て、応募総数107作品の中から「Minto Ota」に決定しました。

また、はねびよんを活用した「Minto Ota」のロゴマークを作成しPRしました。

### (3) 国際交流団体連絡会での施設説明

施設の使用について、国際交流団体への連絡会を2回開催しました。

### (4) 開館の周知

大田区報3月21日号や協会と協力して、ホームページやSNSへの掲載の他、パンフレット130部、チラシ2,100部（日本語600部、英語300部、中国語300部、タガログ語200部、ネパール語200部、ベトナム語200部、やさしい日本語300部）、パンフレット500部を発行しました。

### 【主な成果】

親しみのある愛称・ロゴマークを活用した区報、SNS、チラシ配布等により、センターの区民周知の向上に繋がりました。

## 5 交流事業費（その他の海外都市との交流）

平成24年度 事業開始  
4年度予算額 857千円 （3年度予算額 934千円）

外国との友好親善を図るため、海外諸都市からの代表団・視察団の受入れ等を行います。

### 【4年度計画】

海外諸都市からのオファーに対し、随時適切に対応を予定。

### 【3年度実績】

新型コロナ感染拡大のため、訪問受入なし

## 6 多文化共生のネットワークづくり

平成 23 年度 事業開始

4 年度予算額 31,526 千円（3 年度予算額 23,443 千円）

外国人区民に対し、身近な生活情報を多言語で提供するなど、地域で安心して生活できるよう支援するとともに、多文化共生社会の実現に向けて、様々な国際交流団体との連携・協働を図ります。

### 【4 年度計画】

#### （1）外国人区民への情報発信

新型コロナウイルス感染拡大防止や災害時の大切な情報、外国人区民向けの有益な情報等を多言語で発信するとともに、より効果的な SNS などの情報発信ツールを検討します。

#### （2）くらしのガイド 2021（外国語版）セットの配布

「くらしのガイド 2021（外国語版）」を区役所や特別出張所等の窓口で配布します。

平成 18 年から言語別に作成し、現在、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語、やさしい日本語の 6 言語があります。

区役所の転入窓口において、くらしのガイド 2021（外国語版）に防災リーフレットや OtaCityNavigation 等を言語別にセットして配付します。



くらしのガイド 2021（外国語版）

#### （3）多文化共生推進協議会

大田区多文化共生推進プラン重点項目である多文化共生社会の実現を目的として、外国人区民、日本人区民、国際交流団体、学識経験者等と区によって、具体的な課題について討議します。

令和 4 年度は、第 6 期の 1 年目となります。

- ・回 数：3 回開催予定
- ・沿 革：平成 23 年度から実施

#### （4）国際交流団体の活動支援

区内で活動する国際交流団体を支援するとともに、団体間の連携を深めるため、連絡会を開催し、情報及び意見交換を行います。

- ・沿 革：平成 20 年度から実施

#### （5）国際交流施設の運営及び活用

国際交流関連事業を行う施設として、多文化共生推進センター（mics おおた）及び山王会館内国際交流施設の 3・4 階部分を管理・運営しています。

※多文化共生推進センター（mics おおた）は、おおた国際交流センター（Minto Ota）への機能移転に伴い、令和 4 年 4 月 11 日に閉館。

- ・沿革：多文化共生推進センター（mics おおた） 平成 22 年度 開設  
山王会館内国際交流施設 平成 7 年度 開設

## （6）タブレット端末を介した通訳サービスの配置

日本語での対応が難しい外国人区民への各種支援や照会等に対応することを目的として、3種類の多言語通訳サービスを提供します。

- ・沿革：多言語通訳タブレットは、平成 27 年度から実施  
電話通訳サービスは、令和 3 年度から実施

### ア 電話通訳サービス

自宅等にいる外国人区民が、大田区電話通訳 サービス専用番号（050-3159-9993）に発信することにより、通訳オペレーターを介して担当部署との電話通訳が利用できます。

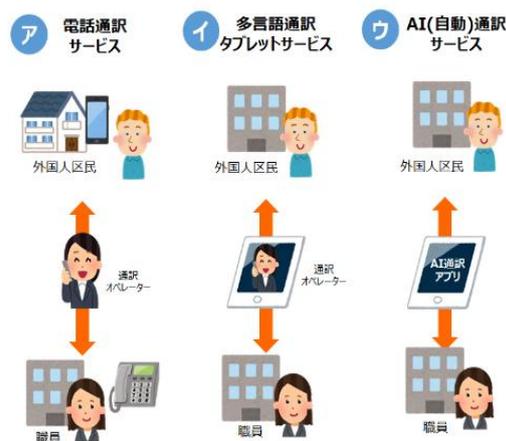
※13 言語対応

### イ 多言語通訳タブレットサービス

タブレット端末上に通訳オペレーターを映し、外国人区民・区職員との 2 者間通訳を行うテレビ電話通訳サービスです。本庁舎・特別出張所等計 18 台を配置し、窓口サービス機能を充実させます。※15 言語対応

### ウ AI（自動）通訳サービス

上記タブレット端末に AI（自動）通訳アプリケーションを導入し、通訳オペレーターの不在時等、緊急の場合に活用します。※13 言語対応



## （7）国際交流員の配置

国際交流員（CIR）は、一般財団法人自治体国際化協会が主管する「語学指導等を行う外国青年招致事業（JET プログラム）」により、国際交流活動等に従事するために自治体等に配置される職員です。

区では、国際交流員の活用を通じて、「国際都市おおた」にふさわしい多彩な国際交流・多文化共生事業を展開しています。

令和 4 年度は、英国ウェールズ出身の国際交流員を任用し、通訳・翻訳をはじめ、区内学校訪問やワークショップ、地域イベントの従事やメディア活動等、多岐にわたり国際交流推進者としての活動を行います。

- ・沿革：平成 27 年度から実施

## （8）多言語情報紙の作成

外国人区民が必要とする区政情報をまとめた「Ota City Navigation」を 6 言語（やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語）で作成し、発信します。

年 8 回、各回約 5,000 部を発行予定

- ・沿革：平成 6 年度から作成（「Ota City Navigation」は、平成 23 年度から）

(9) やさしい日本語の普及

ア 職員研修の実施

イ 庁内掲示板によるやさしい日本語の情報提供

3年度に続いて職員向け研修を行うとともに庁内掲示板を活用しやさしい日本語を普及します。

・沿革：令和2年度から実施（くらしのガイドやさしい日本語版を作成）

【3年度実績】

(1) 外国人区民への情報発信

内容：1・2回目のワクチン接種（5言語）や区報臨時号（5言語）の多言語化をはじめ、ホームページやTwitterでの注意喚起等、新型コロナウイルスに係る情報発信を（一財）国際都市おおた協会と連携し、実施しました。また、大田区ホームページ内の「国際都市おおた」を見直し、英語とやさしい日本語の併記を進めるとともに、日本語教室や多言語相談窓口等、新たに外国人区民向けの情報を集約したコンテンツや、新型コロナ関連のページを作成する等、大幅にリニューアルしました。

成果：1・2回目の新型コロナウイルスワクチン接種（5言語）のチラシやワクチン接種券入りの封筒の多言語化では、他の自治体から高く評価されました。

また、新型コロナ感染防止関連では、外国人区民の感染拡大防止に向け、やさしい日本語で注意喚起を行いました。その他に、ネパール語とベトナム語も作成しました。



ワクチン接種券入りの封筒の多言語化

5才から11才の 子どもの コロナワクチン注射を しています。  
 コロナワクチン注射を したい人は **¥0**  
 コールセンターへ 電話を してください。(注射は 無料です)  
**☎03-6629-6342** (月曜日から土曜日の 午前8時30分から午後5時15分まで)

COVID-19 Vaccines for children aged 5 to 11 is also available.  
 Taking the vaccine is optional.  
 Please consider and discuss about it together with your child/children.  
 To make a reservation, please call the call center at:  
**☎03-6629-6342** (Monday to Saturday: 8:30am to 5:15pm, exc. national holidays)

面向5岁到11岁的儿童进行新冠疫苗接种。  
 疫苗接种不是义务，而是任意。  
 请与孩子商量决定。  
 预约时，请与新冠疫苗服务中心打电话联系。  
**☎03-6629-6342** (从周一到周六的上午8点30分到下午5点15分)

※3月2日から後に 5才になる人 → 大田区が 順番に 接種券を 送ります。  
**がいこくじんのかたへ**  
 電話で 通訳が できます。予約を 手伝います。  
 大田区コロナワクチン多言語通訳サービス  
**☎03-6436-4731** (月曜日から土曜日の午前8時30分から午後5時15分まで)

※ We send the coupon to the children turning 5 years old on or after March 2.  
**To foreign nationals:**  
 You can also make a reservation over the phone with the help of an interpreter.  
 → Ota City COVID-19 Telephone Interpretation Service  
**☎03-6436-4731** (Monday to Saturday: 8:30am to 5:15pm, exc. national holidays)

※3月2日以后到5周岁的儿童，依次邮寄接种券。  
**致外籍人士**  
 可以提供电话翻译服务，帮助预约接种。  
 大田区新冠疫苗多语种翻译服务  
**☎03-6436-4731** (从周一到周六的上午8点30分到下午5点15分)

ワクチンの 新しい情報は ホームページ を 見てください

See our website here for the latest information about vaccines

有关疫苗的最新信息请在网页查阅

新型コロナウイルスワクチン接種のチラシ

(2) くらしのガイド2021（外国語版）セットの配布

内容：区役所の転入窓口において、くらしのガイド2021（外国語版）に防災リーフレットやOtaCityNavigation等を言語別にセットして配付しました。

成果：転入手続きに訪れた外国人に対して、大田区の幅広い情報を効果的に配付することができました。

### (3) 多文化共生推進協議会

内 容：多文化共生推進協議会はこれまで5期10年にわたり実施し、多文化共生社会の実現に向けて、その課題解決に向けた提言を区にしてきました。社会状況が大きく変化する中、令和3年度は検討会の形式をとり、これまでの提言の検証を行うとともに第6期協議会のあり方を検討しました。

開催日：令和3年11月8日（月）、令和4年1月28日（金）

構成員：第5期多文化共生推進協議会会長、同副会長（2名）、（一財）国際都市おおた協会事務局長、（公財）大田区産業振興協会事務局長、大田区観光・国際都市部長、観光課長、産業振興課長

成 果：多文化共生推進協議会の10年間の振り返りを行うとともに、今後の取組に向けた方向性を整理しました。また、区を取り巻く社会状況や「国際都市多文化共生推進プラン」との関連性を考慮しながら、第6期協議会のテーマ案を設定のうえ、令和4年3月28日（月）に会長及び副会長から区長へ報告をしました。



検討会の様子



区長報告の様子

### (4) 国際交流団体の支援

内 容：国際交流団体連絡会

日 程：第1回 6月30日（水）開催 12団体13名出席

第2回 ①10月26日（火）開催（対面） 12団体13名参加

②11月2日（火）開催（オンライン）5団体10名参加

成 果：各国際交流団体の課題や現状を把握するとともに、今後の支援について検討しました。  
おおた国際交流センターMinto Otaの活用について、説明しました。

### (5) 国際交流施設の運営及び活用

年間利用件数：956件

（内訳）多文化共生推進センター（mics おおた） 339件

山王会館内国際交流施設 617人

年間利用人数：延べ7,806人

（内訳）多文化共生推進センター（mics おおた） 2,930人

山王会館内国際交流施設 4,876人

成 果：外国人区民が言語や文化の違いにより不安を感じることがないように、日本語や日本の社会を学ぶことのできるコミュニケーション支援の場として活用しました。また、国際交流団体等の活動場所として、日本語教室の開催や会議・打合せ等で利用しました。

## (6) タブレット端末を介した通訳サービスの導入

### ア 電話通訳サービス

- ・年間利用件数：117 件
- ・年間利用時間：約 33 時間
- ・主な相談内容、対応言語

No.	対応言語	件数
1	英語	352
2	中国語	343
3	ネパール語	193
4	ベトナム語	65
5	タガログ語	40



タブレット端末を介した通訳サービス

### イ 多言語通訳タブレットサービス

- ・年間利用件数：1,058 件
- ・年間利用時間：約 230 時間
- ・成 果：新型コロナウイルスに係るワクチンの相談や税金、年金・保険、転入・転出・戸籍等、外国語でのさまざまな相談に対応し、窓口サービスの充実を図ることができました。

#### ・主な相談内容、対応言語

順	所属	件数
1	納税課	205
2	感染症対策課ワクチン担当	142
3	課税課	131
4	国際都市おおた協会 多言語相談窓口	108
5	国保年金課	107

順	対応言語	件数
1	英語	352
2	中国語	343
3	ネパール語	193
4	ベトナム語	65
5	タガログ語	40

## (7) 国際交流員の配置

内 容：一般財団法人自治体国際化協会が主管する外国青年招致事業（JET プログラム）で、選出された、日本に関心のある海外の人材を「国際交流員」として任用（会計年度任用職員）しました。

成 果：平成 30 年から任用している英国ウェールズ出身の国際交流員を再度任用しました。新型コロナウイルス関連情報の翻訳をはじめ、各事業への参加や大田区絵日記の執筆、記事の寄稿等を通して、区の国際化や「国際都市おおた」の魅力発信に貢献しています。



国際理解教育の様子（安方中学校にて）



Asahi Weekly の記事

## (8) 多言語情報紙の作成

内 容：外国人区民向けに「Ota City Navigation」を 6 言語（やさしい日本語、英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語）で 8 回（各回 4,950 部）発行し、区の施設（本庁舎、特別出張所、図書館等）や区内の日本語学校等に配布しました。

成 果：区政情報や生活情報を集約した情報紙を多言語で発行することにより、外国人区民が生活するうえで必要な情報を的確に届けました。

## (9) 世界の国の情報発信（お国柄紹介）

内 容：2カ国（イラン、カナダ）の文化紹介等の記事を作成しました。

成 果：区民の異文化理解を促進するとともに、東京 2020 大会の機運醸成に貢献しました。

## (10) やさしい日本語の普及

内 容：職員研修

日 程：第 1 回 6 月 21 日（月）開催 職員 19 名、国際都市おおた大使 5 名参加

やさしい日本語のポイント講義と国際都市おおた大使を交えたロールプレイ

第 2 回 12 月 12 日（月）・13 日（火）職員 52 名参加

やさしい日本語基礎講座（書き言葉編・話し言葉編）

成 果：庁内の普及に努め、各所属職員がやさしい日本語を習得することで、区民サービス向上に繋がりました。

## 6 参考資料:各課の事業開始年度一覧

### (1) スポーツ推進課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
区民スポーツ大会	昭和22年	
都民体育大会等代表者派遣	昭和22年	
(公財)大田区スポーツ協会	昭和23年	【公益財団法人大田区スポーツ協会定款】 平成25年に財団法人から公益財団法人へ変更 令和元年5月1日から(公財)大田区体育協会から(公財)大田区スポーツ協会へ名称変更
スポーツ推進委員	昭和32年	【大田区スポーツ推進委員に関する要綱】 平成23年に体育指導委員からスポーツ推進委員へ名称変更
成人スポーツ教室	昭和36年	【令和2年度廃止】
寿ハイキング	昭和49年	【令和2年度廃止】
小・中学生スポーツ教室	昭和52年	【令和2年度廃止】
スポーツ推進審議会	昭和58年	【大田区スポーツ推進審議会条例】
障がい者スポーツ教室	昭和59年	
区民スポーツまつり	昭和59年	
ラジオ体操指導者養成講習会	昭和61年	
大田スタジアム	平成7年	平成7年7月開設、平成30年度大規模改修工事に伴い条例廃止 新たな【大田スタジアム条例】を、令和元年7月1日から施行
大森スポーツセンター	平成9年	【大田区立大森スポーツセンター条例】
障害者スポーツ指導者養成講習会	平成10年	
スポーツ健康都市宣言	平成24年	平成24年6月30日の大田区総合体育館開館に合わせて宣言を行った
OTAウォーキング	平成24年	「歩こう会」をリニューアルして、スポーツ健康都市記念事業として実施
大田区総合体育館	平成24年	【大田区総合体育館条例】
地域スポーツクラブ	平成26年	【大田区総合型地域スポーツクラブ等支援要綱】
おおたスポーツ健康フェスタ	平成26年	6月30日の宣言日にちなんだ記念事業として実施
大田区オリンピック・パラリンピックアクションプログラムにおけるトップアスリート等派遣事業	平成27年	【大田区オリンピック・パラリンピックアクションプログラムにおけるトップアスリート等派遣事業実施要綱】 【令和元年度廃止】
ホッケー競技体験会	平成28年	平成27年9月に、東京2020オリンピック競技大会のホッケー競技が区内会場で開催となったことを受けて実施 【令和元年度廃止】
大田区スポーツ全国大会等出場奨励事業	平成27年	【大田区スポーツ全国大会等出場奨励事業実施要綱】
新スポーツ健康ゾーン活性化事業	平成29年	
スポーツ推進広報事業	平成30年	
ブラジル選手団の事前キャンプ・合宿の受入れ	平成30年	平成29年6月に、東京2020オリンピックに出場するブラジル選手団の事前キャンプ受入れに関する覚書を締結したことを受けて実施 【令和3年度廃止】
おおたウエルカムボランティア事業	平成30年	【令和3年度廃止】
東京2020レガシー事業	令和2年	

### (2) 文化振興課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
平和都市宣言記念事業	昭和59年	【大田区平和都市宣言記念事業「花火の祭典」実施要綱】 花火の打ち上げは昭和62年度から実施 平成9年度より花火の祭典とする
大田区文化振興協会の運営	昭和62年	昭和62年7月創立
文化施設管理運営	昭和62年	区民プラザ昭和62年10月31日開設

OTAふれあいフェスタ	平成2年	開始当初の名前は「OTA夢博'90」 平成4年度から現在の事業名になった
地域間交流事業	平成8年	長野県東御市（当時は東部町）と友好都市提携協定締結 秋田県美郷町とは平成17年度に締結 宮城県東松島市とは平成28年度に締結
大田区民ホール等管理運営	平成10年	
区民ギャラリー	平成20年	
大森 海苔のふるさと館管理運営	平成20年	
地域文化の振興	平成23年	平成29年度から大田区伝統工芸士認定制度開始
勝海舟記念館の整備・運営	令和元年	【大田区立勝海舟記念館条例】 令和元年9月7日開館
絵画等保管拠点の維持管理	令和2年	

### (3) 国際都市・多文化共生推進課

事業名	開始年度	事業実施根拠・備考
アメリカ合衆国セーラム市との交流の推進	平成3年	【セーラム市、ピーボディー・エセックス博物館親善訪問団派遣事業実施要綱】
中国北京市朝陽区等との交流の推進	平成10年	【日中青少年相互交流事業実施要綱】
多文化共生推進センター運営事業	平成23年	【大田区多文化共生推進センター条例】 平成30年度から一般財団法人国際都市おおた協会が実施
多文化共生のネットワークづくり	平成23年	【大田区多文化共生推進協議会設置要綱】、【大田区立山王会館内国際交流施設等の設置及び管理運営要綱】ほか
国際都市事業	平成23年	【国際都市連携調整会議設置要綱】、【国際都市おおた大使設置要綱】
交流事業費（その他の海外都市との交流）	平成24年	
カナダ国プリンス・エドワード島州との交流の推進	平成27年	平成30年度から交流事業費（その他の海外都市との交流）に含む
一般財団法人国際都市おおた協会の運営	平成30年	【一般財団法人国際都市おおた協会定款】 平成29年12月設立
おおた国際交流センター運営事業	令和4年	【おおた国際交流センター条例】 令和4年4月11日開館 同日付け「多文化共生推進センター」閉館

Compass 2022

スポーツ・文化・国際都市部 事業概要

令和4年7月発行

編集：大田区スポーツ・文化・国際都市部

スポーツ推進課

〒144-8621

東京都大田区蒲田 5-13-14

電話：03-5744-1322

FAX：03-5744-1323